

令和4年版

環境白書

資料編

資料編

第7 図表

1 脱炭素社会づくりの推進

図7-1	県内の温室効果ガス排出量の推移	1
表7-1	脱炭素社会推進資金（環境施設整備枠）の概要	1
表7-2	脱炭素社会推進資金（再生可能エネルギー利用促進枠）の概要	2
表7-3	脱炭素社会推進資金（再生可能エネルギー利用促進枠）の融資実績の推移	2
表7-4	公害防止施設等に対するその他融資制度の実績の推移	2

2 循環型社会づくりの推進

表7-5	ごみ処理状況の年度別推移	3
表7-6	容器包装リサイクル法に基づく分別収集量の年度別推移	3
表7-7	家電リサイクル法に基づく廃家電品の引取り台数	3
図7-2	産業廃棄物の地域別排出量（2年度）	4
表7-8	多量排出事業者の処理計画書等の提出状況（3年度）	4
表7-9	ごみ処理施設の整備状況	5
表7-10	し尿処理状況の年度別推移	6
表7-11	し尿処理施設の整備状況	6
表7-12	産業廃棄物処理施設の許可（届出）状況	7
表7-13	PCB特別措置法に基づく届出状況	7

3 自然環境の保全

表7-14	国立公園内における工作物の新築等に係る許認可取扱状況（3年度）	8
表7-15	国定公園内における工作物の新築等に係る許認可取扱状況（3年度）	8
表7-16	県立自然公園内における工作物の新築等に係る許認可取扱状況（3年度）	8
表7-17	富山県自然環境保全基金による土地保有状況	9
表7-18	県民公園新港の森の概要	9
表7-19	県民公園新港の森施設利用状況	10
表7-20	空港スポーツ緑地の概要	10
表7-21	空港スポーツ緑地施設利用状況	10
表7-22	立山山麓家族旅行村の主要施設	11
表7-23	登山届の概要	11
表7-24	愛鳥週間行事（3年度）	11
表7-25	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 による種の指定状況	12
表7-26	「富山県希少野生動植物保護条例」による種の指定状況	14
表7-27	野生鳥獣の救護活動実績（3年度）	14
表7-28	有害鳥獣捕獲等の状況（3年度）	14

表 7-29	狩猟者登録の実績（3年度）	14
--------	---------------	----

4 生活環境の保全

表 7-30	一般環境観測局の概要	15
表 7-31	二酸化硫黄濃度の年度別推移（年平均値）	16
表 7-32	二酸化硫黄に係る環境基準の達成状況	17
表 7-33	二酸化窒素濃度の年度別推移（年平均値）	18
表 7-34	二酸化窒素に係る環境基準の達成状況	19
表 7-35	浮遊粒子状物質濃度の年度別推移（年平均値）	20
表 7-36	浮遊粒子状物質に係る環境基準の達成状況	21
表 7-37	光化学オキシダント濃度の年度別推移（年平均値）	22
表 7-38	光化学オキシダントに係る環境基準の達成状況	23
表 7-39	炭化水素濃度の年度別推移（年平均値）	24
表 7-40	微小粒子状物質濃度の年度別推移（年平均値）	25
表 7-41	微小粒子状物質に係る環境基準の達成状況	25
表 7-42	自動車排出ガス観測局の概要	26
表 7-43	自動車排出ガス観測局における測定結果の年度別推移（年平均値）	27
表 7-44	自動車排出ガス観測局における環境基準の達成状況	28
表 7-45	大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設数の年度別推移	29
表 7-46	大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設の届出状況	30
表 7-47	大気汚染防止法に基づく一般粉じん発生施設の届出状況	30
表 7-48	大気汚染防止法に基づく揮発性有機化合物（VOC）排出施設の届出状況	31
表 7-49	大気汚染防止法に基づく水銀排出施設の届出状況	32
表 7-50	大気汚染防止法に基づくアスベスト除去工事等作業の届出状況（3年度）	32
表 7-51	大気関係立入調査状況（3年度）	33
表 7-52	大気汚染緊急時の措置	34
表 7-53	環境放射能調査の結果	36
表 7-54	環境放射線モニタリングの結果	37
表 7-55	公共用水域の水域別測定地点数（3年度）	38
表 7-56	河川の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果（3年度）	39
表 7-57	河川の主要測定地点（環境基準点）における 水生生物環境基準項目の水質測定結果（3年度）	40
表 7-58	河川末端における水質（BOD）の年度別推移	41
表 7-59	湖沼の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果（3年度）	42
表 7-60	湖沼における水質（COD、全りん）の年度別推移	42
表 7-61	海域の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果（3年度）	43
表 7-62	海域における水質（COD）の年度別推移	44
表 7-63	地下水の概況調査結果（3年度）	45

表 7-64	地下水の継続監視調査結果（3年度）	46
表 7-65	地下水の継続監視調査結果の推移	46
表 7-66	水質汚濁防止法に基づく特定事業場の届出状況	47
表 7-67	水質関係立入検査状況（3年度）	47
表 7-68	公共用水域の主要測定地点における 全窒素・全りんの水質測定結果（3年度）	48
表 7-69	河川及び海域における要監視項目測定結果（3年度）	50
表 7-70	湖沼水質調査結果（3年度）	50
表 7-71	海水浴場水質調査結果（3年度）	51
表 7-72	底質（重金属等）調査結果（3年度）	52
表 7-73	立山環境調査（河川等環境調査）結果（3年度）	52
図 7-3	定置網漁場環境調査定点図（3年度）	53
表 7-74	定置網漁場環境調査の結果（3年度）	54
図 7-4	騒音・振動苦情の発生源別推移	55
図 7-5	一般地域の環境騒音の環境基準達成状況（3年度）	55
表 7-75	自動車騒音の環境基準達成状況	56
表 7-76	道路に面する地域の環境騒音調査結果（3年度）	56
表 7-77	航空機騒音の年度別推移	57
表 7-78	北陸新幹線鉄道に係る騒音調査結果（3年度）	58
表 7-79	騒音規制法に基づく特定施設の届出状況	59
表 7-80	公害防止条例に基づく騒音の届出工場・事業場の状況	59
表 7-81	騒音関係立入検査状況（3年度）	60
表 7-82	道路交通振動の調査結果（3年度）	60
表 7-83	振動規制法に基づく特定施設の届出状況	61
表 7-84	振動関係立入検査状況（3年度）	61
表 7-85	公害防止条例に基づく悪臭の届出工場・事業場の概要	62
表 7-86	畜産業の悪臭実態調査結果（3年度）	62
表 7-87	畜産環境保全実態調査結果（3年度）	62
表 7-88	畜産農家の定期巡回指導等の実施状況（3年度）	63
表 7-89	公害防止管理者等の選任届出状況	63
表 7-90	対策地域内の玄米及び土壌中カドミウム濃度（神通川流域）	64
表 7-91	対策地域内の玄米及び土壌中カドミウム濃度（黒部地域）	64
表 7-92	神通川流域における土地利用区分と面積（実測）	64
表 7-93	神通川流域における第1～3次地区の復旧方式等	64
表 7-94	黒部地域における土地利用区分と面積（実測）	65
表 7-95	黒部地域における対策地域の復旧方式等	65
表 7-96	土壌汚染対策法に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域の概要	65
表 7-97	地下水の水質測定地点数（3年度）	66

表 7-98	ダイオキシン類環境調査結果（3年度）	66
表 7-99	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設の届出状況	70
表 7-100	公害防止事業に係る費用負担計画の概要（富岩運河底質対策）	72
表 7-101	有害大気汚染物質の調査概要（3年度）	73
表 7-102	その他優先取組物質の調査結果（3年度）	74
表 7-103	ゴルフ場排水の農薬調査結果（3年度）	75
表 7-104	魚介類の水銀検査結果（3年度）	76
表 7-105	食品中のPCB検査結果（3年度）	76
表 7-106	公共下水道及び特定環境保全公共下水道の概要	77
図 7-6	下水道の普及率の推移	78
表 7-107	農村下水道（農業集落排水施設）の整備状況	79
表 7-108	コミュニティ・プラントの整備状況	80
表 7-109	浄化槽設置推進事業の状況	80
表 7-110	公害審査会に係属した事件	81
表 7-111	公害種類別苦情受理状況の年度別推移	81
表 7-112	典型7公害発生源別苦情受理状況（3年度）	82
表 7-113	市町村別・公害の種類別苦情受理状況（3年度）	83
表 7-114	苦情の処理状況（3年度）	84
表 7-115	「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づく指定の内容	84
表 7-116	イタイイタイ病患者及び要観察者生存数	84

5 水資源の保全と活用

表 7-117	地下水観測井の位置と構造	85
表 7-118	地下水位年平均値の年度別推移	86
図 7-7	主な観測井の地下水位（月平均）	87
図 7-8	塩化物イオン濃度分布（3年度）	89
表 7-119	地下水条例に基づく揚水設備の届出状況	90
表 7-120	地下水採取状況（3年度）	91

6 各分野に共通する施策の推進

表 7-121	環境影響評価の実施状況	92
表 7-122	県が企業と締結している公害防止協定	93
表 7-123	環境保全に関する試験・研究	94
表 7-124	主な環境月間行事（3年度）	99
表 7-125	環境保全相談室の活動状況（3年度）	99
表 7-126	酸性雨実態調査（雨水）の概要（3年度）	99
表 7-127	雨水のpH調査結果（3年度）	100
表 7-128	雨水のpHの年度別調査結果（一週間降雨ごと）	100

図 7-9	主要イオン成分沈着量、降水量の月別推移（3年度、射水市）	101
図 7-10	主要イオン成分沈着量の経年変化（射水市）	102
図 7-11	縄ヶ池におけるpH及びアルカリ度の経年変化	102
表 7-129	公益財団法人環日本海環境協力センター（NPEC）の事業概要（3年度）	103
表 7-130	環日本海地域との国際交流の概要（3年度）	105

第7 図表

1 脱炭素社会づくりの推進

図7-1 県内の温室効果ガス排出量の推移

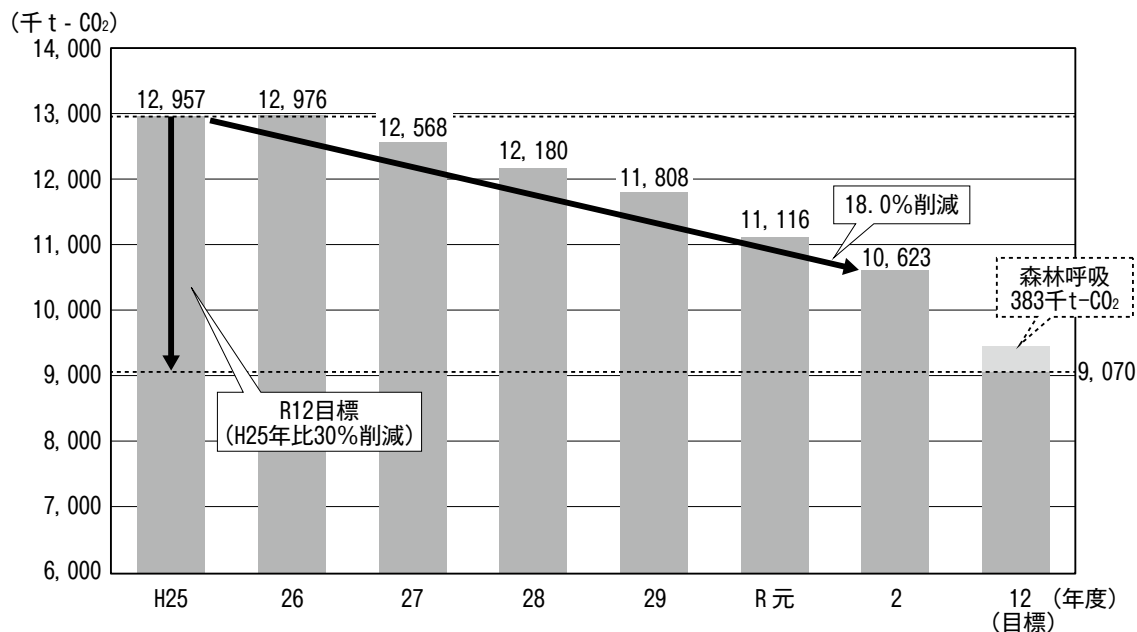


表7-1 脱炭素社会推進資金（環境施設整備枠）の概要

資金の用途	貸付対象者	金利	償還期限	融資限度額
(1) 公害防止施設の整備 (産業廃棄物の処理施設を含む)	中小企業者	年1.90%以内 (19.4.1～)	個別 7年以内 (うち据置1年以内)	個別 3,000万円
(2) 公害防止に必要な工場等の移転、 工場に隣接する民家等の買収		年2.15%以内 (19.8.27～)		
(3) 公害防止又は工場等の周辺の景観 保持のために必要な緑地・囲障等の 設置		年1.90%以内 (20.1.28～)		
(4) 低公害車の購入		年1.70%以内 (27.4.1～)		
(5) 土砂運搬用トラックによる著しい 道路の汚損又は粉じん発生の防止の ために必要な洗車施設の設置及び路 面清掃車の購入		年1.65%以内 (28.4.1～)		
(6) オゾン層を破壊する物質の排出の 抑制及び使用の合理化のために必要 な施設の整備等		※用途(4)・(10)につ いては、		
(7) 廃棄物の資源化及び再生利用のた めに必要な施設の整備		年1.35%以内 (21.4.1～)		
(8) 地下水の保全及び水の循環的な利 用のために必要な施設の整備		年1.15%以内 (27.4.1～)		
(9) 標高1,000m以上の自然公園内で 実施する環境に配慮したトイレの整 備				
(10) 温室効果ガスの排出の抑制のた めに必要な施設等の整備				
			団体 10年以内 (うち据置1年以内)	団体 5,000万円

注 中小企業環境施設整備資金は、3年4月1日から「脱炭素社会推進資金」に統合しています。

表7-2 脱炭素社会推進資金（再生可能エネルギー利用促進枠）の概要

融 資 対 象	資金使途	融 資 条 件		
		限度額	期間 (うち据置期間)	融資利率 (令和4年4月1日現在)
再生可能エネルギー（太陽光、風力、中小水力、バイオマス、地熱）を利用した発電設備の導入を行う中小企業者	設備資金 (設備投資に伴う運転資金) ※運転資金のみの利用は不可	1億円 (うち運転資金 1,000万円)	設備資金 10年以内 (1年以内) 運転資金 5年以内 (1年以内)	年1.15%以内 ※太陽光売電 設備は年 1.30%以内

表7-3 脱炭素社会推進資金（再生可能エネルギー利用促進枠）の融資実績の推移

種 類	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
再生可能エネルギー 利用促進資金	0	0	0	0	0	0	1	9,350	0	0

表7-4 公害防止施設等に対するその他融資制度の実績の推移

種 類	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
中小企業高度化資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備投資促進資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業近代化資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 循環型社会づくりの推進

表7-5 ごみ処理状況の年度別推移

年度	総人口(人)	総排出量 (t/年)	回収量			焼却量 (t/年)	焼却率 (%)	資源化量 (t/年)	再生 利用率 (%)	埋立量 (t/年)
			計画収集量及び 直接搬入量	集団 回収量	民間事業者 による回収量					
27	1,079,555	418,400	380,201	29,999	8,200	307,566	75.0	105,373	25.2	35,305
28	1,075,225	416,892	380,356	27,451	9,085	305,605	74.9	106,608	25.6	34,688
29	1,070,287	421,043	381,313	26,392	13,338	304,804	74.8	111,776	26.5	38,273
30	1,064,456	420,443	380,742	25,250	14,443	300,373	74.0	112,312	26.7	38,290
元	1,057,439	420,962	381,510	23,302	16,150	305,191	75.4	109,240	26.0	34,243
2	1,048,898	412,391	379,067	18,637	14,687	300,523	75.6	105,382	25.6	39,041

表7-6 容器包装リサイクル法に基づく分別収集量の年度別推移

(単位：t)

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
無 色 ガ ラ ス	2,028.2	1,944.3	1,804.7	1,834.8	1,747.0
茶 色 ガ ラ ス	2,148.2	2,095.5	1,943.9	1,846.4	1,786.8
そ の 他 ガ ラ ス	887.7	876.9	911.7	945.3	927.2
ペ ッ ト ボ ト ル	1,354.1	1,418.4	1,351.3	1,426.6	1,429.5
そ の 他 紙 製 容 器 包 装	1,896.3	1,851.6	2,203.3	2,066.4	1,593.3
その他プラスチック製容器包装	5,153.9	5,235.1	5,248.5	5,486.5	5,500.5
ス チ ー ル 缶	423.2	383.1	340.8	323.8	288.4
ア ル ミ 缶	1,072.8	993.6	900.5	882.1	797.2
紙 パ ッ ク	113.4	111.6	106.5	109.9	94.3
段 ボ ー ル	6,378.5	6,234.4	6,082.2	5,909.5	5,756.6
計	21,456.3	21,144.5	20,893.3	20,831.4	19,920.6

注 その他プラスチック製容器包装は、白色トレイを含めた量です。

表7-7 家電リサイクル法に基づく廃家電品の引取り台数

(単位：台数)

年 度	エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機	計
29	24,885	25,684	29,420	24,132	104,121
30	31,809	30,331	29,829	32,967	124,936
元	33,398	33,338	32,023	36,373	135,132
2	33,652	36,735	30,233	36,198	136,818
3	30,476	36,302	29,375	35,289	131,442

注 県内4か所の指定引取場所での引取り台数です。

図7-2 産業廃棄物の地域別排出量（2年度）

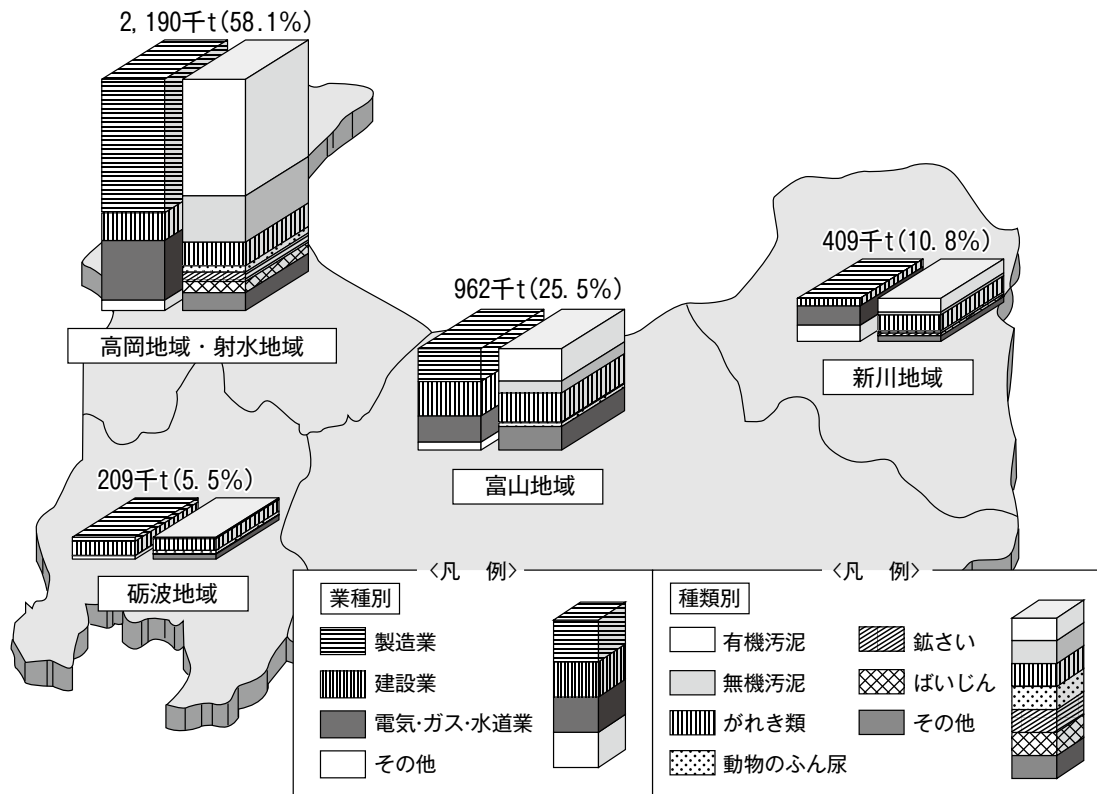


表7-8 多量排出事業者の処理計画書等の提出状況（3年度）

業 種	産業廃棄物	特別管理産業廃棄物	計
製 造 業	62 (22)	52 (23)	114 (45)
建 設 業	100 (35)	2 (1)	102 (36)
電気・ガス・水道業	21 (5)	1 (0)	22 (5)
そ の 他 の 業 種	1 (1)	7 (4)	8 (5)
計	184 (63)	62 (28)	246 (91)

注1 提出事業者は、法に定める多量排出事業者（産業廃棄物の年間発生量が1,000 t 以上又は特別管理産業廃棄物の年間発生量が50 t 以上の事業者）を示します。

2 () は、富山市に提出があったものであり、内数です。

3 その他の業種は、鉱業、医療業などです。

4 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の両方の計画書を提出した事業所数は31（うち富山市14）です。

表7-9 ごみ処理施設の整備状況

① ごみ焼却施設

(4年4月1日現在)

広域圏	市町村・事務組合	名称	型式	能力(t/日)
富山	富山地区広域圏事務組合 (富山市・滑川市・舟橋村・上市町・立山町)	クリーンセンター	全連続	810
高岡	高岡地区広域圏事務組合 (高岡市・氷見市・小矢部市)	高岡広域エコ・クリーンセンター	全連続	255
新川	新川広域圏事務組合 (魚津市・黒部市・入善町・朝日町)	エコぽ〜と	准連続	174
砺波	砺波広域圏事務組合 (砺波市・南砺市)	クリーンセンターとなみ	全連続	90
射水	射水市	クリーンピア射水	全連続	138
計		5施設		1,467

② 粗大ごみ処理施設

(4年4月1日現在)

広域圏	市町村・事務組合	名称	型式	能力(t/日)
富山	富山地区広域圏事務組合 (富山市・滑川市・舟橋村・上市町・立山町)	リサイクルセンター	破碎・選別・圧縮	70
高岡	氷見市	氷見市不燃物処理センター	破碎・選別	20
新川	新川広域圏事務組合 (魚津市・黒部市・入善町・朝日町)	宮沢清掃センター	破碎・選別・圧縮	40
砺波	砺波広域圏事務組合 (砺波市・南砺市)	クリーンセンターとなみ 粗大ごみ処理プラント	破碎・選別	9
計		4施設		139

③ 廃棄物再生利用施設(リサイクルプラザ)

(4年4月1日現在)

広域圏	市町村・事務組合	名称	型式	能力(t/日)
富山	富山地区広域圏事務組合 (富山市・滑川市・舟橋村・上市町・立山町)	リサイクルセンター	破碎・選別・圧縮	40.6
高岡	氷見市	氷見市リサイクルプラザ	選別・圧縮	16
砺波	砺波広域圏事務組合 (南砺市)	南砺リサイクルセンター	破碎・選別・圧縮	8
射水	射水市	ミライクル館	破碎・選別・圧縮	8.74
計		4施設		73.3

表7-10 し尿処理状況の年度別推移

年度	総人口 (人)	くみとり 便所 計画収集 人口(人)	水洗便所			衛生処理 人口(人)	収集内訳 (kL/年)			処理内訳 (kL/年)		
			浄化槽 基数 (基)	浄化槽 等人口 (人)	公 共 下水道 人口(人)		くみとり し尿	浄化槽 汚泥	計	し尿処理 施設	公共下水道 マンホ ール投入	農地還元 その他
28	1,075,225	39,365	46,920	186,404	849,456	1,075,225	26,074	93,332	119,406	89,538	29,868	0
29	1,070,287	36,615	43,983	179,647	854,025	1,070,287	24,353	89,912	114,265	85,874	28,391	0
30	1,064,456	33,346	43,064	172,706	858,404	1,064,456	22,671	87,768	110,439	83,947	26,492	0
元	1,057,439	31,788	42,159	167,130	858,521	1,057,439	21,208	85,016	106,224	80,044	26,180	0
2	1,048,898	28,717	39,162	160,653	859,528	1,048,898	19,453	84,798	104,251	79,272	24,979	0

表7-11 し尿処理施設の整備状況

(4年4月1日現在)

広域圏	市町村・事務組合	名 称	型 式	能 力 (kL/日)
富山	富 山 市	つばき園	固液分離	90
	富山地区広域圏 事務組合 (富山市・滑川市・舟橋村・上市町・立山町)	富山地区広域圏衛生センター し尿処理棟	標準脱窒素	60
		富山地区広域圏衛生センター 汚泥処理棟	固液分離 ・希釈放流	50
高岡	高 岡 市	高岡市し尿処理施設	好気性消化処理	66
	氷 見 市	クリーンセンター	高負荷脱窒素	30
砺波	砺波地方衛生 施設組合 (高岡市・砺波市・小矢部市・南砺市)	クリーンシステムとなみ	直接脱水型 硝化脱窒素	55
射水	射 水 市	射水市衛生センター	二段活性汚泥	116
計		7 施設		467

表7-12 産業廃棄物処理施設の許可（届出）状況

（4年3月31日現在）

施設区分	処理能力	施設数	施設区分	処理能力	施設数
汚泥の脱水施設	10m ³ /日を超える	60	廃プラスチック類の焼却施設	100kg/日を超える 火格子面積2m ² 以上	2
		14			8
汚泥の乾燥施設	10m ³ /日（天日乾燥施設にあっては100m ³ /日）を超える	4	木くず又はがれき類の破碎施設	5t/日を超える	130
		1			88
汚泥の焼却施設	5m ³ /日を超える 200kg/時間以上 火格子面積2m ² 以上	5	有害物質等のコンクリート固化施設	すべて	1
		5	シアン化合物の分解施設	すべて	3
廃油の油水分離施設	10m ³ /日を超える	3	廃PCB等の分解施設	すべて	0
		3			0
廃油の焼却施設	1m ³ /日を超える 200kg/時間以上 火格子面積2m ² 以上	1	産業廃棄物の焼却施設(汚泥、廃油、廃プラスチック類以外の施設)	200kg/時間以上 火格子面積2m ² 以上	6
		5	最終処分場	安定型	7
廃酸又は廃アルカリの中和施設	50m ³ /日を超える	1		管理型	9
		2	6		
廃プラスチック類の破碎施設	5t/日を超える	28	計		257
		25			169

注 上段は富山県の施設数、下段は富山市の施設数です。

表7-13 PCB特別措置法に基づく届出状況

（3年3月31日現在）

区 分	保管中	使用中
事業所数	483	269
数量		
変圧器(トランス) [台]	566	717
コンデンサー(3kg以上) [台]	405	96
コンデンサー(3kg未満) [台]	173	287
柱上変圧器(柱上トランス) [台]	18	0
安定器 [台]	12,728	635
その他PCBを含む油 [kg]	462,478	
感圧複写紙 [kg]	1,032	
ウエス [kg]	6,131	
汚泥 [kg]	23,833	
その他電気機械器具 [台]	434	124
その他 [kg]	116,829	

- 注1 県所管分と富山市所管分を合計した数値です。
 2 「その他PCBを含む油」のうち、容量で届出されたものは、1L=1kgとして重量に換算して集計しています。
 3 平成28年のPCB特別措置法の改正により廃棄物の種類が変更され、「高圧トランス」、「低圧トランス」が「変圧器(トランス)」に、「高圧コンデンサ」が「コンデンサー(3kg以上)」に、「低圧コンデンサ」が「コンデンサー(3kg未満)」に、「PCB」、「PCBを含む油」が「その他PCBを含む油」になりました。

3 自然環境の保全

表7-14 国立公園内における工作物の新築等に係る許認可取扱状況（3年度）
（単位：件）

国立公園	許可（協議・届出含）		認可（同意・協議含）	計
	大臣	知事		
中部山岳	27	38	10	75
白山	0	0	0	0
計	27	38	10	75

表7-15 国定公園内における工作物の新築等に係る許認可取扱状況（3年度）
（単位：件）

国定公園	許可（協議・届出含）	認可（承認）	計
能登半島	12	0	12

表7-16 県立自然公園内における工作物の新築等に係る許認可取扱状況（3年度）
（単位：件）

県立自然公園	許可（協議・届出含）	認可（同意・協議含）	計
朝日	5	1	6
有峰	8	5	13
五箇山	9	2	11
白木水無	2	2	4
医王山	2	1	3
僧ヶ岳	3	2	5
計	29	13	42

表7-17 富山県自然環境保全基金による土地保有状況

(4年3月31日現在) (単位: m²)

名 称	市町村	山 林 ①	その他 ②	計 ①+②	左のうち、県の持分	
					持分比	
朝日県立自然公園・朝日城山地内	朝日町	51,679.01	21,485.67	73,164.68	2/3	48,776.45
白木水無県立自然公園・杉ヶ平地内	富山市	378,896.00	0.00	378,896.00	3/4*	278,704.42
県民公園野鳥の園・古洞池	//	142,853.45	0.00	142,853.45	1/1	142,853.45
県民公園野鳥の園・恩坊池	射水市	30,720.00	577.00	31,297.00	1/1	31,297.00
能登半島国定公園・雨晴園地	高岡市	2,113.00	8,065.11	10,178.11	2/3	6,785.41
縄ヶ池・若杉自然環境保全地域内	南砺市	126,916.00	0.00	126,916.00	2/3	84,610.67
五箇山県立自然公園・相倉地内	//	712.00	22,552.41	23,264.41	2/3	15,509.61
五箇山県立自然公園・西赤尾地内	//	172,250.76	8,195.44	180,446.20	2/3	120,297.47
医王山県立自然公園内	//	379,249.62	2,268.00	381,517.62	2/3*	245,422.28
能登半島国定公園・九殿浜・窪地内	氷見市	2,751.00	5,214.00	7,965.00	2/3	5,310.00
小 計		1,288,140.84	68,357.63	1,356,498.47	—	979,566.76
県民公園野鳥の園	富山市	52,394.00	地上権設定	52,394.00	1/1	52,394.00
合 計		1,340,534.84	68,357.63	1,408,892.47	—	1,031,960.76

注 ※：他の持ち分比率の場合があります。

表7-18 県民公園新港の森の概要

施設名	概 要
野 球 場	1 規模 両翼90m、センター120m 2 施設 バックスクリーン、スコアボード、バックネット、ダッグアウト、放送設備等
スポーツ広場	1 規模 300mトラック(6コース)相当、直線コース125m 2 施設 跳躍、投てき、サッカー、ゲートボール、ソフトボール
テニスコート	クレイコート4面
駐 車 場	4か所(乗用車約200台駐車)
そ の 他	管理事務所1棟、園路遊歩道6,400m、芝生広場10か所(27,000m ²)、植栽約11万本(160,000m ²)、休憩所32か所、便所5か所、公衆電話など

表7-19 県民公園新港の森施設利用状況

(単位：人)

年 度		29	30	元	2	3
入 園 者 数		119,200	112,800	124,300	118,500	131,500
施設 利用 人員	野 球 場	16,415	9,760	16,106	10,560	10,665
	テニスコート	2,338	2,529	2,029	1,152	2,017
	スポーツ広場	5,402	5,805	3,885	1,800	3,835
	計	24,155	18,094	22,020	13,512	16,517

表7-20 空港スポーツ緑地の概要

地区	主な施設	面積(ha)	特 徴
A地区	陸上競技場 お祭り広場 その他	3.5	トラックはウレタンチップ系全天候型舗装。 カラーアスファルト舗装。イベントの会場としても利用可能。 園路、植栽地等。
B地区	庭球場 入口広場 展望広場 芝生スロープ せせらぎ広場 その他	3.3	砂入り人工芝コートが6面ある。 空港スポーツ緑地の「玄関」となる広場。 小高い丘の上であり、飛行機の離着陸が眺められる。 なだらかな芝生のスロープ。冬はミニスキーに利用できる。 長さ208.5mに及ぶ溝、流れ、池がある。 園路、植栽地等。
C地区	わんぱく広場 芝生広場 駐車場 その他	2.9	多目的に利用できる広々とした芝生の広場。 ダスト舗装コートが4面ある。 自動車62台が駐車可能。 園路、植栽地等。
D地区	林間広場 緑陰広場 レインボープラザ 駐車場 その他	1.7	ダスト舗装の広場に高木の林。 芝生の広場。 7色のシャワーモニュメントを配したサンクス広場。 自動車26台駐車可能。 園路、植栽地等。
E地区	児童遊園 駐車場	1.8	築山、砂場等。
計		13.2	

表7-21 空港スポーツ緑地施設利用状況

(単位：人)

年 度		29	30	元	2	3
入 園 者 数		84,307	84,609	85,629	67,672	68,332
施設 利用 人員	陸上競技場	15,899	12,626	12,336	7,298	9,000
	庭 球 場	10,963	11,013	10,644	8,287	8,013
	計	26,862	23,639	22,980	15,585	17,013

表7-22 立山山麓家族旅行村の主要施設

地 区	主 要 施 設
中央管理地区	管理棟（鉄筋コンクリート平屋建、343m ² ）、休憩所（合掌造）、駐車場（60台収容）、芝生広場（7,890m ² ）、イベント広場
ファミリー広場	芝生広場（7,269m ² ）、遊水池、パークゴルフコース
野 外 広 場	オートキャンプサイト（32区画）、バーベキュー卓、炊事棟、多目的ハウス、シャワー棟、遊具
宿泊施設地区	ケビン（4人用15棟、8人用5棟）、バーベキュー卓
森 の 広 場	芝生広場（9,200m ² ）、展望広場、ロックガーデン

表7-23 登山届の概要

（3年12月1日～4年5月15日）

区 分	12月1日 ～2月末日	3月1日 ～4月15日	4月16日 ～5月15日	計
登 山 届	16パーティー (52人)	21パーティー (93人)	184パーティー (555人)	221パーティー (700人)

表7-24 愛鳥週間行事（3年度）

月日	行 事 名	場 所	行 事 内 容	備 考
5月10日(月)	ヒナを拾わないDAY	富山市婦中町吉住自然博物館「ねいの里」	音川保育所の園児を対象に、救護されている野鳥の様子や巣箱の中の観察等を行い、野鳥に対する理解を深めてもらう。	
5月16日(日)	探鳥の日	富山市三熊野鳥の園（古洞池）	愛鳥思想の普及、高揚を図るため、広く一般の方を対象にバードウォッチングを開催し、野鳥に対する正しい理解を深めてもらう。(第55回) 共 催：日本鳥類保護連盟富山県支部等	
5月13日(木)	野生生物愛護表彰の日	県庁4階大会議室	第67回愛鳥ポスターの入賞者の表彰、やせいの生きものふれあいモデル校の指定証の交付を行う。 ・愛鳥ポスター入賞者ほか (富山県知事賞、富山県教育委員会教育長賞)	入選ポスターの展示は5月14日～23日までファボーレで、また6月9日～28日は自然博物館「ねいの里」で実施
週間中	野鳥相談	富山市婦中町吉住自然博物館「ねいの里」	自然博物館「ねいの里」で、野鳥に関する各種相談に応じる。 共 催：自然博物館「ねいの里」	

表7-25 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」による種の指定状況
(4年3月31日現在)

指定年月日区分	種名	レッドデータブック とやま2012掲載種
H5年2月10日 鳥類	アホウドリ、チシマウガラス、コウノトリ、トキ、シジュウカラガン、オオタカ*、イヌワシ、オガサワラノスリ、オジロワシ、オオワシ、カンムリワシ、クマタカ、シマハヤブサ、ハヤブサ、ライチョウ、タンチョウ、ヤンバルクイナ、アマミヤマシギ、カラフトアオアシシギ、エトピリカ、ウミガラス、キンバト、アカガシラカラスバト、ヨナクニカラスバト、シマフクロウ、オーストンオオアカゲラ、ミユビゲラ、ノグチゲラ、ヤイロチョウ、アカヒゲ、ホントウアカヒゲ、ウスアカヒゲ、オオトラツグミ、オオセッカ、ハハジマメグロ、オガサワラカワラヒワ ※29年9月21日削除	トキ オオタカ イヌワシ オジロワシ オオワシ クマタカ ハヤブサ ライチョウ ウミガラス ヤイロチョウ
6年1月28日 哺乳類 魚類 昆虫類 植物	ツシマヤマネコ、イリオモテヤマネコ ミヤコタナゴ ベッコウトンボ レブンアツモリソウ、キタダケソウ	
7年2月18日 爬虫類 両生類 魚類 植物	キクザトサワヘビ アベサンショウウオ イタセンパラ ハナシノブ	イタセンパラ
8年1月18日 昆虫類	ヤシャゲンゴロウ、ヤンバルテナガコガネ、ゴイシツバメシジミ	
9年9月5日 植物	ホテИАツモリ、アツモリソウ	アツモリソウ
9年11月27日 鳥類	ワシミミズク	
11年11月25日 植物	アマミデンダ、ヤドリコケモモ、コゴメキノエラン	
14年8月7日 魚類 昆虫類 植物	スイゲンゼニタナゴ イシガキニイニイ チョウセンキバナアツモリソウ、オキナワセッコク、クニガミトンボソウ	
16年7月2日 哺乳類 魚類 植物	ダイトウオオコウモリ、アマミノクロウサギ アユモドキ ムニンツツジ、ムニンノボタン、アサヒエビネ、ホシツルラン、シマホザキラン、タイヨウフウトウカズラ、コバトベラ、ウラジロコムラサキ	
20年7月25日 昆虫類 植物	オガサワラハンミョウ、オガサワラシジミ、オガサワラトンボ、オガサワラアオイトトンボ、ハナダカトンボ ヒメタニワタリ、コヘラナレン、シマカコソウ、ウチダシクロキ	
21年12月2日 哺乳類	オガサワラオオコウモリ	
23年3月18日 昆虫類	マルコガタノゲンゴロウ、フチトリゲンゴロウ、シャープゲンゴロウモドキ、ヨナグニマルバネクワガタ、ヒョウキンモドキ	シャープゲンゴロウモドキ
24年4月20日 植物	ウラジロヒカゲツツジ、シモツケコウホネ、カッコソウ	

指定年月日区分	種名	レッドデータブック とやま2012掲載種
27年4月15日 爬虫類 昆虫類 陸産貝類 植 物	クロイトカゲモドキほか4種 オガサワラナガタムシほか15種 アニジマカタマイマイほか13種 ナガミカズラほか5種	
27年11月11日 両生類	アマクササンショウウオほか3種	
28年2月24日 哺乳類 爬虫類 両生類 昆虫類 植 物	ケナガネズミほか3種 ミヤコカナヘビ ホルストガエルほか5種 フサヒゲルリカミキリほか7種 サキシマハブカズラほか21種	
28年12月14日 昆 虫 陸産貝類 甲殻類 植 物	クメジマボタルほか1種 アマノヤマタカマイマイほか2種 カクレサワガニほか3種 オキナワテンナンショウほか23種	
29年9月1日 鳥 類	ヘラシギ チュウヒ シマアオジ	チュウヒ
30年1月26日 昆虫類 貝 類 植 物	タカネギマダラセセリ赤石山脈亜種ほか2種 オオアガリマイマイほか1種 ツルギテンナンショウほか44種	
31年1月18日 哺乳類 鳥 類 爬虫類 両生類 魚 類 昆虫類 甲殻類 植 物	エラブオオコウモリほか2種 クロコシジロウミツバメほか1種 ケラマトカゲモドキ コガタハナサキガエルほか1種 ハカタスジシマドジョウほか2種 ヒサマツサイカブトほか1種 オガサワラヌマエビほか1種 カラフトグワイほか20種	クモマキンポウゲ
R2年1月22日 哺乳類 鳥 類 爬虫類 両生類 魚 類 昆虫類 陸産貝類 植 物	オリイコキクガシラコウモリほか2種 クロツラヘラサギほか4種 サキシマカナヘビほか2種 トウキョウサンショウウオ セボシタビラほか2種 リュウキュウヒメミズスマシほか3種 オモイガケナマイマイほか10種 ヒュウガヒロハテンナンショウほか32種	クロツラヘラサギ オオヨシゴイ タガメ
2年12月16日 鳥 類 昆虫類 陸産貝類 植 物	アカモズ タイワンタイコウチほか1種 サダマイマイほか17種 キタカミヒョウタンボクほか17種	アカモズ タカネキンポウゲ
4年1月4日 両生類 二枚貝類 植 物	アブサンショウウオほか25種 カワシンジュガイほか1種 シマトウヒレンほか3種	ハクバサンショウ ウオ ヒゲナガコメスキ

表7-26 「富山県希少野生動植物保護条例」による種の指定状況
(4年3月31日現在)

指定年月日	種名
H27年4月22日 淡水魚類	ミナミアカヒレタビラ
27年5月29日 両生類 維管束植物	ホクリクサンショウウオ、ハクバサンショウウオ サギソウ、フクジュソウ

表7-27 野生鳥獣の救護活動実績(3年度)

区分	鳥類		獣類		計	
	種類数	救護羽数	種類数	救護頭数	種類数	救護数
富山県鳥獣保護センター	39	86	6	13	45	99

表7-28 有害鳥獣捕獲等の状況(3年度)

種類(鳥類)	捕獲数(羽)	種類(獣類)	捕獲数(頭)
カラス	4,200	イノシシ	3,045
カワウ	377	ニホンザル	210
ムクドリ	44	ツキノワグマ	51
カルガモ	54	ハクビシン	56
アオサギ	60	ニホンジカ	233
ドバト	105	ノウサギ	0
ゴイサギ	0	タヌキ	10
		アライグマ	0
計	4,840	計	3,605

注1 イノシシ、ニホンザル、ツキノワグマ、ニホンジカ、カワウは特定計画に基づくものです。

2 イノシシ、ニホンジカの捕獲数は指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲数を含む。

表7-29 狩猟者登録の実績(3年度)

(単位：人)

区分	県内者	県外者	計	
免許の種類	網 猟	69	0	69
	わ な 猟	466	1	467
	第1種銃猟	567	61	628
	第2種銃猟	28	1	29
計	1,130	63	1,193	

注 網 猟：網
わ な 猟：わな
第1種銃猟：ライフル銃、散弾銃及び空気銃
第2種銃猟：空気銃

4 生活環境の保全

表7-30 一般環境観測局の概要

(4年3月現在)

区分	市 町	観 測 局	所 在 地	設置年度	調査機関	測 定 項 目 等
富 山 地 域	富 山 市	富 山 水 橋	水 橋 畠 等	S50	市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二酸化硫黄（紫外線蛍光法） ・ 浮遊粒子状物質（β線吸収法） ・ 窒素酸化物（オゾンを用いる化学発光法） ・ 光化学オキシダント（紫外線吸収法） ・ 炭化水素（水素炎イオン化法） ・ 微小粒子状物質（β線吸収法） ・ 風向風速（光パルス式） ・ テレメータ化
		富 山 岩 瀬	蓮 町	S42	市	
		富 山 芝 園	安 野 屋 町	H 3	市	
		富 山 蝮 川	赤 田	S48	市	
		婦 中 速 星	婦中町笹倉	S48	市	
滑 川 市	滑 川 上 島	上 島	H 3	県		
高岡・射水地域	高 岡 市	高 岡 伏 木	伏木東一宮	S42	県	
	氷 見 市	氷 見	窪	H 4	県	
	射 水 市	新 湊 海 老 江	東 明 中 町	S48	県、市	
		小 杉 太 閤 山	中 太 閤 山	S47	県	
新川地域	魚 津 市	魚 津	北 鬼 江	H 3	県	
	黒 部 市	黒 部 植 木	植 木	H 4	県、市	
	入 善 町	入 善	入 膳	H 3	県	
砺波・小矢部地域	砺 波 市	砺 波	太 田	H 4	県	
	小 矢 部 市	小 矢 部	泉 町	H 4	県	
	南 砺 市	福 野	柴 田 屋	H 4	県	
計	16					

注 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に観測局を統廃合し、高岡本丸、高岡戸出及び新湊三日曾根を廃止しました。

表7-31 二酸化硫黄濃度の年度別推移（年平均値）

（単位：ppm）

観測局			年 度				
			29	30	元	2	3
富山地域	富山市	富山岩瀬	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
		富山芝園	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		富山蜷川	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		婦中速星	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
		高岡本丸	0.000	0.000			
	氷見市	氷見	0.000	0.000			
		射水市	新湊三日曾根	0.000	0.000		
	新湊海老江		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	小杉太閤山		0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
新川地域	魚津市	魚津	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001
	黒部市	黒部植木	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	入善町	入善	0.001	0.001			
礪波尖部地域	小矢部市	小矢部	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001
	南砺市	福野	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001
年平均値			0.001	0.000	0.000	0.000	0.000

注1 測定は紫外線蛍光法によります。

2 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に高岡本丸、氷見、新湊三日曾根及び入善の測定を終了しました。

表7-32 二酸化硫黄に係る環境基準の達成状況

観測局	項目	基準	1日平均値の2%除外値 (ppm)					短期的評価による適(○)、否(×)					長期的評価による適(○)、否(×)				
			0.04ppm以下であること					29	30	元	2	3	29	30	元	2	3
			29	30	元	2	3										
富山地域	富山市	富山岩瀬	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		富山芝園	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		富山蜷川	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		婦中速星	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—
		高岡本丸	0.001	0.002				○	○				○	○			
	氷見市	氷見	0.001	0.001				○	○				○	○			
		射水市	新湊三日曾根	0.001	0.001				○	○				○	○		
	新湊海老江		0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小杉太閤山		0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新川地域	魚津市	魚津	0.003	0.004	0.003	0.001	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	黒部市	黒部植木	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	入善町	入善	0.002	0.002				○	○				○	○			
礪波・小矢部地域	小矢部市	小矢部	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	南砺市	福野	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

- 注1 測定は紫外線蛍光法によります。
- 2 短期的評価による適(○)とは、1時間値の1日平均値がすべての有効測定日(1日20時間以上の測定が行われた日をいいます。)で0.04ppm以下であり、かつ、1時間値がすべての測定時間において0.1ppm以下であることをいいます。
- 3 長期的評価による適(○)とは、年間にわたる1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した後の最大値が0.04ppm以下であり、かつ、年間を通じて1日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しないことをいいます。
- 4 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画(31年4月)」に基づき、元年度に高岡本丸、氷見、新湊三日曾根及び入善の測定を終了しました。
- 5 3年度の高岡伏木については、測定機器の故障により、年間の有効測定日数が250日未満のため、測定結果は参考値として扱い、環境基準の評価対象としません。

表7-33 二酸化窒素濃度の年度別推移（年平均値）

（単位：ppm）

観測局			年 度				
			29	30	元	2	3
富山地域	富山市	富山岩瀬	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006
		富山芝園	0.006	0.007	0.006	0.006	0.005
		婦中速星	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004
		高岡本丸	0.007	0.006			
	氷見市	氷見	0.004	0.004	0.003	0.002	0.002
	射水市	新湊三日曾根	0.006	0.005			
		新湊海老江	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005
		小杉太閤山	0.007	0.006	0.006	0.005	0.005
新川地域	魚津市	魚津	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004
	黒部市	黒部植木	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004
	入善町	入善	0.006	0.005	0.005	0.004	0.004
叡 尖 部 観	小矢部市	小矢部	0.006	0.004	0.004	0.003	0.004
	南砺市	福野	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003
年平均値			0.006	0.005	0.005	0.004	0.004

注1 測定は、オゾンを用いる化学発光法によります。

2 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に高岡本丸及び新湊三日曾根の測定を終了しました。

表7-34 二酸化窒素に係る環境基準の達成状況

観測局	項目		1日平均値の98%値 (ppm)					環境基準の適 (○)、否 (×)				
	基準	年度	0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること					29	30	元	2	3
			29	30	元	2	3					
富山地域	富山市	富山岩瀬	0.017	0.013	0.015	0.016	0.013	○	○	○	○	○
		富山芝園	0.016	0.014	0.014	0.017	0.013	○	○	○	○	○
		婦中速星	0.010	0.007	0.008	0.010	0.009	○	○	○	○	○
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.013	0.010	0.011	0.010	0.010	○	○	○	○	○
		高岡本丸	0.020	0.014				○	○			
	射水市	氷見	0.010	0.008	0.007	0.007	0.006	○	○	○	○	○
		新湊三日曾根	0.018	0.013				○	○			
		新湊海老江	0.013	0.011	0.014	0.015	0.012	○	○	○	○	○
		小杉太閤山	0.017	0.013	0.014	0.014	0.012	○	○	○	○	○
新川地域	魚津市	魚津	0.012	0.010	0.010	0.010	0.009	○	○	○	○	○
	黒部市	黒部植木	0.012	0.010	0.010	0.011	0.008	○	○	○	○	○
	入善町	入善	0.012	0.009	0.010	0.009	0.008	○	○	○	○	○
礪波尖部地域	小矢部市	小矢部	0.018	0.010	0.010	0.011	0.010	○	○	○	○	○
	南砺市	福野	0.010	0.008	0.009	0.011	0.009	○	○	○	○	○

- 注1 測定は、オゾンを用いる化学発光法によります。
 2 環境基準の適 (○) とは、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から数えて98%目にあたる値が、0.04ppmから0.06ppmのゾーン内又はそれ以下であることをいいます。
 3 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画 (31年4月)」に基づき、元年度に高岡本丸及び新湊三日曾根の測定を終了しました。

表7-35 浮遊粒子状物質濃度の年度別推移（年平均値）

（単位：mg/m³）

観測局			年 度				
			29	30	元	2	3
富山地域	富山市	富山水橋	0.014	0.015	0.012	0.012	0.011
		富山岩瀬	0.013	0.015	0.013	0.012	0.010
		富山芝園	0.012	0.014	0.012	0.012	0.010
		富山蜷川	0.012	0.013	0.012	0.011	0.008
		婦中速星	0.010	0.011	0.010	0.010	0.009
	滑川市	滑川上島	0.010	0.011			
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.020	0.020	0.018	0.019	0.021
		高岡本丸	0.011	0.012			
		高岡戸出	0.010	0.010			
	氷見市	氷見	0.012	0.012	0.011	0.012	0.010
	射水市	新湊三日曾根	0.013	0.013			
		新湊海老江	0.012	0.011	0.008	0.009	0.007
小杉太閤山		0.018	0.019	0.016	0.016	0.015	
新川地域	魚津市	魚津	0.023	0.024	0.018	0.011	0.010
	黒部市	黒部植木	0.007	0.008	0.006	0.007	0.007
	入善町	入善	0.013	0.010	0.009	0.011	0.008
砺波・小矢部地域	砺波市	砺波	0.017	0.017			
	小矢部市	小矢部	0.013	0.014	0.012	0.013	0.012
	南砺市	福野	0.014	0.014	0.013	0.013	0.012
年平均値			0.013	0.014	0.012	0.012	0.011

注1 測定は、β線吸収法によります。

2 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に滑川上島、高岡本丸、高岡戸出、新湊三日曾根及び砺波の測定を終了しました。

表7-36 浮遊粒子状物質に係る環境基準の達成状況

観測局	項目	1日平均値の2%除外値(mg/m ³)					短期的評価による適(○)、否(×)					長期的評価による適(○)、否(×)				
		基準					0.10mg/m ³ 以下であること									
		年度	29	30	元	2	3	29	30	元	2	3	29	30	元	2
富山地域	富山市	富山水橋	0.036	0.040	0.031	0.038	0.028	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		富山岩瀬	0.033	0.038	0.032	0.039	0.024	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		富山芝園	0.032	0.035	0.030	0.034	0.025	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		富山蜷川	0.030	0.035	0.035	0.035	0.023	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		婦中速星	0.030	0.031	0.028	0.030	0.023	○	○	○	○	○	○	○	○	○
滑川市	滑川上島	0.029	0.032				○	○				○	○			
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.044	0.042	0.040	0.041	0.036	○	○	○	○	-	○	○	○	-
		高岡本丸	0.030	0.034				○	○				○	○		
		高岡戸出	0.036	0.036				○	○				○	○		
	射水市	氷見	氷見	0.034	0.031	0.027	0.030	0.023	○	○	○	○	○	○	○	○
新湊三日曾根		0.034	0.034				○	○				○	○			
新湊海老江		0.032	0.033	0.026	0.029	0.018	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	小杉太閤山	0.042	0.048	0.036	0.038	0.033	○	×	○	×	○	○	○	○	○	
新川地域	魚津市	魚津	0.046	0.049	0.040	0.032	0.026	○	○	○	○	○	○	○	○	
	黒部市	黒部植木	0.023	0.031	0.018	0.020	0.019	○	○	○	○	○	○	○	○	
	入善町	入善	0.024	0.025	0.020	0.030	0.023	○	○	○	○	○	○	○	○	
砺波・小矢部地域	砺波市	砺波	0.038	0.042				○	○				○	○		
	小矢部市	小矢部	0.035	0.037	0.032	0.036	0.026	○	○	○	×	○	○	○	○	
	南砺市	福野	0.034	0.032	0.035	0.035	0.027	○	○	○	×	○	○	○	○	

- 注1 測定は、β線吸収法によります。
- 2 短期的評価による適(○)とは、1時間値の1日平均値がすべての有効測定日(1日20時間以上の測定が行われた日をいいます。)で0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値がすべての測定時間において0.20mg/m³以下であることをいいます。
- 3 長期的評価による適(○)とは、年間にわたる1日平均値のうち、高い方から2%の範囲内にあるものを除外した後の最大値が0.10mg/m³以下であり、かつ、年間を通じて1日平均値が0.10mg/m³を超える日が2日間以上連続しないことをいいます。
- 4 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画(31年4月)」に基づき、元年度に滑川上島、高岡本丸、高岡戸出、新湊三日曾根及び砺波の測定を終了しました。
- 5 3年度の高岡伏木については、測定機器の故障により、年間の有効測定日数が250日未満のため、測定結果は参考値として扱い、環境基準の評価対象としません。

表7-37 光化学オキシダント濃度の年度別推移（年平均値）

（単位：ppm）

観測局			年 度				
			29	30	元	2	3
富山地域	富山市	富山水橋	0.036	0.034	0.033	0.034	0.034
		富山岩瀬	0.035	0.034	0.033	0.033	0.034
		富山芝園	0.034	0.033	0.032	0.032	0.033
		富山蜷川	0.033	0.032	0.031	0.030	0.033
		婦中速星	0.032	0.031	0.030	0.030	0.032
	滑川市	滑川上島	0.033	0.033	0.031	0.032	0.034
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.038	0.037	0.036	0.035	0.037
		高岡本丸	0.034	0.035			
		高岡戸出	0.035	0.034			
	氷見市	氷見	0.036	0.035	0.033	0.031	0.033
	射水市	新湊三日曾根	0.035	0.033			
		新湊海老江	0.034	0.035	0.034	0.034	0.035
小杉太閤山		0.031	0.032	0.029	0.031	0.032	
新川地域	魚津市	魚津	0.037	0.037	0.035	0.034	0.037
	黒部市	黒部植木	0.037	0.035	0.033	0.034	0.036
	入善町	入善	0.036	0.036	0.035	0.035	0.036
砺波・小矢部地域	砺波市	砺波	0.034	0.032	0.032	0.033	0.033
	小矢部市	小矢部	0.034	0.033	0.031	0.032	0.033
	南砺市	福野	0.035	0.033	0.031	0.032	0.035
年平均値			0.035	0.034	0.032	0.032	0.034

注1 測定は、紫外線吸収法によります。

注2 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に高岡本丸、高岡戸出及び新湊三日曾根の測定を終了しました。

表7-38 光化学オキシダントに係る環境基準の達成状況

観測局	項目	基準	1時間値の最高値 (ppm)					1時間値が0.06ppmを超えない場合の割合 (%)				
			0.06ppm以下であること									
			29	30	元	2	3	29	30	元	2	3
富山地域	富山市	富山水橋	0.111	0.085	0.101	0.083	0.077	93.8	95.8	96.5	96.9	97.9
		富山岩瀬	0.108	0.086	0.101	0.085	0.079	93.9	95.3	95.7	97.2	98.0
		富山芝園	0.110	0.087	0.099	0.080	0.080	95.0	95.9	96.4	97.5	98.6
		富山蜷川	0.109	0.087	0.094	0.079	0.074	96.0	96.5	97.4	98.4	99.3
		婦中速星	0.110	0.088	0.100	0.083	0.078	95.6	96.3	96.7	97.2	98.9
	滑川市	滑川上島	0.117	0.092	0.102	0.089	0.082	94.0	95.5	95.7	96.8	97.1
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.114	0.087	0.101	0.082	0.086	93.7	94.5	95.2	96.8	96.6
		高岡本丸	0.113	0.089				93.9	94.6			
		高岡戸出	0.110	0.094				93.8	94.9			
	氷見市	氷見	0.112	0.092	0.095	0.083	0.079	93.0	94.3	95.4	97.7	97.5
	射水市	新湊三日曾根	0.114	0.087				93.1	94.7			
		新湊海老江	0.110	0.084	0.099	0.084	0.082	94.7	95.4	96.1	97.0	97.4
小杉太閤山		0.104	0.098	0.099	0.081	0.080	95.1	93.9	96.3	97.3	97.8	
新川地域	魚津市	魚津	0.118	0.097	0.105	0.087	0.085	93.4	94.6	95.5	96.9	95.6
	黒部市	黒部植木	0.123	0.086	0.098	0.081	0.083	94.0	96.1	97.0	97.8	97.1
	入善町	入善	0.119	0.092	0.104	0.085	0.083	93.9	95.1	96.3	97.3	97.2
砺波・小矢部地域	砺波市	砺波	0.105	0.086	0.107	0.087	0.082	94.5	96.4	96.9	96.7	97.6
	小矢部市	小矢部	0.113	0.094	0.114	0.085	0.081	93.7	94.7	95.9	96.7	96.8
	南砺市	福野	0.108	0.087	0.109	0.087	0.085	93.9	95.7	95.7	97.0	96.6

注1 測定は、紫外線吸収法によります。

2 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に高岡本丸、高岡戸出及び新湊三日曾根の測定を終了しました。

表7-39 炭化水素濃度の年度別推移（年平均値）

(単位：ppmC)

観測局			項目	年度				
				29	30	元	2	3
富山地域	富山市	富山岩瀬	非メタン炭化水素	0.13	0.12	0.12	0.11	0.10
			メタ ン	1.98	1.98	1.99	2.01	2.02
			全炭化水素	2.11	2.10	2.12	2.12	2.12
	婦中速星	非メタン炭化水素	0.07	0.07	0.07	0.05	0.04	
		メタ ン	2.02	2.02	2.03	2.03	2.05	
		全炭化水素	2.09	2.09	2.10	2.08	2.09	
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	非メタン炭化水素	0.06	0.07	0.14	0.18	0.15
			メタ ン	1.89	1.88	2.00	2.03	2.00
			全炭化水素	1.95	1.96	2.14	2.21	2.15
	射水市	新湊三日曾根	非メタン炭化水素	0.11	0.06			
			メタ ン	1.91	1.94			
			全炭化水素	2.02	2.00			
		新湊海老江	非メタン炭化水素			0.07	0.09	0.09
			メタ ン			1.98	2.07	2.00
			全炭化水素			2.05	2.16	2.09
新川地域	魚津市	魚津	非メタン炭化水素	0.08	0.09	0.09	0.09	0.12
			メタ ン	1.96	1.97	1.99	1.99	2.00
			全炭化水素	2.04	2.06	2.08	2.08	2.12
砺波・小矢部地域	南砺市	福野	非メタン炭化水素	0.06	0.06	0.06	0.06	0.16
			メタ ン	1.97	2.03	2.05	2.04	2.04
			全炭化水素	2.04	2.09	2.10	2.10	2.20
年平均値			非メタン炭化水素	0.09	0.08	0.09	0.10	0.11
			メタ ン	1.96	1.97	2.01	2.03	2.02
			全炭化水素	2.04	2.05	2.10	2.13	2.13

注1 測定は、水素炎イオン化法によります。

2 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に新湊三日曾根の測定を終了し、後継の新湊海老江の測定を開始しました。

表7-40 微小粒子状物質濃度の年度別推移（年平均値）

（単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

観測局		年 度				
		29	30	元	2	3
富山地域	富山水橋		8.4	8.1	8.6	7.7
	富山岩瀬	7.4	7.8	6.6	6.7	6.4
	富山芝園	8.6	8.8	7.9	8.3	7.5
	婦中速星	5.5	6.3	7.2	7.6	6.0
高岡・射水地域	高岡伏木	10.5	10.7	9.6	9.4	9.1
	氷見	9.8	8.9	6.8	7.9	7.7
	新湊三日曾根	10.0	10.0			
	新湊海老江			8.1	8.5	8.0
	小杉太閤山	8.6	9.0	7.8	7.8	6.8
新川地域	魚津	8.9	8.9	8.8	9.6	8.2
	入善	10.2	10.4	8.6	8.4	8.2
砺波・小矢部地域	小矢部	8.4	8.5	6.9	6.2	4.9
	福野	10.4	10.8	8.2	8.0	7.2
年平均値		8.9	9.0	7.9	8.1	7.3

注1 測定は、 β 線吸収法によります。

2 富山水橋については、30年度から測定を開始しました。

3 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に新湊三日曾根の測定を終了し、後継の新湊海老江の測定を開始しました。

表7-41 微小粒子状物質に係る環境基準の達成状況

観測局		項目	1日平均値の98パーセンタイル値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)					短期基準による適(○)、否(×)					長期基準による適(○)、否(×)				
			基準					35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること									
		年度	29	30	元	2	3	29	30	元	2	3	29	30	元	2	3
富山地域	富山水橋		21.8	19.2	20.9	18.7		○	○	○	○		○	○	○	○	○
	富山岩瀬	22.4	22.2	18.1	20.3	16.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	富山芝園	22.8	23.1	20.1	21.9	17.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	婦中速星	16.4	16.5	18.5	22.0	15.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高岡・射水地域	高岡伏木	27.1	26.4	21.2	22.5	20.5	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○
	氷見	26.9	28.1	16.8	20.9	19.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新湊三日曾根	24.3	25.2				○	○				○	○				
	新湊海老江			16.9	20.7	18.5			○	○	○			○	○	○	○
新川地域	魚津	23.8	26.5	20.7	22.7	19.4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	入善	25.1	28.2	22.5	22.2	21.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
砺波・小矢部地域	小矢部	23.4	26.3	18.5	16.8	13.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	福野	25.8	27.8	20.3	21.3	17.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注1 測定は、 β 線吸収法によります。

2 短期基準による適(○)とは、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から数えて98%目にあたる値が、35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であることをいいます。

3 長期基準による適(○)とは、1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であることをいいます。

4 富山水橋については、30年度から測定を開始しました。

5 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に新湊三日曾根の測定を終了し、後継の新湊海老江の測定を開始しました。

6 3年度の高岡伏木については、測定機器の故障により、年間の有効測定日数が250日未満のため、測定結果は参考値として扱い、環境基準の評価対象としません。

表7-42 自動車排出ガス観測局の概要

(4年3月現在)

市	観測局	所在地	設置年度	調査機関	測定項目等
富山市	富山豊田	豊田町	H5	市	<ul style="list-style-type: none"> ・一酸化炭素（非分散型赤外分析計を用いる方法） ・窒素酸化物（オゾンを用いる化学発光法） ・炭化水素（水素炎イオン化法） ・浮遊粒子状物質（β線吸収法） ・微小粒子状物質（β線吸収法） ・テレメータ化
	富山城址	本丸	S47	市	
高岡市	高岡大坪	大坪町	H16	県	
計	3				

注 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（31年4月）」に基づき、元年度に観測局を統廃合し、小杉鷺塚、小杉下条及び黒部前沢、2年度に婦中田島を廃止しました。

表7-43 自動車排出ガス観測局における測定結果の年度別推移（年平均値）

観測局		年度	29	30	元	2	3			
		項目(単位)								
富山県	富山豊田	一酸化炭素 (ppm)	0.4	—	—	—	—			
		一酸化窒素 (ppm)	0.005	—	—	—	—			
		二酸化窒素 (ppm)	0.013	—	—	—	—			
		窒素酸化物 (ppm)	0.018	—	—	—	—			
		非メタン炭化水素 (ppmC)	0.10	—	—	—	—			
		メタン (ppmC)	1.94	—	—	—	—			
		全炭化水素 (ppmC)	2.04	—	—	—	—			
		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.019	—	—	—	—			
	富山城址	一酸化炭素 (ppm)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3			
		一酸化窒素 (ppm)	0.004	0.003	0.003	0.003	0.002			
		二酸化窒素 (ppm)	0.011	0.008	0.008	0.007	0.007			
		窒素酸化物 (ppm)	0.014	0.011	0.011	0.010	0.009			
		非メタン炭化水素 (ppmC)	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08			
		メタン (ppmC)	1.96	1.96	1.97	1.98	2.00			
全炭化水素 (ppmC)		2.05	2.05	2.06	2.07	2.07				
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)		0.012	0.014	0.012	0.011	0.010				
富山県	婦中田島	一酸化窒素 (ppm)	0.004	0.003	0.003					
		二酸化窒素 (ppm)	0.011	0.010	0.008					
		窒素酸化物 (ppm)	0.014	0.012	0.011					
		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.015	0.016	0.014					
高岡市	高岡大坪	一酸化炭素 (ppm)	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4			
		一酸化窒素 (ppm)	0.008	0.008	0.007	0.007	0.007			
		二酸化窒素 (ppm)	0.017	0.016	0.015	0.015	0.014			
		窒素酸化物 (ppm)	0.026	0.025	0.022	0.021	0.021			
		非メタン炭化水素 (ppmC)	0.12	0.10	0.11	0.11	0.09			
		メタン (ppmC)	1.96	1.97	1.98	1.97	1.99			
		全炭化水素 (ppmC)	2.08	2.07	2.09	2.09	2.08			
		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.015	0.016	0.013	0.012	0.010			
		微小粒子状物質 (μg/m ³)	12.2	12.4	11.0	10.7	11.8			
		射水市	小杉鷲塚	一酸化炭素 (ppm)	0.3	0.3				
一酸化窒素 (ppm)	0.003			0.002						
二酸化窒素 (ppm)	0.008			0.007						
窒素酸化物 (ppm)	0.010			0.009						
非メタン炭化水素 (ppmC)	0.09			0.09						
メタン (ppmC)	1.99			2.00						
全炭化水素 (ppmC)	2.08			2.09						
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.013			0.013						
射水市	小杉下条		一酸化窒素 (ppm)	0.012	0.012					
			二酸化窒素 (ppm)	0.012	0.011					
			窒素酸化物 (ppm)	0.025	0.023					
			浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.013	0.013					
			黒部市	黒部前沢	一酸化窒素 (ppm)	0.002	0.002			
					二酸化窒素 (ppm)	0.006	0.006			
窒素酸化物 (ppm)	0.009	0.008								
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.012	0.012								
年平均値	一酸化炭素 (ppm)	0.3			0.3	0.3	0.4	0.4		
	二酸化窒素 (ppm)	0.011			0.010	0.010	0.011	0.011		
	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.014	0.014	0.013	0.012	0.010				
	微小粒子状物質 (μg/m ³)	12.2	12.4	11.0	10.7	11.8				

注1 測定は、一酸化炭素は非分散型赤外分析計を用いる方法、その他の項目は一般環境観測局の測定方法と同じです。

2 窒素酸化物は、一酸化窒素と二酸化窒素とを加えたものです。

3 全炭化水素は、非メタン炭化水素とメタンとを加えたものです。

4 富山豊田については、30年度から測定を休止中です。

5 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画(31年4月)」に基づき、元年度に小杉鷲塚、小杉下条及び黒部前沢、2年度に婦中田島の測定を終了しました。

表7-44 自動車排出ガス観測局における環境基準の達成状況

① 一酸化炭素

観測局	項目	1日平均値の2%除外値 (ppm)					1日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続の有無					長期的評価による適(○)、否(×)				
		基準					無									
		10ppm以下であること														
年度	29	30	元	2	3	29	30	元	2	3	29	30	元	2	3	
富山市	富山豊田	0.6	—	—	—	—	無	—	—	—	—	○	—	—	—	—
	富山城址	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	無	無	無	無	無	○	○	○	○	○
高岡市	高岡大坪	0.5	0.6	0.5	0.6	0.5	無	無	無	無	無	○	○	○	○	○
射水市	小杉鷺塚	0.4	0.4				無	無				○	○			

- 注1 測定は、非分散型赤外分析計を用いる方法によります。
 注2 長期的評価による適(○)とは、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した後の最大値が10ppm以下であり、かつ、年間を通じて1日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続しないことをいいます。
 注3 富山豊田については、30年度から測定を休止中です。
 注4 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画(31年4月)」に基づき、元年度に小杉鷺塚の測定を終了しました。

② 二酸化窒素

観測局	項目	1日平均値の98%値 (ppm)					長期的評価による適(○)、否(×)				
		0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること									
		29	30	元	2	3	29	30	元	2	3
富山市	富山豊田	0.025	—	—	—	—	○	—	—	—	—
	富山城址	0.023	0.016	0.017	0.019	0.015	○	○	○	○	○
	婦中田島	0.023	0.017	0.016			○	○	○		
高岡市	高岡大坪	0.034	0.029	0.027	0.030	0.027	○	○	○	○	○
射水市	小杉鷺塚	0.021	0.015				○	○			
	小杉下条	0.025	0.020				○	○			
黒部市	黒部前沢	0.015	0.013				○	○			

- 注1 測定は、オゾンを用いる化学発光法によります。
 注2 長期的評価による適(○)とは、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から数えて98%目にあたる値が、0.04ppmから0.06ppmのゾーン内又はそれ以下であることをいいます。
 注3 富山豊田については、30年度から測定を休止中です。
 注4 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画(31年4月)」に基づき、元年度に小杉鷺塚、小杉下条及び黒部前沢、2年度に婦中田島の測定を終了しました。

③ 浮遊粒子状物質

観測局	項目 基準	1日平均値の2%除外値 (mg/m ³)					短期的評価による 適(○)、否(×)					長期的評価による 適(○)、否(×)				
		0.10mg/m ³ 以下であること														
		年度	29	30	元	2	3	29	30	元	2	3	29	30	元	2
富山市	富山豊田	0.043	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—
	富山城址	0.032	0.033	0.028	0.027	0.023	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	婦中田島	0.037	0.041	0.036			○	×	○			○	○	○		
高岡市	高岡大坪	0.038	0.038	0.031	0.032	0.026	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
射水市	小杉鷲塚	0.036	0.037				○	○				○	○			
	小杉下条	0.033	0.033				○	○				○	○			
黒部市	黒部前沢	0.033	0.036				○	○				○	○			

注1 測定は、β線吸収法によります。

2 短期的評価による適(○)とは、1時間値の1日平均値がすべての有効測定日(1日20時間以上の測定が行われた日をいいます。)で0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値がすべての測定時間において0.20mg/m³以下であることをいいます。

3 長期的評価による適(○)とは、年間にわたる1日平均値のうち、高い方から2%の範囲内にあるものを除外した後の最大値が0.10mg/m³以下であり、かつ、年間を通じて1日平均値が0.10mg/m³を超える日が2日以上連続しないことをいいます。

4 富山豊田については、30年度から休止中です。

5 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画(31年4月)」に基づき、元年度に小杉鷲塚、小杉下条及び黒部前沢、2年度に婦中田島の測定を終了しました。

④ 微小粒子状物質

観測局	項目 基準	1日平均値の98パーセンタイル値 (μg/m ³)					短期基準による 適(○)、否(×)					長期基準による 適(○)、否(×)				
		35μg/m ³ 以下であること														
		年度	29	30	元	2	3	29	30	元	2	3	29	30	元	2
高岡市	高岡大坪	28.6	28.7	24.3	25.6	24.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注1 測定は、β線吸収法によります。

2 短期基準による適(○)とは、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から数えて98%目にあたる値が35μg/m³以下であることをいいます。

3 長期基準による適(○)とは、1年平均値が15μg/m³以下であることをいいます。

表7-45 大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設数の年度別推移

種類	年度				
	29	30	元	2	3
ポ イ ラ ー	2,197	2,206	2,188	2,176	2,150
金 属 溶 解 炉	167	166	167	168	173
金 属 加 熱 炉	165	162	165	163	159
焼 成 炉 ・ 溶 融 炉	68	67	69	69	69
乾 燥 炉	93	92	86	83	83
電 気 炉	24	22	16	16	16
廃 棄 物 焼 却 炉	40	38	41	41	41
銅・鉛・亜鉛精錬用施設	2	2	2	2	2
塩素・塩化水素反応施設	46	46	33	32	31
ガ ス タ ー ビ ン	101	102	103	103	103
デ ィ ー ゼ ル 機 関	326	327	340	343	345
そ の 他	57	57	58	59	59
計	3,286	3,287	3,268	3,255	3,231

表7-46 大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設の届出状況

(4年3月31日現在)

市郡名	工場・事業場数	ばい煙発生施設数																					計
		1 ボイラー	2 ガス発生炉	3 焙焼炉	4 溶融炉	5 金属溶解炉	6 金属加熱炉	7 石油加熱炉	8 燃焼炉	9 焼成炉	10 反応炉	11 直火炉	12 乾燥炉	13 電気炉	14 廃棄物焼却炉	19 銅・鉛・亜鉛の精錬用施設	21 塩素・塩化水素等の反応施設	27 複合肥料製造用施設	29 硝酸製造施設	30 ガスタービン	31 ディーゼル機関		
富山市	486	904	5	1	0	5	46	13	0	62	9	20	4	12	1	2	6	7	38	170	1	1,306	
高岡市	195	291	0	0	0	44	22	0	0	3	10	10	1	6	0	28	0	0	16	37	0	468	
魚津市	40	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	9	13	0	99	
氷見市	38	36	0	1	0	19	2	0	0	0	0	6	0	3	0	0	0	0	2	11	0	80	
滑川市	34	76	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	12	0	91	
黒部市	50	101	0	0	0	12	13	0	0	0	0	8	0	1	1	0	0	0	4	23	0	163	
砺波市	54	87	0	0	0	16	1	0	0	0	0	5	0	2	0	0	0	0	19	11	0	141	
小矢部市	47	69	0	0	0	2	3	0	0	2	0	9	0	0	0	0	0	0	1	6	0	92	
南砺市	77	111	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	2	11	0	129	
射水市	109	210	0	1	0	29	62	0	0	0	0	6	11	9	0	1	0	0	7	37	5	378	
中新川郡	61	96	0	0	0	31	6	0	0	2	0	13	0	4	0	0	0	0	2	6	0	160	
下新川郡	37	94	0	0	0	14	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	8	0	124	
計	1,228	2,150	5	3	0	173	159	13	0	69	19	83	16	41	2	31	6	7	103	345	6	3,231	

表7-47 大気汚染防止法に基づく一般粉じん発生施設の届出状況

(4年3月31日現在)

市郡名	工場・事業場数	粉じん発生施設数				計
		堆積場	ベルトコンベア バケットコンベア	破碎機 摩砕機	ふるい	
富山市	88	139	72	83	16	310
高岡市	38	61	87	25	7	180
魚津市	16	13	2	12	2	29
氷見市	11	13	35	12	8	68
滑川市	9	18	2	3	1	24
黒部市	16	22	13	25	13	73
砺波市	12	13	20	14	2	49
小矢部市	24	28	15	28	5	76
南砺市	25	27	26	19	4	76
射水市	21	33	60	9	5	107
中新川郡	28	34	40	49	12	135
下新川郡	16	20	43	9	1	73
計	304	421	415	288	76	1,200

表7-48 大気汚染防止法に基づく揮発性有機化合物（VOC）排出施設の届出状況
（4年3月31日現在）

市 郡 名	工場・事業場数	VOC 排 出 施 設 数									計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		化学製品製造用乾燥施設	吹付塗装施設	塗装用乾燥施設	接着（印刷回路、粘着テープ等、包装材料製造用）	接着（4項・木材、木製品製造用を除く。）	オフセット輪転印刷用乾燥施設	グラビア印刷用乾燥施設	工業用洗浄施設	貯蔵タンク	
富山市	5	1	5	0	2	1	0	3	0	0	12
高岡市	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
魚津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
氷見市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滑川市	2	0	0	0	1	0	4	0	0	0	5
黒部市	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
砺波市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小矢部市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南砺市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
射水市	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
中新川郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下新川郡	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
計	12	4	6	0	7	3	4	3	0	0	27

表7-49 大気汚染防止法に基づく水銀排出施設の届出状況

(4年3月31日現在)

市郡名	工場・事業場数	水銀排出施設数									計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		小型石炭ボイラー	大型石炭専焼ボイラー	銅又は金の一次精錬用施設	鉛又は亜鉛の一次精錬用施設	銅、鉛又は亜鉛の二次精錬用施設	金の二次精錬用施設	セメント製造用焼成炉	廃棄物焼却炉	水銀含有再生资源を取り扱う施設又は水銀回収義務付け廃棄物又は施設	
富山市	10	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12
高岡市	4	1	0	0	0	0	0	0	6	0	7
魚津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
氷見市	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
滑川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒部市	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
砺波市	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
小矢部市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南砺市	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
射水市	5	0	2	0	0	0	0	0	8	0	10
中新川郡	2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
下新川郡	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
計	26	1	2	0	0	1	0	0	42	0	46

表7-50 大気汚染防止法に基づくアスベスト除去工事等作業の届出状況(3年度)

市郡名	除去		囲い込み	封じ込め	計
	解体	改造・補修	改造・補修	改造・補修	
富山市	39 (40)	25 (11)	0 (0)	0 (0)	64 (51)
高岡市	12 (5)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (5)
魚津市	7 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (2)
氷見市	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
滑川市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
黒部市	4 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (1)
砺波市	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
小矢部市	4 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (2)
南砺市	5 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (2)
射水市	7 (2)	27 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (2)
中新川郡	2 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)
下新川郡	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
計	86 (60)	63 (11)	0 (0)	0 (0)	149 (71)

注 () は立入件数である。届出が2年度に行われたものを含む。

表7-51 大気関係立入調査状況（3年度）

区分	業種																		合計	
	食料品製造業	飲料・たばこ・飼料製造業	繊維工業	木材・木製品	製材・造紙	紙加工品製造業	化学工業	石油製品・石炭	製品製造業	プラスチック	窯業・土石製品	製鉄業	非鉄金属製造業	金属製品製造業	電子部品・デバイス・電子回路製造業	輸送用機械器具製造業	その他の製造業	電気業		水道業
基準の適合状況	ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	4
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(1)	(4)
	有害物質及び有害ガス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	2	2	0	1	11
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(9)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(91)	(0)	(7)	(3)	(0)	(1)	(113)
	揮発性有機化合物	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)
全水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(2)	
小計	0	0	0	0	0	4	0	1	0	4	0	1	2	0	2	5	0	2	21	
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(12)	(0)	(1)	(0)	(4)	(0)	(1)	(91)	(0)	(7)	(6)	(0)	(2)	(124)	
届出確認	ばい煙発生施設	1	1	2	1	2	7	7	0	0	4	8	1	2	2	1	0	1	4	44
		(11)	(16)	(28)	(1)	(28)	(64)	(12)	(0)	(0)	(67)	(68)	(23)	(28)	(26)	(10)	(0)	(7)	(22)	(411)
	堆積場等の粉じん発生施設	0	0	0	0	2	0	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
		(0)	(0)	(0)	(0)	(19)	(0)	(37)	(0)	(19)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(9)	(84)
	揮発性有機化合物排出施設	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(6)
水銀排出施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
小計	1	1	2	1	4	9	12	0	2	4	8	2	2	2	1	0	1	5	57	
	(11)	(16)	(28)	(1)	(47)	(66)	(49)	(0)	(19)	(67)	(68)	(27)	(28)	(26)	(10)	(0)	(7)	(31)	(501)	
合計	1	1	2	1	4	13	12	1	2	8	8	3	4	2	3	5	1	7	78	
	(11)	(16)	(28)	(1)	(47)	(78)	(49)	(1)	(19)	(71)	(68)	(28)	(119)	(26)	(17)	(6)	(7)	(33)	(625)	
指導件数	0	1	0	0	0	2	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	10	

注 数字は工場・事業場数、()は施設数です。
電気業については、公害防止協定に基づく立入調査の実績を記載しています。

表7-52 大気汚染緊急時の措置

物質	区分	措置		
		一 般	緊急時協力工場	自 動 車 等
硫 黄 酸 化 物	情 報	・ ばい煙を排出する者に対し、不要不急の燃焼の自粛、燃焼方法の改善等による硫黄酸化物排出量の減少について協力を要請	・ 不要不急の燃焼を自粛するとともに注意報等の発令に備えて、注意報等の措置が行える体制をとることを要請	
	注意報	//	・ 通常硫黄酸化物排出量の20%以上削減するよう勧告	
	警 報	//	・ 通常硫黄酸化物排出量の50%以上削減するよう勧告	
	重 大 警 報	//	・ 硫黄酸化物排出許容量の80%以上削減するよう命令	
オ キ シ ダ ン ト	情 報	<ul style="list-style-type: none"> ・ ばい煙を排出する者に対し、不要不急の燃焼の自粛、燃焼方法の改善等によるばい煙排出量の減少について協力を要請 ・ 次の事項について注意するよう周知 <ol style="list-style-type: none"> (1) 屋外になるべく出ないようにする (2) 屋外運動はさしひかえるようにする (3) 光化学スモッグの被害を受けた人は、最寄りの厚生センター（保健所）に連絡する 	・ 不要不急の燃焼を自粛するとともに注意報等の発令に備えて、注意報等の措置が行える体制をとることを要請	・ 不要不急の自動車を使用しないこと及び当該地域への運行を自粛することについて協力を要請
	注意報	//	・ 燃料使用量等を通常使用量の20%以上削減（これに準ずる措置を含む。）するよう勧告	//
	警 報	//	・ 燃料使用量等を通常使用量の30%以上削減（これに準ずる措置を含む。）するよう勧告	//
	重 大 警 報	//	・ 燃料使用量等を通常使用量の40%以上削減（これに準ずる措置を含む。）するよう命令	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要不急の自動車を使用しないこと及び当該地域への運行を自粛することについて協力を要請 ・ 県公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置をとるべきことを要請

物質	区分	措 置		
		一 般	緊 急 時 協 力 工 場	自 動 車 等
浮遊粒子状物質	情報	・ ばい煙を排出する者に対し、不要不急の燃焼の自粛、燃焼方法の改善等によるばい煙排出量の減少について協力を要請	・ 不要不急の燃焼を自粛するとともに注意報等の発令に備えて、注意報等の措置を行える体制をとることを要請	・ 不要不急の自動車を使用しないこと及び当該地域への運行を自粛することについて協力を要請
	注意報	//	・ 燃料使用量等を通常使用量の20%以上削減（これに準ずる措置を含む。）するよう勧告	//
	重警大報	//	・ 燃料使用量等を通常使用量の40%以上削減（これに準ずる措置を含む。）するよう命令	・ 不要不急の自動車を使用しないこと及び当該地域への運行を自粛することについて協力を要請 ・ 県公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置をとるべきことを要請
二酸化窒素	情報	・ ばい煙を排出する者に対し、不要不急の燃焼の自粛、燃焼方法の改善等によるばい煙排出量の減少について協力を要請	・ 不要不急の燃焼を自粛するとともに注意報等の発令に備えて、注意報等の措置を行える体制をとることを要請	・ 不要不急の自動車を使用しないこと及び当該地域への運行を自粛することについて協力を要請
	注意報	//	・ 燃料使用量等を通常使用量の20%以上削減（これに準ずる措置を含む。）するよう勧告	//
	重警大報	//	・ 燃料使用量等を通常使用量の40%以上削減（これに準ずる措置を含む。）するよう命令	・ 不要不急の自動車を使用しないこと及び当該地域への運行を自粛することについて協力を要請 ・ 県公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置をとるべきことを要請

表7-53 環境放射能調査の結果

調査項目	試料名	測定方法	調査地点	調査回数 (回/年)	調査結果			全国の結果 (2年度)	単 位
					元年度	2年度	3年度		
空間放射線 量率	空 気	モニタリング ポスト	富山市	連続	71~115	49~122	67~110	9~178	nGy/h
			高岡市		62~130	34~123	49~117		
			氷見市		54~92	23~93	44~95		
			砺波市		59~117	26~130	44~109		
			小矢部市		65~113	35~121	52~115		
			射水市		41~86	20~87	36~86		
			入善町		50~101	25~106	35~96		
全ベータ 放射能	降 水	ベータ線 測定装置	射水市	降雨 ごと	ND~2.2	ND~3.6	ND~2.5	ND~11	Bq/L
核種分析 (¹³⁷ Cs)	大気浮遊 じん	ゲルマニウム 半導体 核種分析 装置	射水市	4	ND	ND	ND	ND~0.040	mBq/m ³
	降下物		射水市	12	ND	ND~0.047	ND~0.046	ND~44	MBq/km ²
	水道水		射水市	1	ND	ND	ND	ND~2.5	mBq/L
	精 米		射水市		ND	ND	ND	ND~1.0	Bq/kg生
	ほうれん草		富山市		ND	ND	ND	ND~0.34	Bq/kg生
	大 根		射水市		ND	ND	ND	ND~0.21	Bq/kg生
	牛 乳		砺波市		ND	ND	ND	ND~0.13	Bq/L
	土 壌 (上層)		射水市		ND	120	61	ND~44,000	MBq/km ²
	土 壌 (下層)				150	190	ND	ND~13,000	MBq/km ²

- 注1 これらのデータは、原子力規制庁の環境放射能水準調査の委託により得られた成果の一部です。
(氷見市及び入善町の空間放射線量率は県独自調査により得られた成果です。)
- 2 計数値がその計数誤差の3倍以下のものについてはNDとなります。
- 3 3年度の全国の測定結果は集計中です。また、空間放射線量率及び全ベータ放射能の全国の結果については、本県と異なる測定方式等を用いたものを含みます。

表7-54 環境放射線モニタリングの結果

調査項目	試料名	測定方法 ⁴	調査地点	調査回数(回/年)	測定結果			単位	
					元年度	2年度	3年度		
空間放射線量率	空気	モニタリングポスト	上余川局	連続	37~97	15~91	22~106	nGy/h	
			八代局		42~132	13~104	28~112		
			女良局		39~130	17~117	30~106		
			宇波局		45~112	21~122	36~101		
			懸札局		40~123	14~99	18~113		
			余川局		45~108	21~122	34~104		
			上庄局		44~106	22~109	32~111		
			触坂局		45~102	22~111	35~118		
積算線量	空気	積算線量計	上余川局	4	0.15	0.15	0.14~0.15	mGy/91日	
全アルファ放射能 ¹⁾	大気浮遊じん	ダストモニタ	上余川局	連続	ND~0.80	ND~0.76	ND~0.67	Bq/m ³	
全ベータ放射能 ¹⁾					ND~2.4	ND~2.2	ND~1.9		
放射性ヨウ素 ¹⁾	空気	ヨウ素モニタ	上余川局	12	ND	ND	ND	Bq/m ³	
核種分析 ²⁾	降下物	ゲルマニウム半導体核種分析装置 低バックグラウンド放射能自動測定装置	上余川局	1	¹³⁷ Cs	ND	ND	ND	Bq/kg 乾土
	上水		氷見市鞍川		¹³⁷ Cs	ND	ND	ND	
					⁹⁰ Sr	1.0	1.2	1.0	
					³ H	ND	ND	ND	
	湧水		氷見市磯辺		¹³⁷ Cs	ND	ND	ND	
					⁹⁰ Sr	ND	0.20	ND	
					³ H	ND	ND	ND	
	土壌(表層)		氷見市上余川		¹³⁷ Cs	2.4	1.2	1.9	
					⁹⁰ Sr	0.43	0.50	0.35	
					²³⁸ Pu	ND	—	—	
					²³⁸⁺²⁴⁰ Pu	0.040	—	—	
					¹³⁷ Cs	ND	ND	ND	
					⁹⁰ Sr	ND	ND	ND	
	精米		氷見市磯辺		²³⁸ Pu	ND	—	—	
					²³⁸⁺²⁴⁰ Pu	0.026	—	—	
			氷見市論田		¹³⁷ Cs	ND	ND	ND	
					⁹⁰ Sr	ND	ND	ND	
			氷見市中波		¹³⁷ Cs	ND	ND	ND	
					⁹⁰ Sr	ND	ND	ND	
	白菜		氷見市論田		¹³⁷ Cs	ND	ND	ND	
					⁹⁰ Sr	0.040	0.042	0.025	
			氷見市中波		¹³⁷ Cs	ND	ND	ND	
					⁹⁰ Sr	0.063	0.073	0.069	
	大根		氷見市論田		¹³⁷ Cs	ND	ND	ND	
⁹⁰ Sr		0.040		0.041	0.030				
氷見市中波		¹³⁷ Cs	ND	ND	ND				
		⁹⁰ Sr	0.071	0.047	0.071				

注1 NDとは、検出下限値未満です。

2 計数値がその計数誤差の3倍以下のものについてはNDとなります。

表7-55 公共用水域の水域別測定地点数（3年度）

区 分		測 定 地 点 数			
		富 山 県	富 山 市	国土交通省	計
河 川	阿尾川、余川川、上庄川、仏生寺川	5 (5)			5 (5)
	小矢部川	5 (5)		3 (3)	8 (8)
	庄川	1 (1)		2 (2)	3 (3)
	内川、下条川、新堀川（主幹排水路を含む。）	6 (4)			6 (4)
	神通川（運河を含む。）		9 (6)	5 (5)	14 (11)
	常願寺川			2 (2)	2 (2)
	白岩川	4 (3)	1 (1)		5 (4)
	上市川、中川、早月川、角川、鴨川、片貝川	9 (8)			9 (8)
	黒部川			1 (1)	1 (1)
	黒瀬川、高橋川、吉田川、入川、小川、木流川、笹川、境川	10 (10)			10 (10)
	小 計	40 (36)	10 (7)	13 (13)	63 (56)
湖 沼	境川ダム貯水池（桂湖）	2 (1)			2 (1)
	有峰ダム貯水池（有峰湖）		2 (1)		2 (1)
	黒部ダム貯水池（黒部湖）	2 (1)			2 (1)
	小 計	4 (2)	2 (1)		6 (3)
海 域	富山新港	6 (3)			6 (3)
	富山湾	22 (22)			22 (22)
	小 計	28 (25)			28 (25)
合 計		72 (63)	12 (8)	13 (13)	97 (84)

注 （ ）内は環境基準点数です。

表7-56 河川の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果（3年度）

河川等	測定地点	水域類型	pH	DO (mg/L)	SS (mg/L)	BOD (mg/L)	適否
							○
阿尾川	阿尾橋	A	7.3	9.5	11	1.7	○
余川	間島橋	A	7.4	9.3	11	1.7	○
上庄川	北の橋	B	7.4	9.5	8	2.0	○
仏生寺川	八幡橋	C	7.5	8.7	9	2.3	○
湊川	中の橋	C	7.5	8.1	11	2.5	○
小矢部川	河口	C	7.3	9.2	8	1.2	○
	城光寺橋	B	7.3	9.4	8	1.1	○
	国条橋	A	7.3	10	11	1.0	○
	太美橋	AA	7.7	11	2	0.6	○
	千保川	地子木橋	C	7.7	10	5	1.9
祖父川	新祖父川橋	A	7.7	11	5	1.8	○
山田川	福野橋	A	8.0	11	3	0.8	○
	二ヶ淵えん堤	AA	7.6	10	1	0.5未満	○
庄川	大門大橋	A	7.6	11	2	0.5	○
	雄神橋	AA	7.6	11	2	0.5	○
和田川	末端	A	7.6	11	3	0.5	○
	山王橋	C	8.1	8.8	8	0.9	○
内川	西橋	C	7.5	9.2	5	0.7	○
	下条川	稻積橋	A	7.4	9.1	6	1.0
新堀川	白石橋	B	7.3	9.2	5	0.9	○
	萩浦橋	B	7.6	10	7	1.2	○
神通川	神通大橋	A	7.8	11	7	0.9	○
	宮川	新国境橋	A	7.6	11	2	0.5未満
高原川	新猪谷橋	A	7.6	11	2	0.5未満	○
いたち川	四ツ屋橋	B	7.6	10	5	0.8	○
松川	桜橋	A	7.6	10	3	0.8	○
井田川	高田橋	B	7.6	11	10	2.9	○
	落合橋	A	7.7	11	7	0.7	○
熊野川	八幡橋	A	7.5	11	6	1.0	○
富岩運河	萩浦小橋	D	7.6	9.1	5	0.9	○
岩瀬運河	岩瀬橋	D	7.5	8.0	5	1.1	○
常願寺川	今川橋	A	7.4	11	3	0.5	○
	常願寺橋	AA	7.5	11	2	0.5	○
白岩川	東西橋	A	7.3	9.9	3	0.9	○
	泉正橋	A	7.5	10	4	1.0	○
栃津川	流観橋	C	7.6	10	4	1.6	○
	寺田橋	A	7.8	11	4	0.7	○
上市川	魚躬橋	A	7.4	9.8	4	0.6	○
中川	落合橋	B	7.3	9.9	3	0.9	○
早月川	早月橋	AA	7.8	10	2	0.5未満	○
角川	角川橋	A	7.6	11	4	0.6	○
鴨川	港橋	B	7.6	11	2	0.6	○
片貝川	末端	A	7.9	10	3	0.9	○
	落合橋	AA	8.0	11	4	1.0	○
布施川	落合橋	A	7.8	10	3	0.9	○
	黒瀬川	石田橋	A	7.6	10	6	1.0
高橋川	立野橋	B	7.1	9.9	3	1.9	○
吉田川	吉田橋	B	7.3	10	4	1.3	○
黒部川	下黒部橋	AA	7.5	11	3	0.6	○
入川	末端	A	7.7	11	5	0.9	○
	赤川橋	A	7.9	11	2	0.8	○
小川	上朝日橋	AA	7.7	11	1	0.5未満	○
	舟川橋	A	7.7	11	3	0.7	○
木流川	末端	A	7.5	10	4	0.9	○
笹川	笹川橋	AA	7.7	10	2	0.6	○
境川	境橋	AA	7.9	10	1	0.5未満	○

- 注1 この表は年平均値をまとめたものです。（ただし、BODは75%水質値です。）
 2 「75%水質値」とは、全データをその値の小さいものから順に並べ、0.75×n番目（nはデータ数）の値であり、BODの環境基準の達成状況（適否の欄）については、類型指定した各水域において、
 「① 環境基準点が1つある場合、75%水質値が環境基準に適合しているもの
 ② 環境基準点が複数ある場合、すべての環境基準点において、75%水質値が環境基準に適合しているもの」を達成（○印）としています。
 3 「水域類型」のAA、A、B、C及びDは、「水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年環境庁告示第59号）」に示された「河川」の類型を示します。

表7-57 河川の主要測定地点(環境基準点)における水生生物環境基準項目の水質測定結果(3年度)
(単位: mg/L)

河川等	測定地点	水域類型	全亜鉛		ノニルフェノール		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	
			値	適否	値	適否	値	適否
阿尾川	阿尾橋	生物B	0.004	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
余川	間島橋	生物B	0.004	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
上庄川	北の橋	生物B	0.005	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
仏生寺川	八幡橋	生物B	0.010	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
	湊川	中の橋	生物B		0.007		0.00006未満	
小矢部川	城光寺橋	生物B	0.009	○	0.00006未満	○	0.0016	○
	太美橋	生物A	0.001未満	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
千保川	地子木橋	生物B	0.011	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
祖父川	新祖父川橋	生物B	0.004	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
山田川	福野橋	生物B	0.001	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
	二ヶ淵えん堤	生物A	0.001未満	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
庄川	大門大橋	生物B	0.004	○	0.00006未満	○	0.0006	○
	雄神橋	生物A	0.003	○	0.00006未満	○	0.0007	○
和田川	末端	生物B	0.002	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
内川	山王橋	生物B	0.012	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
	西橋	生物B	0.007		0.00006未満		0.0006未満	
下条川	稻積橋	生物B	0.008	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
新堀川	白石橋	生物B	0.005	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
神通川	萩浦橋	生物B	0.008	○	0.00006未満	○	0.0007	○
	神通大橋	生物A	0.006		0.00006未満		0.0006	
宮川	新国境橋	生物A	0.005	○	0.00006未満	○	0.0007	○
高原川	新猪谷橋	生物A	0.018	○	0.00006未満	○	0.0008	○
いたち川	四ツ屋橋	生物A	0.020	○	0.00006未満	○	0.0015	○
松川	桜橋	生物B	0.019	○	0.00006未満	○	0.0023	○
井田川	高田橋	生物B	0.006	○	0.00006未満	○	0.0007	○
	落合橋	生物A	0.005	○	0.00006未満	○	0.0006	○
熊野川	八幡橋	生物A	0.006	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
常願寺川	今川橋	生物B	0.004	○	0.00006未満	○	0.0007	○
	常願寺橋	生物A	0.003	○	0.00006未満	○	0.0006	○
白岩川	東西橋	生物B	0.009	○	0.00006未満	○	0.0007	○
	泉正橋	生物A	0.002	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
栃津川	流観橋	生物B	0.002	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
	寺田橋	生物A	0.002	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
上市川	魚躬橋	生物B	0.003	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
中川	落合橋	生物A	0.010	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
早月川	早月橋	生物A	0.004	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
角川	角川橋	生物A	0.003	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
鴨川	港橋	生物A	0.007	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
片貝川	落合橋	生物A	0.002	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
布施川	落合橋	生物A	0.002	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
黒瀬川	石田橋	生物A	0.002	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
高橋川	立野橋	生物A	0.007	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
吉田川	吉田橋	生物A	0.007	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
黒部川	下黒部橋	生物A	0.006	○	0.00006未満	○	0.0010	○
入川	末端	生物A	0.001	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
小川	赤川橋	生物A	0.001	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
舟川	舟川橋	生物A	0.001	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
木流川	末端	生物A	0.002	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
笹川	笹川橋	生物A	0.001	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○
境川	境橋	生物A	0.001未満	○	0.00006未満	○	0.0006未満	○

注1 この表は年平均値をまとめたものです。
 2 環境基準の達成状況(適否の欄)については、類型指定した各水域において、
 「① 環境基準点が1つある場合、年平均値が環境基準に適合しているもの
 ② 環境基準点が複数ある場合、すべての環境基準点において、年平均値が環境基準に適合しているもの」を達成(○印)としています。
 3 「水域類型」の生物A及び生物Bは、「水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年環境庁告示第59号)」に示された「河川」の類型を示します。

表7-58 河川末端における水質（BODの75%水質値）の年度別推移

(単位：mg/L)

河川	水域類型		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		
		基準値							
主要5河川	小矢部川	C	5	1.3	1.5	1.2	0.9	1.2	
	神通川	B	3	0.8	2.1	1.6	0.7	1.2	
	庄川	A	2	0.6	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5	
	常願寺川	A	2	0.9	0.6	0.5未満	0.6	0.5	
	黒部川	AA	1	0.5未満	0.5未満	0.5	0.5未満	0.6	
中小22河川	都市河川	上庄川	B	3	1.4	1.0	1.2	1.2	2.0
		仏生寺川(湊川)	C	5	3.1	2.2	1.9	2.6	2.5
		内川	C	5	1.1	1.2	0.8	0.8	0.7
		下条川	A	2	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0
		中川	B	3	0.6	0.7	0.8	0.7	0.9
		角川	A	2	0.6	0.8	0.8	0.8	0.6
		鴨川	B	3	0.6	0.6	0.8	0.5	0.6
		黒瀬川	A	2	0.7	1.1	0.9	0.8	1.0
		高橋川	B	3	1.2	1.1	1.6	1.6	1.9
	その他の河川	木流川	A	2	0.6	0.6	0.6	0.8	0.9
		阿尾川	A	2	1.5	1.2	1.0	1.4	1.7
		余川川	A	2	1.4	1.2	1.3	1.1	1.7
		新堀川	B	3	1.3	1.2	1.4	1.1	0.9
		白岩川	A	2	0.8	0.9	1.0	0.8	0.9
		上市川	A	2	0.5	0.7	0.7	0.5	0.6
		早月川	AA	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
		片貝川(布施川)	A	2	0.6	0.5未満	0.9	0.7	0.9
		吉田川	B	3	1.4	1.0	1.0	0.8	1.3
		入川	A	2	0.6	0.5未満	0.6	0.7	0.9
小川	A	2	0.5未満	0.5未満	0.5	0.5	0.8		
笹川	AA	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.6		
境川	AA	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満		

表7-59 湖沼の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果（3年度）

湖 沼	測定地点	水域 類型	pH	DO (mg/L)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	全りん (mg/L)		
							適否	適否	
桂 湖 (境川ダム貯水池)	えん堤付近	A II	7.2	8.7	1	1.0	○	0.003	○
有 峰 湖 (有峰ダム貯水池)	えん堤付近	A II	6.8	9.4	2	2.0	○	0.003	○
黒 部 湖 (黒部ダム貯水池)	えん堤付近	A II	6.9	9.3	3	2.4	○	0.005	○

- 注1 この表は年平均値をまとめたものです。(ただし、CODは75%水質値です。)
 2 「75%水質値」とは、全データをその値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$ 番目（ n はデータ数）の値であり、環境基準の達成状況（適否の欄）は、CODについては75%水質値が、全りんについては年平均値が環境基準に適合しているものを達成（○印）としています。
 3 「水域類型」のA及びIIは、「水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年環境庁告示第59号）」に示された「湖沼」の類型を示します。

表7-60 湖沼における水質（COD、全りん）の年度別推移

(単位：mg/L)

湖 沼	項 目	水域類型		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
			基準値					
桂 湖 (境川ダム貯水池)	COD	A	3	1.8	1.0	1.5	1.2	1.0
	全りん	II	0.01	0.005	0.003	0.004	0.003	0.003
有 峰 湖 (有峰ダム貯水池)	COD	A	3	1.9	1.8	1.7	1.9	2.0
	全りん	II	0.01	0.005	0.007	0.003	0.003	0.003
黒 部 湖 (黒部ダム貯水池)	COD	A	3	1.4	2.0	1.8	2.2	2.4
	全りん	II	0.01	0.006	0.006	0.004	0.009	0.005

- 注 この表は年平均値をまとめたものです。(ただし、CODは75%水質値です。)

表7-61 海域の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果（3年度）

海 域		測 定 地 点	水域類型	pH	DO (mg/L)	COD (mg/L)	適否
富 山 湾	小 矢 部 川 河 口 海 域	小 矢 部 2	B	8.3	8.5	2.1	○
		小 矢 部 3	B	8.3	8.6	2.2	
		小 矢 部 5	A	8.3	8.4	1.7	○
		小 矢 部 6	A	8.3	8.6	1.7	
	神 通 川 河 口 海 域	神 通 1	B	8.3	8.5	1.7	○
		神 通 2	B	8.3	8.5	1.8	
		神 通 3	B	8.3	8.5	1.6	
		神 通 4	A	8.3	8.4	1.7	○
		神 通 5	A	8.3	8.6	1.9	
		神 通 6	A	8.3	8.3	1.8	
	そ の 他 の 富 山 湾 海 域	小 矢 部 7	A	8.3	8.3	1.6	○
		神 通 7	A	8.3	8.5	1.6	
		そ の 他 1	A	8.3	8.0	1.4	
		そ の 他 2	A	8.3	8.2	1.6	
		そ の 他 3	A	8.3	8.4	1.8	
		そ の 他 4	A	8.3	8.3	1.7	
		そ の 他 5	A	8.3	8.4	1.7	
		そ の 他 6	A	8.3	8.6	1.6	
		そ の 他 7	A	8.4	8.3	1.7	
そ の 他 8		A	8.3	8.3	1.8		
そ の 他 9		A	8.3	8.1	1.5		
そ の 他 10	A	8.3	8.1	1.5			
富 山 新 港 海 域	新 港 1	B	8.1	8.4	2.3	○	
第 1 貯 木 場	姫 野 橋	C	8.0	8.2	3.3	○	
中 野 整 理 場	中 央	C	8.0	8.8	4.4		

注1 この表は年平均値をまとめたものです。（ただし、CODは75%水質値です。）

2 「75%水質値」とは、全データをその値の小さいものから順に並べ、0.75×n番目（nはデータ数）の値であり、CODの環境基準の達成状況（適否の欄）については、類型指定した各水域において、すべての環境基準点で75%水質値が環境基準に適合しているものを達成（○印）としています。

3 「水域類型」のA、B及びCは、「水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年環境庁告示第59号）」に示された「海域」の類型を示します。

表7-62 海域における水質（COD）の年度別推移

(単位：mg/L)

海 域		水 域 類 型		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
			基準値					
その他の富山湾海域 (下記を除く富山県の地先海域)		A	2	1.4	1.3	1.5	1.5	1.6
小矢部川 河口海域	河口から1,200mの範囲内	B	3	1.6	2.0	1.9	1.9	2.2
	河口から2,200mの範囲内(上記を除く。)	A	2	1.4	1.5	1.9	2.0	1.7
神通川 河口海域	河口から1,800mの範囲内	B	3	1.6	1.5	1.7	1.8	1.7
	河口から2,400mの範囲内(上記を除く。)	A	2	1.7	1.6	1.9	1.7	1.8
富山新港 海 域	第1貯木場及び中野整理場	C	8	3.6	3.5	3.3	3.5	3.9
	富山新港港内(上記を除く。)	B	3	2.0	2.2	2.3	2.4	2.3

注 値は各測定地点の75%水質値を水域ごとに平均した値です。

表7-63 地下水の概況調査結果（3年度）

(単位：mg/L)

調査項目	調査地点数	検出地点	測定結果	環境基準超過地点数	環境基準値	定量下限値
カドミウム	76	1	ND~0.0004	0	0.003	0.0003
全シアン	76	0	ND	0	検出されないこと	0.1
鉛	76	0	ND	0	0.01	0.005
六価クロム	76	0	ND	0	0.05	0.02
ヒ素	76	2	ND~0.017	1	0.01	0.005
総水銀	76	0	ND	0	0.0005	0.0005
アルキル水銀	0	—	—	—	検出されないこと	0.0005
ジクロロメタン	76	0	ND	0	0.02	0.002
四塩化炭素	76	0	ND	0	0.002	0.0002
クロロエチレン	76	0	ND	0	0.002	0.0002
1,2-ジクロロエタン	76	0	ND	0	0.004	0.0004
1,1-ジクロロエチレン	76	0	ND	0	0.1	0.01
1,2-ジクロロエチレン	76	0	ND	0	0.04	0.004
1,1,1-トリクロロエタン	76	0	ND	0	1	0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	76	0	ND	0	0.006	0.0006
トリクロロエチレン	76	0	ND	0	0.01	0.001
テトラクロロエチレン	76	0	ND	0	0.01	0.0005
1,3-ジクロロプロペン	76	0	ND	0	0.002	0.0002
チウラム	76	0	ND	0	0.006	0.0006
シマジン	76	0	ND	0	0.003	0.0003
チオベンカルブ	76	0	ND	0	0.02	0.002
ベンゼン	76	0	ND	0	0.01	0.001
セレン	76	0	ND	0	0.01	0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	76	68	ND~2.7	0	10	0.1
ふっ素	76	21	ND~0.55	0	0.8	0.08
ほう素	76	3	ND~0.4	0	1	0.1
1,4-ジオキサン	76	0	ND	0	0.05	0.005

注1 NDとは、定量下限値未満です。

注2 アルキル水銀は、総水銀が検出された場合のみ測定します。

表7-64 地下水の継続監視調査結果（3年度）

(単位：mg/L)

調査項目	調査地域	調査地点数	検出地点数	測定結果	環境基準超過地点数	環境基準値	定量下限値
トリクロロエチレン	小矢部市埴生	3	2	ND~0.004	0	0.01	0.001
テトラクロロエチレン	小矢部市埴生	3	2	ND~0.0037	0	0.01	0.0005
	南砺市本町	3	1	ND~0.0042	0		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	氷見市諏訪野	3	3	1.7~6.6	0	10	0.1

- 注1 NDとは、定量下限値未満です。
 2 測定結果は、調査地点ごとの年平均値です。

表7-65 地下水の継続監視調査結果の推移

(単位：mg/L)

調査項目	調査地域	調査地点数	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
トリクロロエチレン [0.01]	小矢部市埴生	3	ND~0.005	ND~0.001	ND~0.042	ND~0.035	ND~0.004
テトラクロロエチレン [0.01]	小矢部市埴生	3	ND~0.0018	ND~0.0006	ND~0.045	ND~0.038	ND~0.0037
	南砺市本町	3	ND~0.0066	ND~0.0089	ND~0.0091	ND~0.0089	ND~0.0042
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 [10]	氷見市諏訪野	3	1.2~8.1	0.7~6.4	1.3~6.2	1.3~7.5	1.7~6.6

- 注1 調査項目の [] 内は、環境基準値を示しています。
 2 NDとは、定量下限値（トリクロロエチレン0.001mg/L、テトラクロロエチレン0.0005mg/L、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素0.1mg/L）未満です。
 3 測定結果は、調査地点ごとの年平均値です。

表7-66 水質汚濁防止法に基づく特定事業場の届出状況

(4年3月31日現在)

業種 市町村	農	鉱	食	飲料・たばこ・飼料製造業	木材・木製品製造業	化学工業	窯業・土石製品製造業	非鉄金属製造業	金属製品製造業	電気機械器具製造業	水道	飲食料品小売業	その他の小売業	洗濯・理容・美容・浴場業	その他の生活関連サービス業	旅館、その他の宿泊所	娯楽業	廃棄物処理業	学校教育	学術・開発研究機関	その他	計
	富山市	18	18	39	20	2	38	46	3	16	4	11	73	153	138	35	121	8	12	10	18	101
高岡市	19	7	49	7	12	11	18	11	44	1	9	5	73	48	9	54	4	5	3	1	59	449
魚津市	8	4	60	1	1	2	0	0	0	1	6	1	6	23	3	22	2	3	2	0	21	166
氷見市	37	1	65	3	2	0	7	0	3	0	3	1	9	14	5	97	2	1	0	0	12	262
滑川市	13	2	29	5	2	5	2	1	4	5	4	1	9	10	0	4	0	0	3	1	4	104
黒部市	36	4	38	3	1	0	7	1	5	0	8	2	12	9	5	51	0	1	1	0	17	201
砺波市	36	4	29	4	1	1	11	1	5	1	5	2	17	9	3	18	2	2	4	1	30	186
小矢部市	12	10	37	1	0	1	7	0	3	0	4	1	20	13	4	13	2	1	2	0	16	147
南砺市	42	4	47	7	2	2	13	0	3	2	17	1	19	25	3	117	2	0	4	1	27	338
射水市	8	2	46	1	9	6	10	5	15	0	13	5	37	33	6	12	2	3	2	1	44	260
舟橋村	4	0	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
上市町	4	7	11	1	0	2	8	0	1	1	2	0	3	3	1	9	1	2	1	0	9	66
立山町	31	3	18	2	0	2	5	1	2	2	1	0	2	6	3	40	1	2	0	1	15	137
入善町	18	1	12	2	1	0	2	0	0	1	1	0	4	7	3	13	0	1	1	1	11	79
朝日町	7	0	13	2	1	0	3	0	2	1	1	0	2	12	0	20	1	1	0	0	2	68
計	293	67	494	59	34	70	141	23	103	20	86	92	366	350	80	591	27	34	33	25	368	3,356

表7-67 水質関係立入検査状況（3年度）

業種 区分	農	食	飲料・たばこ・飼料製造業	繊維工業	衣服・その他の繊維製品製造業	パルプ・紙・紙加工品製造業	化学工業	プラスチック製品製造業	窯業・土石製品製造業	鉄鋼業	金属製品製造業	電気機械器具製造業	輸送用機械器具製造業	その他の製造業	水道	飲食料品小売業	その他の小売業	洗濯・理容・浴場業	旅館、その他の宿泊所	娯楽業	廃棄物処理業	計
	立入検査件数	1	6	3	1	1	2	11	1	3	3	7	2	2	1	36	2	1	1	1	4	1
排水に係る指導件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注 中核市である富山市の区域を除きます。

表7-68 公共用水域の主要測定地点における全窒素・全りんの水質測定結果（3年度）
（単位：mg/L）

公共用水域			測定地点		全窒素	全りん				
阿	尾	川	阿	尾	橋	0.51	0.051			
余	川	川	間	島	橋	0.47	0.041			
上	庄	川	北	の	橋	0.57	0.059			
仏	生	寺	八	幡	橋	3.2	0.21			
	湊	川	中	の	橋	0.80	0.12			
小	矢	部	川	河	口	0.87	0.061			
				太	美	橋	0.35	0.011		
	千	保	川	地	子	木	橋	0.53	0.029	
	祖	父	川	新	祖	父	川	橋	0.65	0.026
	山	田	川	福	野	橋	0.40	0.026		
二				ヶ	淵	えん	堤	0.27	0.006	
庄		川	大	門	大	橋	0.25	0.008		
			雄	神	橋	0.26	0.009			
	和	田	川	末	端	0.26	0.014			
内	川	山	王	橋	1.2	0.049				
		西	橋	0.32	0.022					
下	条	川	稻	積	橋	0.75	0.039			
新	堀	川	白	石	橋	1.0	0.070			
西	部主幹排水路		西	部排水機場		0.52	0.066			
東	部主幹排水路		東	部排水機場		0.98	0.073			
神	通	川	萩	浦	橋	1.6	0.035			
			神	通	大	橋	0.42	0.035		
	宮	川	新	国	境	橋	0.41	0.027		
	高	原	川	新	猪	谷	橋	0.32	0.012	
	い	た	ち	川	四	ツ	屋	橋	0.75	0.043
松	川	桜	橋	0.74	0.037					
富	岩	運	河	萩	浦	小	橋	0.55	0.042	
岩	瀬	運	河	岩	瀬	橋	1.7	0.052		
常	願	寺	川	今	川	橋	0.30	0.016		
白	岩	川	東	西	橋	0.50	0.036			
			泉	正	橋	0.49	0.057			
	栃	津	川	流	舘	橋	0.38	0.023		
寺				田	橋	0.35	0.017			
上	市	川	魚	躬	橋	0.55	0.037			
中	川	落	合	橋	0.66	0.036				
早	月	川	早	月	橋	0.47	0.011			
角	川	角	川	橋	0.55	0.037				
鴨	川	港	橋	0.53	0.025					
片	貝	川	落	合	橋	1.0	0.12			
	布	施	川	落	合	橋	0.53	0.037		
黒	瀬	川	石	田	橋	0.49	0.039			
高	橋	川	立	野	橋	2.7	0.057			

公 共 用 水 域			測 定 地 点		全 窒 素	全 り ん			
吉	田	川	吉	田	橋	0.85	0.028		
黒	部	川	下	黒	部	橋	0.20	0.007	
入		川	末		端	0.26	0.028		
小	舟	川	赤	川	橋	0.28	0.012		
			上	朝	日	橋	0.30	0.006	
			舟	川	橋	0.28	0.013		
木	流	川	末		端	0.38	0.031		
笹		川	笹	川	橋	0.35	0.010		
境		川	境		橋	0.50	0.006		
桂 (境川ダム貯水池)		湖	え	ん	堤	付	近	0.28	0.003
			湖		中		央	0.26	0.003
有 峰 (有峰ダム貯水池)		湖	え	ん	堤	付	近	0.14	0.003
			湖		中		央	0.14	0.003
黒 部 (黒部ダム貯水池)		湖	え	ん	堤	付	近	0.21	0.005
			湖		中		央	0.17	0.005
富 山 新 港 海 域			新	港		1	0.23	0.040	
			新	港		2	0.25	0.039	
			新	港		3	0.25	0.049	
			新	港		4	0.23	0.058	
			第 1 貯 木 場	姫	野	橋	0.31	0.055	
中 野 整 理 場	中		央	0.40	0.054				
富 山 湾	小 矢 部 川 河 口 海 域		小	矢	部	2	0.21	0.016	
			小	矢	部	3	0.25	0.017	
			小	矢	部	5	0.21	0.011	
			小	矢	部	6	0.20	0.014	
	神 通 川 河 口 海 域		神	通		1	0.19	0.012	
			神	通		2	0.28	0.013	
			神	通		3	0.19	0.012	
			神	通		4	0.20	0.011	
			神	通		5	0.27	0.012	
			神	通		6	0.21	0.012	
	そ の 他 の 湾 海 山 域		小	矢	部	7	0.20	0.010	
			神	通		7	0.22	0.011	
			そ	の	他	1	0.15	0.009	
			そ	の	他	2	0.15	0.010	
			そ	の	他	3	0.16	0.010	
			そ	の	他	4	0.19	0.013	
			そ	の	他	5	0.22	0.010	
			そ	の	他	6	0.20	0.010	
			そ	の	他	7	0.18	0.010	
そ			の	他	8	0.18	0.009		
そ	の	他	9	0.16	0.008				
そ	の	他	10	0.15	0.008				

表7-69 河川及び海域における要監視項目測定結果（3年度）

(単位：mg/L)

調査項目	測定地点数 (河川/海域)	検出地点 (河川/海域)	測定結果	指針値 超過地点数	指針値	定量 下限値
オキシソ銅	52/0	0/0	ND	0	0.04	0.004
フタル酸ジエチルヘキシル	52/0	0/0	ND	0	0.06	0.005~0.006
ニッケル	52/0	14/0	ND~0.045	—	—	0.001
モリブデン	52/0	3/0	ND~0.024	0	0.07	0.007
塩化ビニルモノマー	52/0	0/0	ND	0	0.002	0.0002
エピクロロヒドリン	52/0	0/0	ND	0	0.0004	0.00004
全マンガン	52/1	23/1	ND~0.21	1	0.2	0.02

注 NDとは、定量下限値未満です。

表7-70 湖沼水質調査結果（3年度）

① 調査対象湖沼

湖沼	所在地	有効貯水量 (千m ³)	湛水面積 (km ²)	主な利水目的
子撫川ダム貯水池	小矢部市宮中字新村	6,000	0.70	水道、農業

② 調査結果

湖沼	調査回数	測定項目							
		透明度 (m)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	クロロフィルa (μg/L)
子撫川ダム貯水池	2	3.1	7.4	3.7	1	7.7	0.32	0.008	4.9

注 測定値は、年平均値です。

表7-71 海水浴場水質調査結果（3年度）

① 開設前（4～5月）

海水浴場	判定	水質				腸管出血性 大腸菌 O-157	調査 機関
		透明度 (m)	油膜 の有無	COD (mg/L)	ふん便性 大腸菌群数 (個/100mL)		
小 境（氷見市）	適 (水質AA)	全透	なし	1.3	2未満	不検出	富山県
島 尾（氷見市）	適 (水質AA)	全透	なし	1.4	2未満	不検出	//
雨晴・松太枝浜（高岡市）	適 (水質AA)	全透	なし	1.4	2未満	不検出	//
八重津浜（富山市）	適 (水質AA)	全透	なし	1.0	2未満	不検出	富山市
石田浜（黒部市）	適 (水質AA)	全透	なし	1.6	2未満	不検出	富山県
宮崎・境海岸（朝日町）	適 (水質AA)	全透	なし	1.3	2未満	不検出	//

② 開設中（7～8月）

海水浴場	判定	水質				腸管出血性 大腸菌 O-157	調査 機関
		透明度 (m)	油膜 の有無	COD (mg/L)	ふん便性 大腸菌群数 (個/100mL)		
小 境（氷見市）	可 (水質B)	全透	なし	2.3	2未満	不検出	富山県
島 尾（氷見市）	可 (水質B)	全透	なし	3.3	2未満	不検出	//
雨晴・松太枝浜（高岡市）	可 (水質B)	全透	なし	3.3	2未満	不検出	//
八重津浜（富山市）	適 (水質A)	全透	なし	1.1	2	不検出	富山市
石田浜（黒部市）	可 (水質B)	全透	なし	2.5	2未満	不検出	富山県
宮崎・境海岸（朝日町）	適 (水質AA)	全透	なし	1.7	2未満	不検出	//

注1 「判定」の適、可、AA、A及びBは、「水浴場水質判定基準（環境省）」に示された判定区分を示します。

2 岩瀬浜、浜黒崎（いずれも富山市）については、開設が中止されました。

表7-72 底質（重金属等）調査結果（3年度）

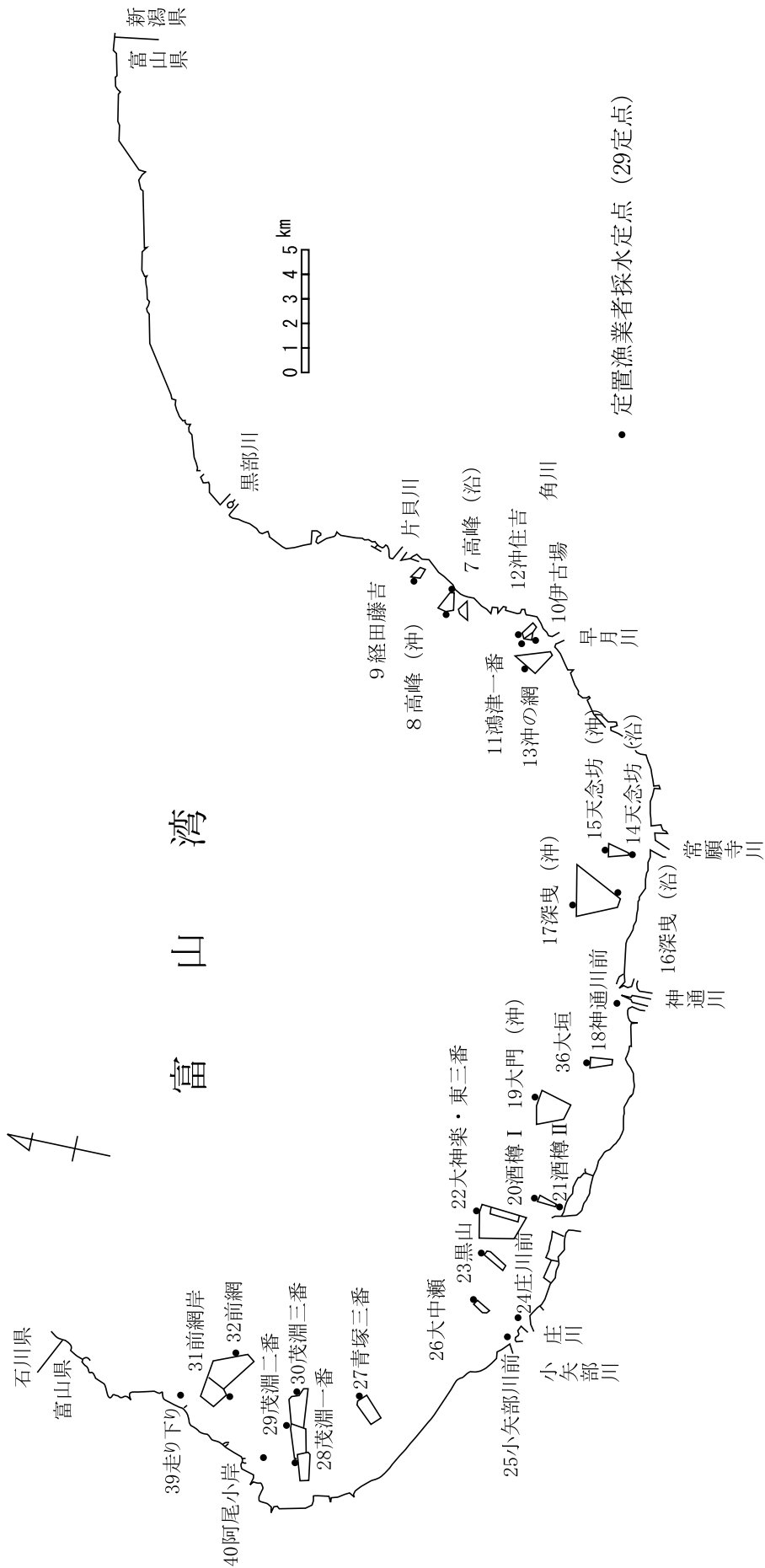
区分	調査地点	調査結果							調査機関
		総水銀 (mg/kg)	カドミウム (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	ひ素 (mg/kg)	総クロム (mg/kg)	強熱減量 (%)		
河川	神通川	成子大橋	0.01未満	0.4	150	9.4	24	0.9	富山市
		高原川	新猪谷橋	0.01未満	0.1	46	5.4	57	0.8
	富岩運河	萩浦小橋	5.3	1.0	93	21	1200	15	//
		木場橋	0.58	1.9	70	13	47	10	//
	岩瀬運河	岩瀬橋	1.2	0.1	38	7.8	68	2.7	//
	住友運河	前川橋	0.29	0.2	31	8.4	110	3.6	//
	白岩川	東西橋	0.01未満	0.1未満	4	2.7	10未満	1.4	//
	黒瀬川	石田橋	0.15	1.8	30	10	40	11	富山県
	黒部川	下黒部橋	0.01未満	0.1未満	4	4.0	30	0.7	//
	小川	赤川橋	0.03	0.1	4	5.7	30	1.1	//
港湾	富山港	港口	0.06	0.4	31	13	40	5.9	富山市
		港央	0.18	0.5	50	14	46	5.7	//
		港奥	1.4	0.6	160	15	270	7.7	//
定量下限値			0.01	0.1	1	0.5	10	—	—

表7-73 立山環境調査（河川等環境調査）結果（3年度）

区分	調査地点	pH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)
称名滝上流	みくりが池	4.9	1.1	1
	雷鳥沢	6.6	0.5未満	1未満
	紺谷川合流点下流	—	—	—
	大谷上流	6.6	0.5未満	1未満
	一の谷	6.6	0.5未満	1未満
	ハノキ谷	5.5	0.5未満	1未満
称名滝下流	常願寺川瓶岩橋	8.5	0.6	1

- 注1 BOD欄中、「みくりが池」はCODの値です。
 注2 「紺谷川合流点下流」は、地獄谷からの流水の影響を受けています。
 なお、火山ガスの影響により調査を実施しませんでした。
 注3 「常願寺川瓶岩橋」については、通行止のため、下流の横江頭首工において採水を実施しました。

図7-3 定置網漁場環境調査定点図（3年度）



注 3年度の調査は、29定点の計画で行いました。

表7-74 定置網漁場環境調査の結果（3年度）

No.	調査定点名	調査回数	水 温 (°C)			pH			塩 分			COD (mg/L)			濁 度 (ppm)		
			最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値
7	高峰 (泊)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	高峰 (沖)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	経田藤吉	9	10.3	23.8	16.6	8.14	8.25	8.20	18.89	33.79	29.05	0.2	0.6	0.4	0.08	2.07	0.88
10	伊古場	5	19.2	21.7	20.1	8.09	8.45	8.26	8.81	28.85	20.64	0.4	1.2	0.8	1.08	7.00	3.40
11	鴻津一番	5	18.5	21.7	20.3	8.21	8.42	8.30	6.90	30.24	19.49	0.6	1.1	0.9	1.56	6.00	2.98
12	沖住吉	1	14.4	14.4	14.4	8.16	8.16	8.16	31.44	31.44	31.44	0.3	0.3	0.3	0.87	0.87	0.87
13	沖の網	1	14.5	14.5	14.5	8.19	8.19	8.19	31.53	31.53	31.53	0.4	0.4	0.4	1.01	1.01	1.01
14	天念坊 (泊)	4	8.4	21.0	14.5	8.21	8.39	8.28	20.01	32.29	23.83	0.3	0.7	0.5	0.63	4.14	1.87
15	天念坊 (沖)	4	8.3	21.0	14.5	8.20	8.38	8.27	20.11	32.15	28.05	0.3	1.2	0.6	0.67	4.31	1.88
16	深曳 (泊)	5	10.0	20.0	13.8	8.20	8.29	8.23	19.69	33.43	28.51	0.4	0.8	0.6	1.11	4.32	2.23
17	深曳 (沖)	4	10.0	20.5	13.9	8.21	8.35	8.27	25.17	33.11	29.40	0.3	1.2	0.6	0.77	5.58	2.63
18	神通川前	5	4.9	17.4	10.1	7.84	8.52	8.15	0.21	10.04	4.71	0.6	1.1	0.9	1.87	3.43	2.49
19	大門沖 (Om)	4	9.8	23.4	16.8	8.11	8.23	8.17	21.17	33.29	27.06	0.4	1.0	0.7	0.49	2.30	1.55
20	酒樽 I	9	10.0	22.5	16.6	8.04	8.39	8.19	12.79	33.19	23.96	0.3	1.1	0.7	0.86	4.07	2.56
21	酒樽 II	9	10.0	23.5	16.7	7.98	8.40	8.16	14.09	29.41	20.22	0.2	1.4	0.9	2.94	6.47	4.51
22	東三番	2	13.6	18.0	15.8	8.12	8.31	8.22	23.88	34.14	29.01	0.3	1.2	0.8	0.48	4.99	2.74
23	黒山	10	8.0	22.0	15.3	8.10	8.26	8.18	9.09	30.14	20.68	0.5	1.4	0.9	1.61	4.16	2.43
24	庄川前	10	6.0	21.0	14.1	7.90	8.32	8.03	5.79	12.46	9.64	0.6	1.9	1.2	1.45	6.51	2.94
25	小矢部川前	10	6.0	22.0	14.1	7.61	8.24	7.80	0.88	10.17	3.57	1.2	4.8	1.9	2.19	10.23	4.70
26	大中瀬	10	9.0	23.0	15.6	7.94	8.22	8.10	10.84	33.22	23.57	0.2	1.7	0.7	0.64	3.80	2.01
27	青塚三番	8	12.8	23.6	18.8	8.10	8.29	8.19	27.70	33.25	31.39	0.2	1.0	0.6	0.63	2.88	1.70
28	茂淵一番	12	10.0	23.7	17.0	8.10	8.27	8.17	27.53	33.80	31.89	0.3	2.4	0.6	0.39	2.69	1.35
29	茂淵二番	12	9.3	23.6	17.1	8.11	8.27	8.18	21.55	33.84	31.46	0.2	0.6	0.4	0.55	3.03	1.21
30	茂淵三番	7	13.0	23.0	18.8	8.15	8.27	8.21	31.80	34.07	32.95	0.3	0.6	0.5	0.72	1.48	1.07
31	前網岸	12	9.7	23.6	17.2	8.13	8.27	8.19	29.54	34.13	32.81	0.1	0.8	0.4	0.46	3.03	0.96
32	前網	12	10.0	23.6	17.2	8.13	8.27	8.20	28.68	34.13	32.75	0.1	0.9	0.4	0.28	3.79	0.95
36	大垣	9	9.0	23.0	16.2	8.13	8.31	8.22	19.46	33.29	27.12	0.1	1.2	0.6	0.41	4.01	2.03
39	走り下り	12	8.6	22.2	15.3	7.96	8.23	8.12	30.60	34.04	32.37	0.2	0.9	0.5	0.53	12.18	2.80
40	阿尾小岸	12	10.0	24.0	16.8	8.05	8.26	8.17	9.78	33.79	27.45	0.2	3.3	0.7	0.43	32.54	4.90

図7-4 騒音・振動苦情の発生源別推移

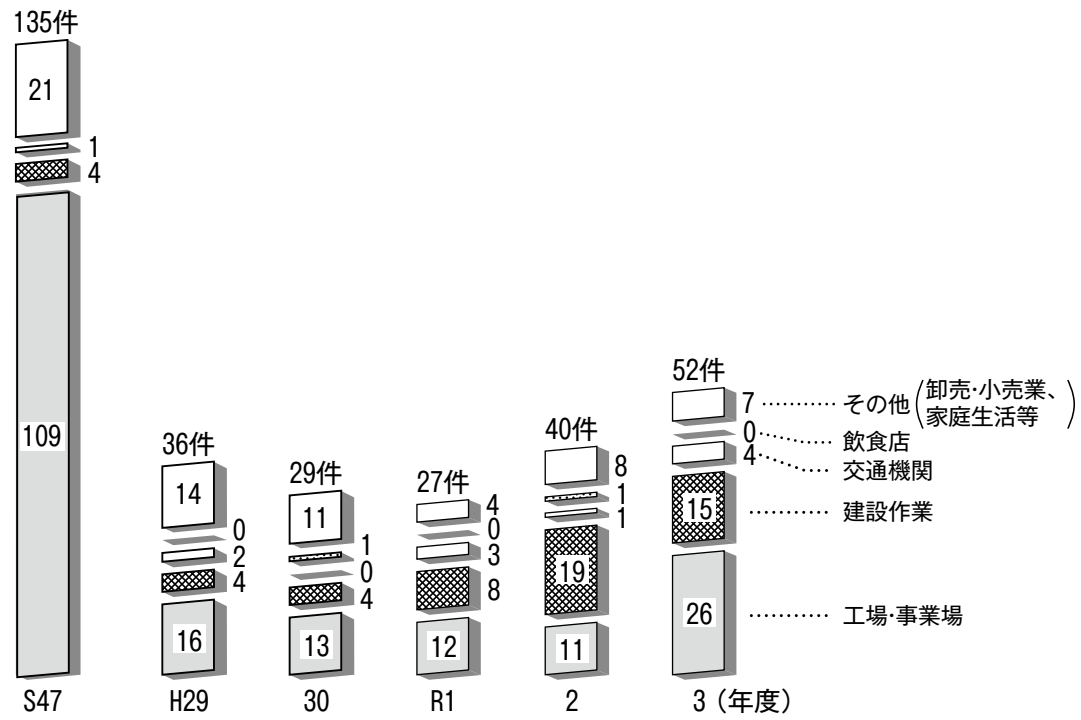


図7-5 一般地域の環境騒音の環境基準達成状況 (3年度)

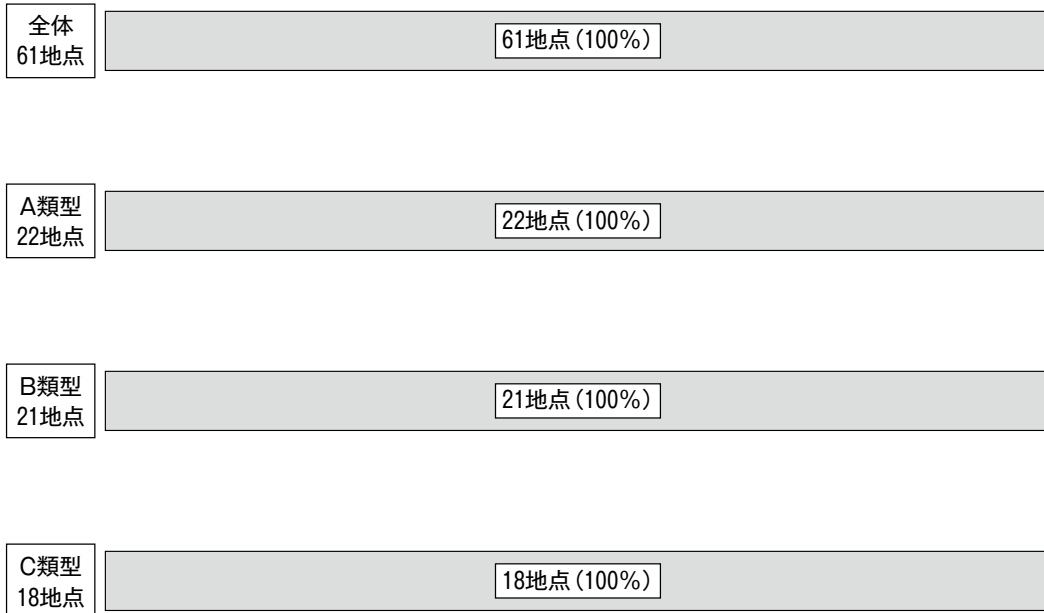


表7-75 自動車騒音の環境基準達成状況

① 自動車騒音の環境基準達成状況（3年度）

道路種別 (道路に面する地域)	調査 区 間 数	評 価 対 象 戸 数	達成区間数	達成戸数	環境基準達成率(%)
国 道	9	1,797	5	1,716	95
県 道	12	2,476	9	2,436	98
市 道	4	1,569	2	1,561	99
計	25	5,842	16	5,713	98

- 注1 調査区間数とは、面的評価を行った区間数です。
 注2 評価対象戸数とは、調査区間における住居等の戸数です。
 注3 達成区間数とは、調査区間における住居等のすべてが昼間（6時～22時）及び夜間（22時～翌日6時）ともに環境基準を達成している区間の数です。
 注4 達成戸数とは、評価対象戸数のうち昼間及び夜間ともに環境基準を達成している住居等数です。

② 自動車騒音の環境基準達成率の経年変化

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
達成区間数/調査区間数	11/26 (42)	9/26 (35)	14/27 (52)	21/24 (88)	16/25 (64)
達成戸数/評価対象戸数	7,823/8,208 (95)	10,621/11,165 (95)	8,128/8,330 (98)	4,259/4,311 (99)	5,713/5,842 (98)

注 () 内の数値は、調査区間数、評価対象戸数に対する達成数の割合で、単位は%です。

表7-76 道路に面する地域の環境騒音調査結果（3年度）

(単位：dB)

環境基準の 地域の類型	測定地点数	平 均		昼 間 (6時～22時)	夜 間 (22時～6時)
		昼間	夜間		
A	7	57	49	40～66	38～60
B	17	64	55	54～68	42～61
C	34	64	57	45～71	41～67
特 例	22	68	61	62～76	53～74
その他	21	58	55	48～70	47～63

注 騒音の測定は、県、10市町が101地点で実施しました。

表7-77 航空機騒音の年度別推移

(単位：dB)

調査地点名	調査時期	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
富山市萩	春季	53	55	54	38	46
	夏季	54	55	54	49	45
	秋季	55	55	56	48	47
	冬季	53	53	54	49	47
	年間	54	54	54	47	46
富山市塚	春季	50	52	52	38	45
	夏季	52	51	51	47	44
	秋季	53	52	54	46	46
	冬季	49	50	51	47	46
	年間	51	51	52	46	45
富山市保	春季	52	49	49	42	46
	夏季	48	47	48	47	45
	秋季	47	47	50	46	43
	冬季	50	49	49	47	45
	年間	50	48	49	46	45
富山市中島	春季	54	51	52	41	48
	夏季	51	48	49	44	47
	秋季	51	51	53	46	45
	冬季	53	53	51	49	47
	年間	53	51	52	46	47
環境基準	類型Ⅱ (L _{den} 62以下)					

- 注1 騒音調査は、各調査時期においてそれぞれ7日間連続測定しました。
 2 環境基準との評価は、年間値で行います。

表7-78 北陸新幹線鉄道に係る騒音調査結果（3年度）

	調査地点	調査実施者	測定地点側の軌道 (上下の別)	地域類型	騒音評価値 (dB)	平均列車速度 (km/h)
1	魚津市上野付近	県	上	I	75	248
2	滑川市有金付近	県	上	I	72	242
3	富山市水橋下砂子坂付近	富山市	下	I	68	242
4	富山市水橋開発付近	富山市	下	II	72	222
5	富山市千成町付近	富山市	上	II	77	174
6	富山市綾田町付近	富山市	下	I	71	96
7	富山市安養坊付近	富山市	下	I	74	149
8	富山市野々上付近	富山市	下	I	72	243
9	射水市大江付近	県	上	I	71	240
10	射水市土合付近	県	上	I	71	167
11	高岡市辻付近	県	上	I	69	211
12	小矢部市綾子付近	県	上	I	72	252
環 境 基 準					I : 70以下 II : 75以下	—

表7-79 騒音規制法に基づく特定施設の届出状況

(4年3月31日現在)

市 町	工場・事業場数	特 定 施 設 数											計
		金属加工機械	空気圧縮機等	土石用破碎機等	織機	建設用資材製造機械	穀物用製粉機	木材加工機械	抄紙機	印刷機	射出成形樹脂用機	鋳造型機	
富山市	660	861	3,498	186	0	20	2	236	2	446	199	2	5,452
高岡市	461	698	1,582	60	645	8	0	249	2	108	139	63	3,554
魚津市	51	23	160	20	0	0	0	25	0	18	14	0	260
氷見市	35	112	122	25	20	7	0	5	0	5	1	8	305
滑川市	26	87	242	22	0	1	0	9	0	12	7	0	380
黒部市	32	779	573	12	520	0	0	14	0	37	424	591	2,950
砺波市	87	75	334	23	227	7	0	50	0	12	113	0	841
小矢部市	53	29	54	4	32	4	24	26	2	25	39	1	240
南砺市	103	105	360	0	455	0	1	124	0	24	51	0	1,120
射水市	129	295	1,075	78	286	17	1	203	0	22	17	0	1,994
上市町	25	2	155	2	1,435	1	1	5	0	3	68	0	1,672
立山町	24	39	107	9	0	0	0	4	4	6	1	0	170
入善町	23	114	140	10	113	0	0	0	7	0	1	6	391
朝日町	12	4	48	0	0	0	0	2	0	3	2	0	59
計	1,721	3,223	8,450	451	3,733	65	29	952	17	721	1,076	671	19,388

表7-80 公害防止条例に基づく騒音の届出工場・事業場の状況

(4年3月31日現在)

市 町 村	工場・事業場数	市 町 村	工場・事業場数
富山市	707	南砺市	316
高岡市	450	射水市	117
魚津市	96	舟橋村	5
氷見市	113	上市町	79
滑川市	169	立山町	28
黒部市	150	入善町	57
砺波市	120	朝日町	35
小矢部市	54	計	2,496

表7-81 騒音関係立入検査状況（3年度）

業種	食料品製造業	パルプ・紙・紙加工品製造業	化学工業	鉄鋼業	非鉄金属製造業	金属製品製造業	一般機械器具製造業	電子部品・デバイス製品製造業	電気業	廃棄物処理業	その他	合計
立入検査件数	3	5	10	6	3	4	3	4	1	0	10	49

注 件数は、延べ件数です。

表7-82 道路交通振動の調査結果（3年度）

区域区分		測定地点数	昼間(dB) (8時~19時)	夜間(dB) (19時~翌8時)
第1種区域	第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域	15	20~46 (65)	15~38 (60)
第2種区域	近隣商業地域、商業地域、準工業地域	26	28~53 (70)	18~44 (65)
上記の区域以外		13	20~54	14~47

注1 ()は、道路管理者又は公安委員会に対する要請限度です。

注2 区域区分の地域は、都市計画法第8条第1項第1号に掲げる用途地域です。

表7-83 振動規制法に基づく特定施設の届出状況

(4年3月31日現在)

市 町	工場・事業場数	特 定 施 設 数										計
		金属加工機械	圧縮機	土石用破碎機等	織機	ブロックマシン等コンクリート	木材加工機械	印刷機械	ロール機	射出成形樹脂用機	鋳造型機	
富山市	380	843	1,273	207	0	10	26	174	4	167	5	2,709
高岡市	312	872	821	69	539	10	33	25	2	140	72	2,583
魚津市	22	29	54	6	0	0	3	0	0	10	0	102
氷見市	9	11	25	19	20	0	0	0	0	3	3	81
滑川市	16	100	193	26	0	0	3	15	0	15	0	352
黒部市	16	211	75	28	65	0	3	13	31	159	1	586
砺波市	21	15	36	1	168	0	10	20	0	94	0	344
小矢部市	24	29	9	0	38	8	5	5	2	32	0	128
南砺市	32	17	79	0	455	0	6	2	0	31	0	590
射水市	61	76	98	65	0	0	30	3	0	19	0	291
上市町	13	0	57	0	1,453	0	0	0	0	38	0	1,548
立山町	18	15	51	2	0	0	0	2	0	4	0	74
入善町	14	8	48	2	113	0	0	1	0	0	3	175
朝日町	5	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0	12
計	943	2,229	2,822	425	2,851	28	122	263	39	712	84	9,575

表7-84 振動関係立入検査状況（3年度）

業 種	飲料・たばこ・飼料製造業	パルプ・紙・紙加工品製造業	化学工業	鉄鋼業	非鉄金属製造業	金属製品製造業	一般機械器具製造業	電子部品・デバイス製品製造業	その他	計
立入検査件数	3	3	7	4	1	1	3	4	8	34

表7-85 公害防止条例に基づく悪臭の届出工場・事業場の概要
(4年3月31日現在)

市 町 村	工場・事業場数	市 町 村	工場・事業場数
富山市	154	南砺市	77
高岡市	17	射水市	5
魚津市	30	舟橋村	0
氷見市	35	上市町	40
滑川市	18	立山町	105
黒部市	104	入善町	24
砺波市	34	朝日町	4
小矢部市	10	計	657

表7-86 畜産業の悪臭実態調査結果（3年度）

業 種		畜産業（養豚場等）	
工場・事業場数		3	
測 定 場 所		風下敷地境界	風上敷地境界
特定悪臭物質	アンモニア	ND~0.1	ND~0.2
	硫化水素	ND~0.005	0.005~0.013
	プロピオン酸	ND	ND
	ノルマル酪酸	ND	ND
単 位		volppm	

注 NDとは、定量限界（アンモニア0.1ppm、硫化水素0.002ppm、プロピオン酸0.003ppm、ノルマル酪酸0.0005ppm）未満です。

表7-87 畜産環境保全実態調査結果（3年度）

区分 畜種	調査戸数	主 な 処 理 施 設					
		天日乾燥	火力乾燥	堆積発酵	強制発酵	浄化处理	その他
乳用牛	35	—	—	55	8	—	14
肉用牛	27	—	—	30	2	—	—
豚	13	—	—	21	5	12	—
鶏	17	1	—	21	10	—	2
計	92	1	—	127	25	12	16

表7-88 畜産農家の定期巡回指導等の実施状況（3年度）

（単位：件）

区 分	乳用牛	肉用牛	豚	鶏	計
定期巡回指導	34	23	12	17	86
水 質 検 査	—	—	6	—	6
悪 臭 調 査	—	—	3	—	3

表7-89 公害防止管理者等の選任届出状況

（4年3月31日現在）

区 分		届 出 状 況
公 害 防 止 統 括 者		176（68）
公 害 防 止 主 任 管 理 者		12（2）
大 気 関 係 公 害 防 止 管 理 者	第 1 種	17（1）
	第 2 種	8（1）
	第 3 種	28（9）
	第 4 種	41（16）
水 質 関 係 公 害 防 止 管 理 者	第 1 種	30（4）
	第 2 種	62（19）
	第 3 種	6（1）
	第 4 種	20（9）
一 般 粉 じ ん 関 係 公 害 防 止 管 理 者	粉 じ ん	16（2）
騒 音 関 係 公 害 防 止 管 理 者	騒 音	27（18）
振 動 関 係 公 害 防 止 管 理 者	振 動	36（27）
ダ イ オ キ シ ン 類 関 係 公 害 防 止 管 理 者	ダ イ オ キ シ ン	11（3）
計		490（180）

注（ ）は、市町村事務分で、内数です。

表7-90 対策地域内の玄米及び土壌中カドミウム濃度（神通川流域）

地域区分	玄米中 (ppm)				土壌中 (ppm)							
	点数	最高	最低	平均	作 土				次 層 土			
					点数	最高	最低	平均	点数	最高	最低	平均
左岸地域	362	4.23	0.25	1.02	362	4.50	0.46	1.09	203	4.86	0.06	0.64
右岸地域	182	2.74	0.25	0.93	182	4.85	0.47	1.16	101	5.17	0.09	0.82
全 体	544	4.23	0.25	0.99	544	4.85	0.46	1.12	304	5.17	0.06	0.70

表7-91 対策地域内の玄米及び土壌中カドミウム濃度（黒部地域）

地域区分	玄米中 (ppm)				土壌中 (ppm)							
	点数	最高	最低	平均	作 土				次 層 土			
					点数	最高	最低	平均	点数	最高	最低	平均
黒部地域	44	1.34	0.47	0.79	44	22.60	3.85	7.57	19	3.24	0.14	0.85

表7-92 神通川流域における土地利用区分と面積（実測）

（単位：ha）

計画区分	対策地域の面積			①のうち農用地として利用する面積					①のうち農用地以外として利用する面積
	①農用地(田)	農用地以外	計	事業対象面積			事業対象外面積(砂利採取田)	計	
				田	畑	計			
第1次地区	96.7	11.3	108.0	76.2	0.6	76.8	11.8	88.6	8.1
第2次地区	427.2	53.9	481.1	326.6 292.1	5.9 3.8	332.5 295.9	73.7 80.9	406.2 376.8	21.0 50.4
第3次地区	960.5	94.8	1,055.3	402.0 371.2	5.5 9.5	407.5 380.7	14.3 14.3	421.8 395.0	538.7 565.5
計	1,484.4	160.0	1,644.4	804.8 739.5	12.0 13.9	816.8 753.4	99.8 107.0	916.6 860.4	567.8 624.0

注 第2次地区、第3次地区及び計の上段は当初計画、下段は変更計画です。

表7-93 神通川流域における第1～3次地区の復旧方式等

区 分	第1次地区	第2次地区	第3次地区
復 旧 方 式	区画整理方式	区画整理方式 原状回復方式	区画整理方式 原状回復方式
対 策 工 法	埋込客土工法 上乘せ客土工法	埋込客土工法 上乘せ客土工法	埋込客土工法 上乘せ客土工法
客土母材の採土地	大沢野町*市場地内の山林	大沢野町*市場地内の山林 八尾町*横ノ手地内の山林	八尾町*卯花地内の山林

注 *は現富山市です。

表7-94 黒部地域における土地利用区分と面積（実測）

(単位：ha)

市名	対策地域の面積				①、②のうち農用地として利用する面積			左のうち事業対象面積			①②のうち農用地以外として利用する面積
	①農用地(田)	②農用地(畑)	農用地以外	計	田	畑	計	田	畑	計	
黒部市	115.8	0.2	16.1	132.1	44.0 40.5 57.6	0.2 0.2 0.8	44.2 40.7 58.4	44.0 40.5 57.6	－ － 0.6	44.0 40.5 58.2	71.8 75.3 57.6

注 上段は当初計画、中段は8年の変更計画、下段は20年の変更計画です。

表7-95 黒部地域における対策地域の復旧方式等

区分	黒部地域
復旧方式	原状回復方式（一部未整備地域は区画整理方式）
対策工法	排土客土工法
客土母材の採土地	黒部市田舩地内の山林

表7-96 土壌汚染対策法に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域の概要

(4年3月31日現在)

① 要措置区域

指定年月日	指定番号	区域の所在地	区域の面積(m ²)	基準に適合しない特定有害物質
令和2年12月21日	指-11	黒部市吉田1番の一部	1,200	トリクロロエチレン、六価クロム化合物

② 形質変更時要届出区域

指定年月日	指定番号	区域の所在地	区域の面積(m ²)	基準に適合しない特定有害物質
平成16年7月16日	指-1	高岡市吉久1丁目273番21の全部並びに同市吉久1丁目351番5、351番8、351番9、351番13及び351番14の一部	1,065	六価クロム化合物
平成19年6月6日	指-3	高岡市長慶寺1032番1の全部並びに同市長慶寺1032番2、1032番3、1033番1及び1033番2の一部	2,105	ふっ素及びその化合物
平成22年3月10日	指-4	小矢部市桜町字狐谷1239番1の一部	420.5	シス-1,2-ジクロロエチレン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン
平成23年9月22日	指-6	高岡市伏木二丁目39番1、53番1、55番、61番、63番1及び68番2の一部	7,800	鉛及びその化合物、ひ素及びその化合物、ふっ素及びその化合物

表7-97 地下水の水質測定地点数（3年度）

① 概況調査

市町村	地点数	測定機関	市町村	地点数	測定機関
富山市	20	富山市	南砺市	7	富山県
高岡市	8	富山県	射水市	7	//
魚津市	3	//	上市町	1	//
氷見市	3	//	立山町	2	//
滑川市	3	//	入善町	3	//
黒部市	6	//	朝日町	1	//
砺波市	7	//			
小矢部市	5	//	計	76	

② 継続監視調査

市町村	地点数	測定機関	市町村	地点数	測定機関
氷見市	3	富山県	南砺市	3	富山県
小矢部市	3	//	計	9	

表7-98 ダイオキシン類環境調査結果（3年度）

① 大気

区分	市町村名	調査地点	調査回数	調査結果 [pg-TEQ/m ³]			調査機関
				夏季	冬季	平均	
住居地域	富山市	安野屋町	年2回	0.0079	0.0073	0.0076	富山市
	//	水橋畠等	//	0.0083	0.0098	0.0091	//
	//	婦中町笹倉	//	0.0077	0.010	0.0089	//
	高岡市	広小路	//	0.036	0.012	0.024	高岡市
	//	戸出	//	0.019	0.0056	0.012	//
	氷見市	窪	//	0.0035	0.010	0.0068	富山県
	黒部市	植木	//	0.0081	0.0088	0.0085	//
	南砺市	柴田屋	//	0.0040	0.0036	0.0038	//
射水市	中太閤山	//	0.0058	0.0064	0.0061	//	
工業地域	富山市	蓮町	//	0.011	0.012	0.012	富山市
	射水市	東明中町	//	0.013	0.0088	0.011	富山県
廃棄物焼却施設周辺	砺波市	太田	//	0.064	0.019	0.042	//
環境基準				0.6			

② 公共用水域水質
ア 河川

河川等	調査地点	調査回数	調査結果 [pg-TEQ/L]			調査機関
			1回目	2回目	平均	
仏生寺川	八幡橋	年1回	0.16		0.16	富山県
小矢部川	城光寺橋	//	0.075		0.075	国土交通省
千保川	地子木橋	//	0.14		0.14	高岡市
祖父川	新祖父川橋	//	0.17		0.17	//
庄川	大門大橋	//	0.072		0.072	国土交通省
下条川	稲積橋	//	0.089		0.089	富山県
神通川	神通大橋	//	0.076		0.076	国土交通省
いたち川	四ツ屋橋	年2回	0.084	0.099	0.092	富山市
松川	桜橋	//	0.12	0.11	0.12	//
富岩運河	萩浦小橋	//	0.79	0.32	0.56	//
岩瀬運河	岩瀬橋	//	0.080	0.14	0.11	//
常願寺川	常願寺橋	年1回	0.071		0.071	国土交通省
白岩川	東西橋	年2回	0.13	0.097	0.11	富山市
中川	落合橋	年1回	0.11		0.11	富山県
角川	角川橋	//	0.058		0.058	//
片貝川	落合橋	//	0.045		0.045	//
布施川						
黒瀬川	石田橋	年4回	1回目 0.060	3回目 0.095	0.11	//
			2回目 0.18	4回目 0.11		
黒部川	下黒部橋	年1回	0.067	—	0.067	国土交通省
入川	末端	//	0.045	—	0.045	富山県
笹川	笹川橋	//	0.044	—	0.044	//
環境基準			1			

イ 海 域

海 域	調査地点	調査回数	調査結果[pg-TEQ/L]	調査機関
富山新港海域	新 港 1	年 1 回	0.044	富 山 県
神通川河口海域	神 通 2	//	0.042	//
その他の富山湾海域	そ の 他 4	//	0.042	//
//	そ の 他 5	//	0.062	//
環 境 基 準			1	

③ 公共用水域底質

ア 河 川

河 川 等	調査地点	調査回数	調査結果[pg-TEQ/g]	調査機関
小 矢 部 川	城 光 寺 橋	年 1 回	0.22	国土交通省
庄 川	大 門 大 橋	//	0.22	//
神 通 川	神 通 大 橋	//	0.21	//
富 岩 運 河	萩 浦 小 橋	//	430	富 山 市
白 岩 川	東 西 橋	//	0.47	//
常 願 寺 川	常 願 寺 橋	//	0.21	国土交通省
片 貝 川	落 合 橋	//	0.11	富 山 県
布 施 川				
黒 瀬 川	石 田 橋	//	1.1	//
黒 部 川	下 黒 部 橋	//	0.21	国土交通省
入 川	末 端	//	0.46	富 山 県
笹 川	笹 川 橋	//	0.099	//
環 境 基 準			150	

イ 海 域

海 域	調査地点	調査回数	調査結果[pg-TEQ/g]	調査機関
富山新港海域	新 港 1	年 1 回	6.3	富 山 県
神通川河口海域	神 通 2	//	6.6	//
その他の富山湾海域	そ の 他 4	//	0.25	//
//	そ の 他 5	//	1.6	//
環 境 基 準			150	

④ 地下水質

市町村	調査地点	調査回数	調査結果[pg-TEQ/L]	調査機関
富山市	岩瀬諏訪町	年1回	0.058	富山市
//	北代	//	0.057	//
//	大手町	//	0.080	//
//	水橋開発	//	0.059	//
//	堀	//	0.057	//
//	万願寺	//	0.057	//
//	婦中町小長沢	//	0.054	//
//	婦中町上轡田	//	0.057	//
高岡市	佐野	//	0.051	高岡市
//	今泉	//	0.041	//
魚津市	双葉町	//	0.043	富山県
黒部市	荻生	//	0.045	//
入善町	下山	//	0.044	//
//	入膳	//	0.043	//
環境基準			1	

⑤ 土壌

区分	市町村	調査地点	調査回数	調査結果[pg-TEQ/g]	調査機関
一般環境	富山市	岩瀬諏訪町	年1回	0.048	富山市
		北代	//	0.053	//
		水橋市田袋	//	0.027	//
		大手町	//	0.70	//
		万願寺	//	0.16	//
		八尾町福島	//	0.022	//
	婦中町萩島	//	0.027	//	
上市町	横法音寺	//	0.73	富山県	
発生源周辺	砺波市	中野	//	0.011	//
環境基準				1,000	

表7-99 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設の届出状況

① 大気基準適用施設

(4年3月31日現在)

市 町 村	工 場 ・ 事 業 場 数	特 定 施 設 数					計
		焼結鉱の製造の用に供する焼結炉	製鋼の用に供する電気炉	亜鉛の回収の用に供する焙焼炉、焼結炉、溶鉱炉、溶解炉及び乾燥炉	焙焼炉、溶解炉及び乾燥炉 アルミニウム合金の製造の用に供する	廃棄物焼却炉	
富山市	30		1		5	31	37
高岡市	13				13	10	23
魚津市	2					2	2
氷見市	2				1	3	4
滑川市	1					1	1
黒部市	7				2	6	8
砺波市	5					6	6
小矢部市	6				7	4	11
南砺市	6				1	5	6
射水市	10		1		16	11	28
舟橋村	0						0
上市町	0						0
立山町	3					8	8
入善町	0						0
朝日町	1					3	3
計	86	0	2	0	45	90	137

② 水質基準対象施設

(4年3月31日現在)

市町村	工場・事業場数	特 定 施 設 数																												
		硫酸塩バルブ又は亜硫酸バルブ製造の用に供する塩素又は塩素化合物による漂白施設	カーバイド法アセチレンの製造の用に供するアセチレン洗浄施設	硫酸カリウム製造の用に供する廃ガス洗浄施設	アルミナ繊維製造の用に供する廃ガス洗浄施設	担体付き触媒の製造の用に供する焼成炉から発生するガスを処理する施設のうち、廃ガス洗浄施設	塩化ビニルモノマー製造の用に供する二塩化エチレン洗浄施設	カプロラクタム製造の用に供する硫酸濃縮施設、シクロヘキサン分離施設、廃ガス洗浄施設	塩化ビニルモノマー製造の用に供する水洗施設、廃ガス洗浄施設	4-クロロフタル酸水素ナトリウムの製造の用に供するろ過施設、乾燥施設、廃ガス洗浄施設	2,3-ジクロロ-1,4-ナフトキノンの製造の用に供するろ過施設	ガス洗浄施設	クロロベンゼン又はジクロロベンゼン製造の用に供する水洗施設、廃ガス洗浄施設	カプロラクタム製造の用に供する硫酸濃縮施設、シクロヘキサン分離施設、廃ガス洗浄施設	塩化ビニルモノマー製造の用に供する二塩化エチレン洗浄施設	担体付き触媒の製造の用に供する焼成炉から発生するガスを処理する施設のうち、廃ガス洗浄施設	アルミナ繊維製造の用に供する廃ガス洗浄施設	硫酸カリウム製造の用に供する廃ガス洗浄施設	カーバイド法アセチレンの製造の用に供するアセチレン洗浄施設	硫酸塩バルブ又は亜硫酸バルブ製造の用に供する塩素又は塩素化合物による漂白施設	工場・事業場数	計								
富山市	7																								8			2	2	12
高岡市	7	2											1													14	1	1	2	21
魚津市	1		1																											1
氷見市	1																									1				1
滑川市	0																													0
黒部市	0																													0
砺波市	1																									2				2
小矢部市	0																													0
南砺市	0																													0
射水市	4													3	1											6		2		12
舟橋村	0																													0
上市町	0																													0
立山町	2																									3				3
入善町	0																													0
朝日町	0																													0
計	23	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	34	1	1	6	2	52									

表7-100 公害防止事業に係る費用負担計画の概要（富岩運河底質対策）

告示年月日		25年12月25日第500号
公害防止事業の種類		覆砂事業及びしゅんせつ事業
費用を負担させる事業者を定める基準		富山市下奥井及び富山市久方町の大島川排水路周辺に現に事業場を所有し、又は過去に事業場を所有していた事業者 富岩運河流域又はいたち川流域において、1960年代から1970年代までの間に農薬ペンタクロロフェノールの製造に係る事業活動を行っていた事業者
負担総額及び算定基礎	公害防止事業費 ①	2,034百万円
	寄与割合 ②	0.774
	特別の事情による減額	
	工事の期間を限定することに 伴い増嵩する額 ③	76百万円
	公害防止事業費事業者負担法 第7条第2号イの規定を参考に 設定した減額割合 ④	1/4
負担総額 (①-③) × ② × (1-④)		1,137百万円
その他		物価の変動その他やむを得ない事由により、公害防止事業費の額に変更を生じたときは、変更後の公害防止事業費の額を基礎として算定した額を負担総額とする。 覆砂事業後に覆砂材の補充が必要となった場合は、工事の対象範囲及び規模並びに費用負担を求める期間について検討を行ったうえで、費用負担計画を変更し、費用を負担させる事業者に必要な費用負担を求める。

表7-101 有害大気汚染物質の調査概要（3年度）

区分	調査地点	調査対象物質 ◆：環境基準設定物質 ◇：指針値設定物質	調査回数	分析方法
一般環境	富山芝園観測局	VOC ベンゼン(◆)、トリクロロエチレン(◆)、テトラクロロエチレン(◆)、ジクロロメタン(◆)、アクリロニトリル(◇)、塩化ビニルモノマー(◇)、クロロホルム(◇)、1,2-ジクロロエタン(◇)、1,3-ブタジエン(◇)、塩化メチル(◇)、トルエン	1回/月	VOC キャニスター採取－低温濃縮－ガスクロマトグラフ質量分析法
	小太杉山閣観測局	アルデヒド類 アセトアルデヒド(◇)、ホルムアルデヒド 重金属類 水銀及びその化合物(◇)、ニッケル化合物(◇)、ひ素及びその化合物(◇)、マンガン及びその化合物(◇)、ベリリウム及びその化合物、クロム及びその化合物 ベンゾ[a]ピレン 酸化エチレン	VOC： 1回/月	アルデヒド類 DNPH捕集管採取－溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ分析法 水銀及びその化合物 金アマルガム採取－加熱気化－原子吸光度分析法 重金属類（水銀以外のもの） ハイボリウムエアサンプラー採取－酸又は圧力容器分解－誘導結合プラズマ質量分析法 ベンゾ[a]ピレン
固定発生源周辺及び沿道	高岡伏木観測局	重金属類	重金属類： 1回/2月	ハイボリウムエアサンプラー採取－溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ分析法
	魚津観測局		その他： 1回/季	酸化エチレン 固相採取－溶媒抽出－ガスクロマトグラフ質量分析法
	福野観測局			
固定発生源周辺及び沿道	高岡大坪観測局	VOC アルデヒド類 ベンゾ[a]ピレン		

表7-102 その他優先取組物質の調査結果（3年度）

区分	項目 物質 調査地点	年平均値 (μg/m³)									調査機関
		アクリロニトリル	塩化ビニルモノマー	塩化メチル	クロロホルム	1,2-ジクロロエタン	1,3-ブタジエン	アセトアルデヒド	トルエン	ホルムアルデヒド	
一般環境	富山芝園	<0.1	<0.1	1.4	0.24	0.10	<0.1	0.71	1.6	1.1	富山市
	小杉太閤山	<0.1	<0.1	1.3	0.18	0.13	<0.1	1.1	2.0	1.7	
固定発生源周辺及び沿道	高岡大坪	<0.1	<0.1	1.3	1.0	0.13	<0.1	1.6	7.2	2.2	富山県
2年度全国調査結果平均値（環境省）		0.050	0.035	1.4	0.27	0.16	0.074	2.0	5.8	2.4	
指 針 値		2	10	94	18	1.6	2.5	120	—	—	

区分	項目 物質 調査地点	年平均値 (μg/m³)								調査機関
		水銀及びその化合物	ニッケル化合物	ヒ素及びその化合物	マンガン及びその化合物	ベリリウム及びその化合物	クロム及びその化合物	ベンゾ(a)ピレン	酸化エチレン	
一般環境	富山芝園	0.0018	<0.004	0.0011	<0.014	<0.0002	<0.005	0.000034	0.036	富山市
	小杉太閤山	0.0017	<0.004	<0.0006	<0.014	<0.0002	<0.005	<0.00003	0.038	
固定発生源周辺	高岡伏木	0.0018	0.0084	<0.0006	<0.014	<0.0002	0.016			富山県
	魚津	0.0020	<0.004	<0.0006	<0.014	<0.0002	<0.005			
固定発生源周辺及び沿道	福野	0.0016	<0.004	<0.0006	<0.014	<0.0002	<0.005			富山県
	高岡大坪						<0.00003			
2年度全国調査結果平均値（環境省）		0.0017	0.0025	0.0015	0.020	0.000018	0.0039	0.00016	0.070	
指 針 値		0.04	0.025	0.006	0.14	—	—	—	—	

表7-103 ゴルフ場排水の農薬調査結果（3年度）

(単位：mg/L)

分類	農薬名	検出ゴルフ場数/ 調査ゴルフ場数	検出数/ 検体数	測定結果 総括	水濁 指針値	水産 指針値	定量 下限値
殺 虫 剤	イミダクロプリド	0/1	0/1	ND	1.5	0.019	0.01
	クロチアニジン	0/6	0/6	ND	2.5	0.028	0.02
	クロラントラニリプロール	0/1	0/1	ND	6.9	0.029	0.002
	テブフェノジド	0/1	0/1	ND	0.42	0.83	0.004
	フェニトロチオン又はMEP	0/3	0/3	ND	0.13	—	0.001
	フルベンジアミド	0/3	0/3	ND	0.45	0.058	0.005
	ペルメトリン	0/1	0/1	ND	1	0.0017	0.001
殺 菌 剤	アゾキシストロビン	0/5	0/5	ND	4.7	0.28	0.04
	イプロジオン	0/2	0/2	ND	3	1.8	0.03
	イミノクタジンアルベシル酸塩 及びイミノクタジン酢酸塩	0/4	0/4	ND	0.061	0.027	0.006
	オキシ銅（有機銅）	0/1	0/1	ND	0.2	0.018	0.004
	クロロタロニル（TPN）	0/6	0/6	ND	0.47	0.08	0.004
	シアゾファミド	0/3	0/3	ND	4.5	0.088	0.008
	ジフェノコナゾール	0/2	0/2	ND	0.25	0.75	0.003
	チウラム（チラム）	0/7	0/7	ND	0.2	0.1	0.003
	チオファネートメチル	0/1	0/1	ND	3	1	0.1
	チフルザミド	0/6	0/6	ND	0.37	1.4	0.005
	テトラコナゾール	0/2	0/2	ND	0.1	2.8	0.003
	テブコナゾール	0/2	0/2	ND	0.77	2.6	0.007
	ピリベンカルブ	0/1	0/1	ND	1	0.6	0.06
	プロパモカルブ塩酸塩	0/2	0/2	ND	7.7	100	0.7
	ペンシクロン	0/2	0/2	ND	1.4	1	0.01
	ミクロブタニル	0/1	0/1	ND	0.63	9.7	0.06
	メタラキシル及びメタラキシルM	0/5	0/5	ND	0.58	95	0.005
	メトコナゾール	0/4	0/4	ND	0.5	2.1	0.05
	除 草 剤	アシュラムナトリウム塩又はアシュラム	0/5	0/5	ND	10	90
エトキシスルフロン		0/2	0/2	ND	1.4	3	0.01
オキサジクロメホン		0/2	0/2	ND	0.24	8.3	0.003
カフェンストロール		0/1	0/1	ND	0.07	0.02	0.003
クミルロン		0/1	0/1	ND	0.2	0.9	0.02
クロリムロンエチル		0/1	0/1	ND	2	0.037	0.003
シクロスルファミロン		0/3	0/3	ND	0.8	0.035	0.008
ジチオピル		0/4	0/4	ND	0.095	0.56	0.003
トリアジフラム		0/1	0/1	ND	0.23	2.5	0.02
トリクロピル		0/3	0/3	ND	0.06	86	0.003
ハロスルフロンメチル		0/1	0/1	ND	2.6	0.05	0.02
ピラフルフェンエチル		0/2	0/2	ND	4.5	0.0082	0.0008
ピロキサスルホン		0/2	0/2	ND	0.5	0.0074	0.006
フラザスルフロン		0/1	0/1	ND	0.3	0.17	0.003
プロビザミド	0/1	0/1	ND	0.5	4.7	0.005	

分類	農 薬 名	検出ゴルフ場数/ 調査ゴルフ場数	検出数/ 検 体 数	測定結果 総 括	水 濁 指針値	水 産 指針値	定 量 下限値
除 草 剤	メコプロップカリウム塩又はM C P Pカリウム塩、メコプロッ プジメチルアミン塩又はM C P Pジメチルアミン塩、メコプ ロップPイソプロピルアミン塩 及びメコプロップPカリウム塩	0/1	0/1	ND	0.47	81	0.004
	メトラクロール及びS-メトラク ロール	0/1	0/1	ND	2.5	0.23	0.02

注 「ND」とは定量下限値未満であることを示す。

表7-104 魚介類の水銀検査結果（3年度）

（単位：ppm）

No.	魚 種	総水銀	検体採取年月日	検体採取場所	調査機関
1	ア カ ガ レ イ	0.09	2021年6月7日	魚津市	富山県
2	チ ダ イ	0.05	//	//	
3	ト ビ ウ オ	0.04	//	//	
4	ヒ ラ メ	0.05	//	//	
5	ウ ス メ バ ル	0.05	//	//	
6	フ ク ラ ギ	0.08	2021年6月8日	氷見市	
7	サ ゴ シ	0.03	//	//	
8	ヒ ラ メ	0.05	//	//	
9	ト ビ ウ オ	0.04	//	//	
10	メ ジ ナ	0.03	//	//	

表7-105 食品中のPCB検査結果（3年度）

検 体 名	検体数	検査結果（ppm）			調 査 機 関
		平均値	最高値	最低値	
内海内湾魚介類	3	ND	ND	ND	富山県
遠洋沖合魚介類	2	ND	ND	ND	
牛 乳	3	ND	ND	ND	
鶏 卵	4	ND	ND	ND	

注 NDとは、検出下限値未満です。

表7-106 公共下水道及び特定環境保全公共下水道の概要

(2年度末)

事業主体	着手年度	供用開始年度	認可計画面積		汚水管渠整備面積 (ha)	処理面積 (ha)	認可計画人口 ^{注2} (人)	農排分		処理人口 (人)	備考
			(ha)	(内数) (ha)				(内数) (人)	(人)		
富山市	S27	S37	10,969	129	9,950	9,793	385,540	4,710	384,793	公共、特環	
高岡市	S24	S40	5,386	—	4,350	4,350	148,269	—	156,026	公共、特環	
魚津市	S60	H元	1,280	169	967	967	35,400	4,600	31,738	公共、特環	
氷見市	S50	S58	1,587	371	973	973	46,160	8,150	27,814	公共、特環	
滑川市	S54	H元	1,255	72	990	990	30,750	1,980	26,632	公共、特環	
黒部市	S52	S61	1,341	93	926	926	33,973	2,750	26,424	公共、特環	
砺波市	S59	H3	1,366	—	1,272	1,272	29,352	—	34,575	公共、特環	
小矢部市	S57	H2	883	—	744	744	21,866	—	19,501	公共、特環	
南砺市	S46	H元	1,968	—	1,778	1,778	46,409	—	42,729	公共、特環	
射水市	S34	S45	2,655	84	2,399	2,399	80,730	2,782	81,728	公共、特環	
上市町	H3	H4	121	—	121	121	3,890	—	3,228	特環	
入善町	H8	H13	920	257	586	586	23,000	6,100	17,933	公共、特環	
朝日町	H8	H13	502	—	449	449	10,500	—	9,721	公共、特環	
中新川組合 ^{注1}	S62	H6	1,785	—	1,565	1,565	38,900	—	39,241	公共、特環	
舟橋村			144	—	128	128	3,200	—	3,214	公共	
上市町			707	—	657	657	13,900	—	14,116	公共、特環	
立山町			934	—	780	780	21,800	—	21,911	公共、特環	
計			32,018	1,175	27,070	26,912	934,739	31,072	902,083		

注1 中新川広域行政事務組合（舟橋村、上市町、立山町）

注2 認可計画人口は、観光人口を含みます。

図7-6 下水道の普及率の推移

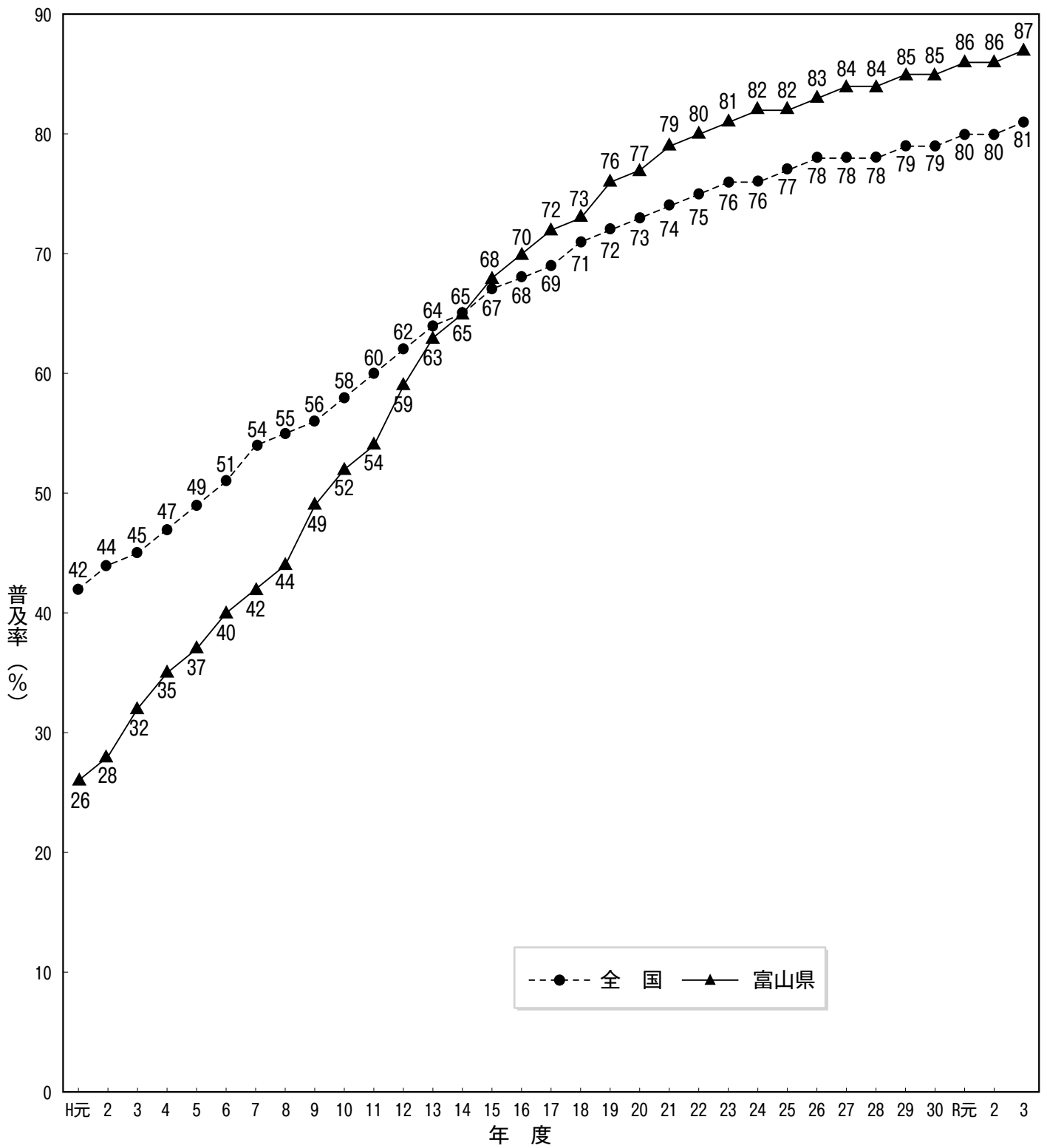


表7-107 農村下水道（農業集落排水施設）の整備状況

（4年3月31日現在）

市町村		地区数	整備計画 定住人口 (人)	備 考
新	旧			
富山市	富山市	22	15,515	供用22地区
	大沢野町	2	1,620	供用2地区
	大山町	7	3,735	供用7地区
	八尾町	12	2,917	供用12地区
	婦中町	3	1,910	供用3地区
	山田村	4	690	供用4地区
	細入村	2	440	供用2地区
高岡市	高岡市	4	2,584	供用4地区
	福岡町	3	2,650	供用3地区
魚津市		9	9,608	供用9地区
氷見市		9	11,911	供用9地区
滑川市		3	4,219	供用3地区
黒部市	黒部市	6	7,460	供用6地区
	宇奈月町	5	5,366	供用5地区
砺波市	砺波市	3	5,840	供用3地区
	庄川町	1	1,141	供用1地区
小矢部市		3	3,570	供用3地区
南砺市	城端町	2	2,200	供用2地区
	平村	7	1,291	供用7地区
	上平村	6	760	供用6地区
	利賀村	4	992	供用4地区
	福野町	1	1,170	供用1地区
	福光町	9	4,415	供用9地区
射水市	新湊市	3	3,230	供用3地区
	小杉町	3	3,067	供用3地区
	大門町	6	4,210	供用6地区
	下村	3	2,023	供用3地区
	大島町	2	900	供用2地区
上市町		4	2,602	供用4地区
立山町		5	3,510	供用5地区
入善町		3	6,809	供用3地区
計		156	118,355	供用156地区

表7-108 コミュニティ・プラントの整備状況
(4年3月31日現在)

市町村	施設数	計画処理人口(人)
富山市	2	1,690

表7-109 浄化槽設置推進事業の状況

(基数)

市町村	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
富山市	8	13	12	10	11
高岡市	6	6	6	4	5
魚津市	1	1	2	1	0
氷見市	29	20	24	28	25
滑川市	2	2	28	13	19
黒部市	7	7	8	2	4
砺波市	17	11	24	24	29
小矢部市	24	25	24	21	14
南砺市					0
射水市	2	2	2		2
上市町		1	1	1	1
立山町	4	2	3		0
入善町			1		1
朝日町	6	1	5	5	5
計	106	91	140	109	116

注 設置基数の総数は、10,536基です。

表7-110 公害審査会に係属した事件

(3年度末現在)

手続の種類	市 町	申請年月	対 象	終結年月	終結区分
調 停	魚 津 市	昭和52年4月	工 場 騒 音 ・ 振 動	52年9月	調 停 成 立
	富 山 市	57年8月	工場騒音・粉じん・悪臭	58年3月	一部取下げ 一部打ち切り
	富 山 市 婦 中 町	60年5月	事業場悪臭・粉じん・砂じん	60年10月	調 停 成 立
	富 山 市	平成2年2月	住宅マンション建設・ 騒 音 ・ 振 動	2年8月	調停打ち切り
	入 善 町 朝 日 町 黒 部 市	13年6月	ダ ム 排 砂 に 伴 う 水 質 汚 濁	14年11月	調停打ち切り
	富 山 市	20年12月	住 宅 給 湯 ボ イ ラ ー 騒 音 ・ 振 動	21年7月	調停打ち切り
	富 山 市	21年7月	住宅団地外壁改修・粉じん	22年1月	調 停 成 立
	富 山 市	21年12月	L P ガ ス 充 填 所 騒 音 ・ 振 動	22年7月	調停打ち切り
	富 山 市	26年11月	事業場振動・地盤沈下	27年7月	調停打ち切り
	富 山 市	27年7月	工場騒音・ばいじん・悪臭	28年3月	調 停 成 立
	射 水 市	28年11月	店舗からの騒音・低周波音	29年9月	調停打ち切り
	射 水 市	29年12月	工場からの騒音・振動	元年7月	調 停 成 立

表7-111 公害種類別苦情受理状況の年度別推移

(単位：件)

種類 年度	典 型 7 公 害							小 型 七 公 害 計	廃 棄 物 投 棄	そ の 他	合 計
	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音	振 動	地 盤 沈 下	悪 臭				
29	23	75	1	35	1	—	16	151	19	5	175
30	15	62	—	27	2	—	26	132	23	—	155
元	29	46	—	23	4	—	19	121	66	17	204
2	48	68	—	33	7	—	25	181	44	15	240
3	39	53	—	50	2	—	29	173	29	3	205

表7-112 典型7公害発生源別苦情受理状況（3年度）

（単位：件）

業種	種類	典型7公害						計	
		大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下		悪臭
農業、林業		1	3	0	0	0	0	4	8
漁業		0	0	0	0	0	0	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業		1	0	0	1	0	0	0	2
建設業		5	1	0	13	1	0	0	20
製造業		6	5	0	9	0	0	6	26
電気・ガス・熱供給・水道業		0	0	0	1	0	0	0	1
情報通信業		0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業、郵便業		0	0	0	0	0	0	0	0
卸売業、小売業		0	0	0	4	0	0	0	4
金融業、保険業		0	0	0	0	0	0	0	0
不動産業、物品賃貸業		0	0	0	0	0	0	0	0
学術研究、専門・技術サービス業		0	0	0	0	0	0	0	0
宿泊業、飲食サービス業		2	1	0	1	0	0	2	6
生活関連サービス業、娯楽業		1	1	0	4	0	0	1	7
教育、学習支援業		0	0	0	1	0	0	0	1
医療、福祉		0	0	0	0	0	0	0	0
複合サービス事業		0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業（他に分類されないもの）		0	4	0	3	1	0	2	10
公務		0	0	0	0	0	0	0	0
分類不能の産業		0	0	0	1	0	0	0	1
家庭生活		23	14	0	6	0	0	5	48
その他		0	5	0	3	0	0	0	8
不明		0	19	0	3	0	0	9	31
計		39	53	0	50	2	0	29	173

表7-113 市町村別・公害の種類別苦情受理状況（3年度）

（単位：件）

種類 市町村	典 型 7 公 害							小 計 （ 典 型 七 公 害 ）	廃 棄 物 投 棄	そ の 他	合 計
	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音	振 動	地 盤 沈 下	悪 臭				
富山市	10	17		23	1		16	67			67
高岡市	2			9			3	14		3	17
魚津市	1	16		5	1		4	27			27
氷見市	4	3		2				9	3		12
滑川市	1						1	2			2
黒部市		1					1	2	1		3
砺波市								0			0
小矢部市	1	2						3	20		23
南砺市		3		1			1	5			5
射水市	16	10		9			3	38			38
市計	35	52	0	49	2	0	29	167	24	3	194
舟橋村								0			0
上市町								0			0
立山町								0			0
入善町	3			1				4	1		5
朝日町	1	1						2	4		6
町村計	4	1	0	1	0	0	0	6	5	0	11
合計	39	53	0	50	2	0	29	173	29	3	205

表7-114 苦情の処理状況（3年度）

（単位：件）

内 訳	種 類	典 型 7 公 害							小 計 （ 典 型 七 公 害 ）	廃 棄 物 投 棄	そ の 他	合 計
		大 気 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音	振 動	地 盤 沈 下	悪 臭				
取扱件数	合計	49	60	0	53	4	0	36	202	31	3	236
	新規受付	39	53	0	50	2	0	29	173	29	3	205
	前年度からの繰越	10	7	0	3	2	0	7	29	2	0	31
処理件数	合計	49	60	0	53	4	0	36	202	31	3	236
	直接処理（解決）	38	47	0	46	2	0	28	161	22	1	184
	他機関への移送	1	2	0	0	0	0	1	4	2	2	8
	翌年度への繰越	0	1	0	2	1	0	1	5	1	0	6
	その他（原因不明等により処理方法のないもの等）	10	10	0	5	1	0	6	32	6	0	38

表7-115 「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づく指定の内容

地 域	第2種地域
区 域	富山市*、婦中町*、大沢野町*の各一部指定地区（神通川下流地域）
指定年月日	昭和44年12月27日
指 定 疾 病	イタイイタイ病

注 *は現富山市です。

表7-116 イタイイタイ病患者及び要観察者生存数
（4年3月31日現在）

区 分	人数
患 者(人)	1
要観察者(人)	2

5 水資源の保全と活用

表7-117 地下水観測井の位置と構造

地域	観測井の名称	位置	設置年度	管理者	井戸の構造			標高(m)
					深度(m)	口径(mm)	ストレーナ位置(m)	
氷見地域	朝日丘	氷見市朝日丘	H4	県	80	250	32~38 71~77	5.63
	柳田	氷見市柳田	H4	県	100	250	79~90	5.48
高岡・砺波地域	能町	高岡市荻布	S42	県	260	300	156~178	3.48
	京町	高岡市京町	S61	県	140	150	113~129	7.54
	上関	高岡市京田	S42	県	240	300	164~175	12.59
	二塚	高岡市二塚	S34	県	40	250	34~39	14.11
	中田	高岡市中田	H14	県	27	400	11~16.5	25.19
					80	200	57~64.5	
	寺塚原	射水市寺塚原	S42	県	150	350	102~124	6.22
	作道	射水市殿村	S54	県	100	250	40~54	2.41
	日詰	砺波市林	S52	県	100	250	78~89	41.08
	五郎丸	砺波市五郎丸	S60	県	80	250	48~59 65~70	72.54
	水島	小矢部市水島	S60	県	80	250	43~49 54~60 65~71	41.21
	布袋	南砺市布袋	S60	県	80	250	43~54 60~65	60.42
江尻	高岡市福岡町江尻	S60	県	80	250	56~67 72~78	20.46	
富山地域	下飯野	富山市下飯野	S49	県	200	250	106~139	7.11
	奥田北	富山市下新北町	S49	県	93	250	65~82	6.44
	山室	富山市山室	S57	県	20	250	15~20	29.05
	西の番	富山市西の番	S49	県	100	250	50~83	88.96
	三郷	富山市三郷	S49	県	150	250	106~139	10.5
	前沢	立山町前沢	S49	県	100	250	23~50	63.18
	速星	富山市婦中町速星	S53	県	100	250	84~95	14.18
魚津・滑川地域	住吉	魚津市住吉	S61	県	50	250	23~34	6.67
	北鬼江	魚津市北鬼江	S61	県	70	250	59~71	12.64
	下島	滑川市下島	S61	県	80	250	66~77	5.84
	四ツ屋	滑川市四ツ屋	S61	県	100	250	65~82	35.48
黒部地域	金屋	黒部市金屋	S51	県	150	250	112~134	15.84
	三日市	黒部市三日市	S51	県	100	250	51~73	18.85
	五郎八	黒部市荻生	S51	県	50	250	39~50	47.11
	生地	黒部市生地経新	H3	県	100	250	85~96	1.3
	入膳	入善町入膳	S51	県	100	250	73~95	27.63
	小摺戸	入善町小摺戸	S51	県	50	250	34~50	69.67
	園家	入善町下飯野	H3	県	55	250	40~51	1.92
	月山	朝日町月山	S51	県	100	250	56~78	23.29

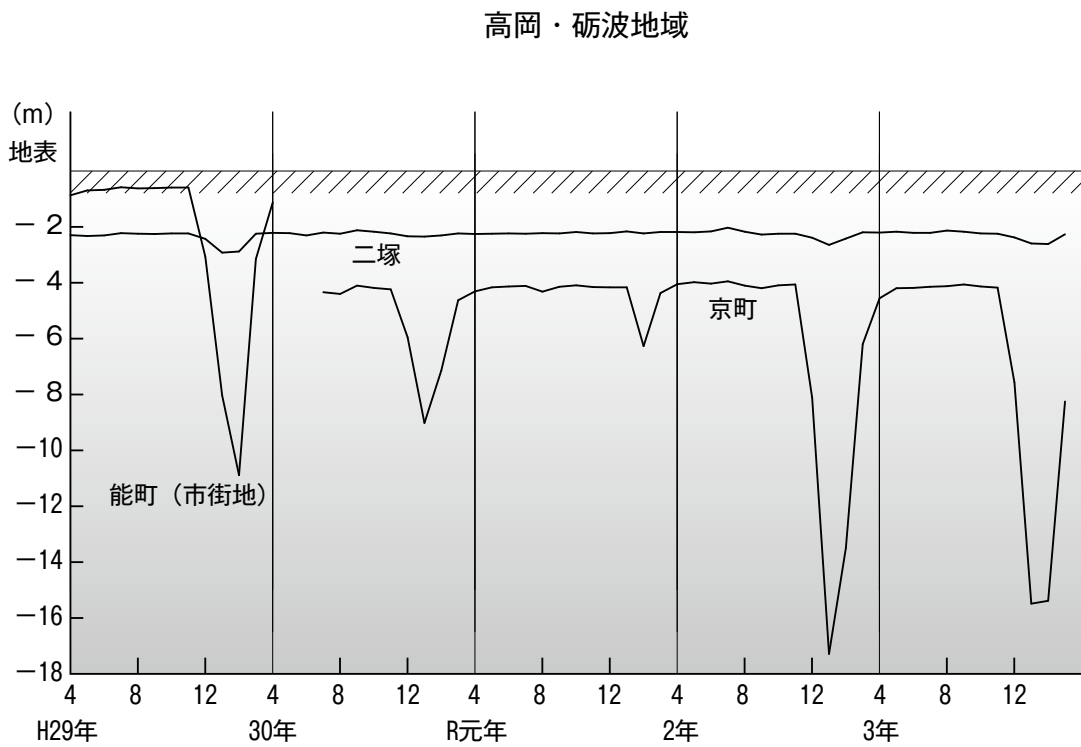
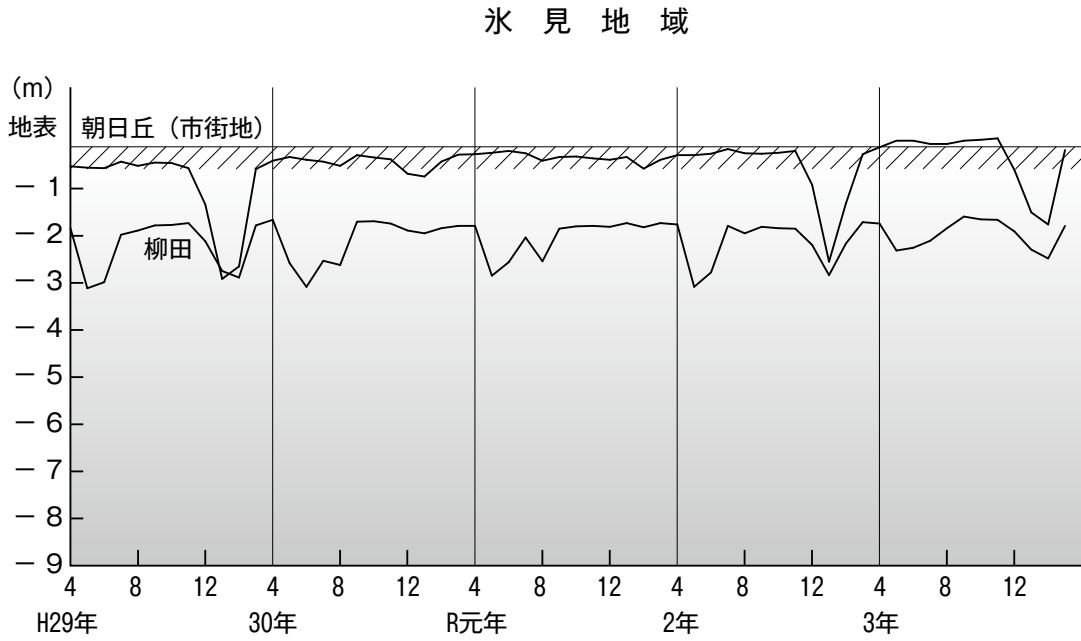
注 能町観測井については、30年4月で観測を終了しました。

表7-118 地下水位年平均値の年度別推移

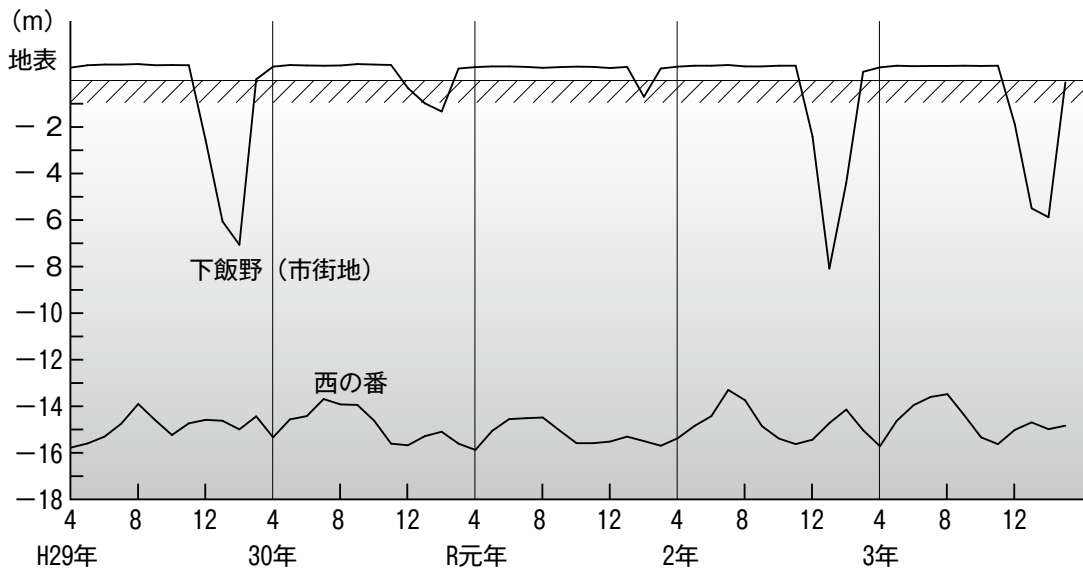
地域	観測井の名称	所在地	井戸の深さ(m)	平均地下水位 (cm)				
				29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
氷見地域	朝日丘	氷見市朝日丘	80	- 85	- 33	- 23	- 48	- 23
	柳田	氷見市柳田	100	- 213	- 200	- 194	- 206	- 188
高岡・砺波地域	能町	高岡市荻布	260	- 197	-	-	-	-
	京町	高岡市京町	140	-	- 477	- 380	- 582	- 603
	上関	高岡市京田	240	+ 182	+ 193	+ 159	+ 173	+ 181
	二塚	高岡市二塚	40	- 187	- 174	- 172	- 176	- 178
	中田	高岡市中田	27	- 285	- 287	- 296	- 293	- 280
			80	- 291	- 290	- 294	- 288	- 287
	寺塚原	射水市寺塚原	150	- 316	- 128	- 72	- 206	- 227
	作道	射水市殿村	100	- 117	- 38	- 23	- 91	- 95
	日詰	砺波市林	100	-1,428	-1,420	-1,437	-1,420	-1,423
	五郎丸	砺波市五郎丸	80	-3,280	-3,316	-3,330	-3,289	-3,293
水島	小矢部市水島	80	- 846	- 851	- 871	- 853	- 856	
布袋	南砺市布袋	80	-1,112	-1,100	-1,113	-1,119	-1,119	
江尻	高岡市福岡町江尻	80	+ 115	+ 165	+ 161	+ 164	+ 161	
富山地域	下飯野	富山市下飯野	200	- 83	+ 27	+ 47	- 78	- 67
	奥田北	富山市下新北町	93	- 269	- 177	- 160	- 242	- 238
	山室	富山市山室	20	- 181	- 159	- 180	- 180	- 176
	西の番	富山市西の番	100	-1,483	-1,477	-1,518	-1,470	-1,464
	三郷	富山市三郷	150	- 203	- 98	- 82	- 127	- 164
	前沢	立山町前沢	100	- 374	- 390	- 391	- 387	- 383
	速星	富山市婦中町速星	100	- 164	- 162	- 148	- 163	- 160
魚津・滑川地域	住吉	魚津市住吉	50	- 109	- 102	- 99	- 105	- 99
	北鬼江	魚津市北鬼江	70	- 591	- 579	- 561	- 570	- 604
	下島	滑川市下島	80	- 100	- 65	- 53	- 81	- 81
	四ッ屋	滑川市四ッ屋	100	-2,278	-2,294	-2,302	-2,291	-2,300
黒部地域	金屋	黒部市金屋	150	- 677	- 647	- 651	- 688	- 704
	三日市	黒部市三日市	100	- 768	- 697	- 714	- 770	- 758
	五郎八	黒部市荻生	50	-1,570	-1,496	-1,534	-1,644	-1,665
	生地	黒部市生地経新	100	+ 73	+ 78	+ 74	+ 75	+ 77
	入膳	入善町入膳	100	-1,977	-1,943	-1,963	-1,972	-1,974
	小摺戸	入善町小摺戸	50	-1,411	-1,368	-1,283	-1,298	-1,300
	園家	入善町下飯野	55	+ 316	+ 325	+ 322	+ 320	+ 317
月山	朝日町月山	100	- 750	- 733	- 723	- 760	- 773	

- 注1 地下水位は、地表面を基準として地上を+、地下を-で表しています。
 2 寺塚原観測井の29年度の地下水位は、29年4～6月が欠測のため、7月～30年3月の平均値です。
 3 能町観測井については30年4月で観測を終了しました。後継の京町観測井の30年度の地下水位は、観測を開始した30年7月～31年3月の平均値です。
 4 五郎丸観測井の30年度の地下水位は、30年9月の欠測期間を除いた値です。
 5 三郷観測井の2年度の地下水位は、3年1月の欠測期間を除いた値です。
 6 速星観測井の30年度の地下水位は、30年5月の欠測期間を除いた値です。

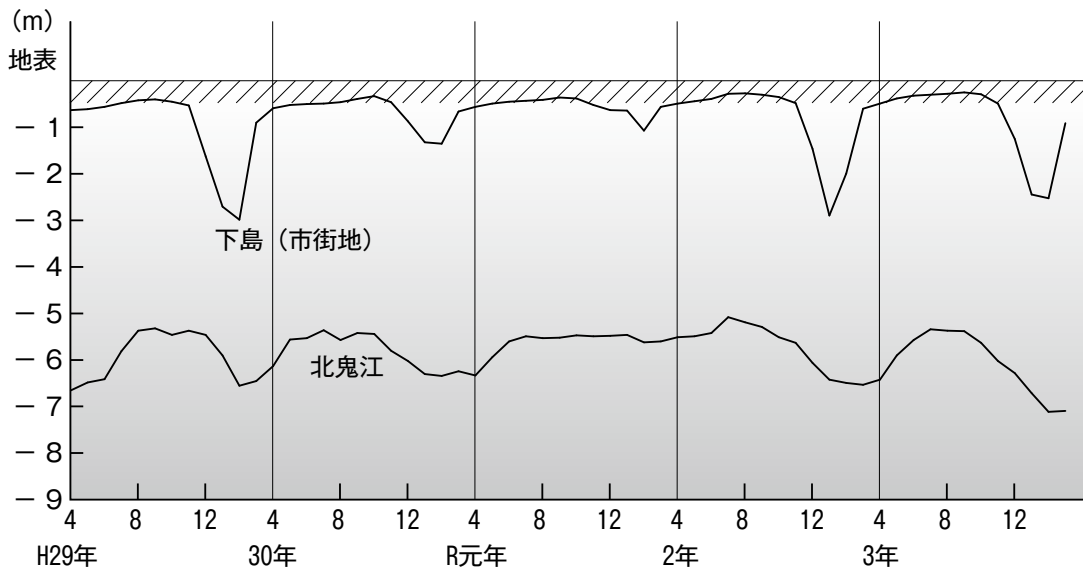
図7-7 主な観測井の地下水位（月平均）



富山地域



魚津・滑川地域



黒部地域

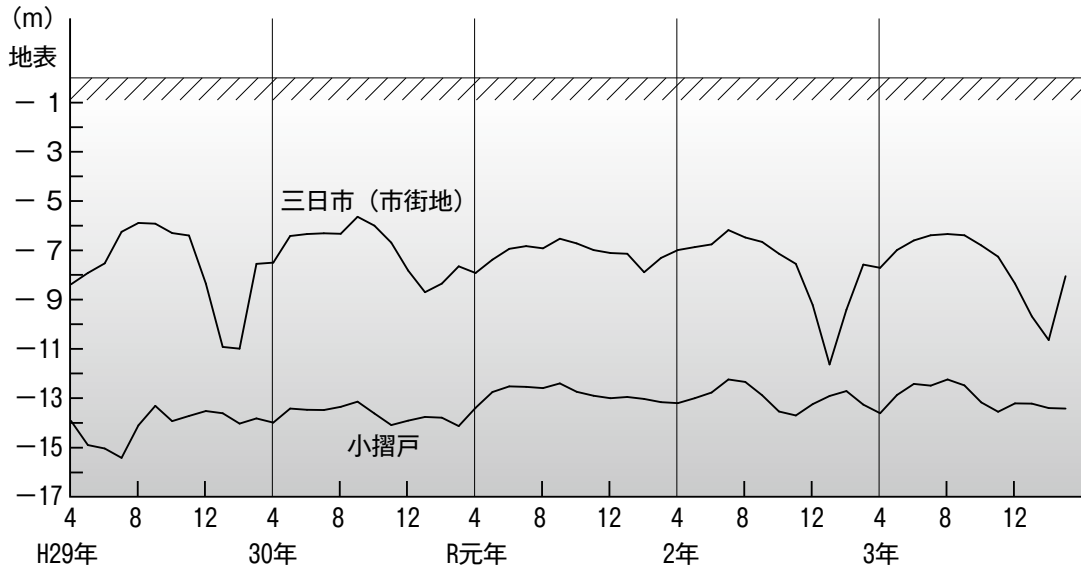


図7-8 塩化物イオン濃度分布 (3年度)

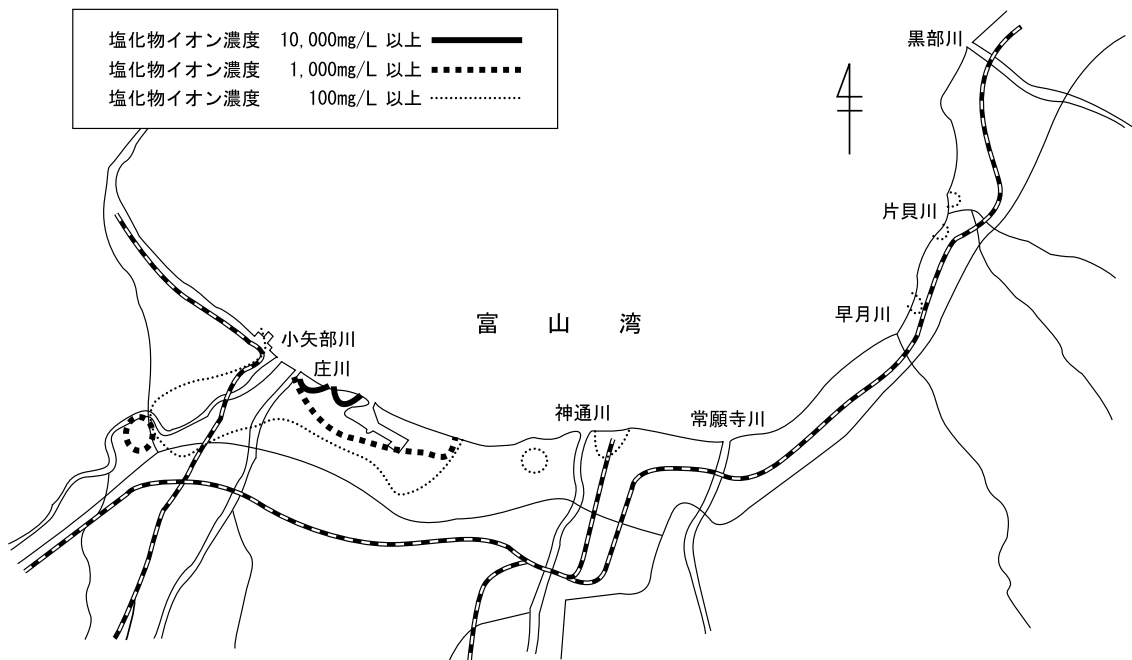


表7-119 地下水条例に基づく揚水設備の届出状況

① 市町村別

(4年3月31日現在)

地域	区分 市町村	規制地域		観察地域		計	
		事業場数	揚水設備数	事業場数	揚水設備数	事業場数	揚水設備数
富山地域	富山市	1,214	1,568	558	752	1,772	2,320
	舟橋村			7	9	7	9
	上市町			122	158	122	158
	立山町			84	106	84	106
	小計	1,214	1,568	771	1,025	1,985	2,593
高岡地域	高岡市	607	786	123	147	730	933
	砺波市			296	354	296	354
	射水市	145	185	88	105	233	290
	小計	752	971	507	606	1,259	1,577
合計		1,966	2,539	1,278	1,631	3,244	4,170

② 用途別

(4年3月31日現在)

用途	区分	規制地域		観察地域		計	
		事業場数	揚水設備数	事業場数	揚水設備数	事業場数	揚水設備数
工業用		240	437	179	331	419	768
建築物用		799	951	369	436	1,168	1,387
水道用		5	15	48	66	53	81
農業・水産業用		5	5	39	49	44	54
道路等消雪用		909	1,123	634	740	1,543	1,863
その他(試験用等)		8	8	9	9	17	17
計		1,966	2,539	1,278	1,631	3,244	4,170

表7-120 地下水採取状況（3年度）

① 市町村別

（単位：百万m³/年）

地域	区分		規制地域	観察地域	計
	市町村				
富 山 地 域	富	山 市	34.0	48.2	82.3
	舟	橋 村		0.2	0.2
	上	市 町		6.7	6.7
	立	山 町		2.1	2.1
	小 計		34.0	57.2	91.2
高 岡 地 域	高	岡 市	10.4	2.7	13.1
	砺	波 市		14.2	14.2
	射	水 市	3.5	4.0	7.5
	小 計		13.9	20.9	34.8
合 計		47.9	78.1	126.0	

注 四捨五入により、合計が一致しない場合があります。

② 用途別

（単位：百万m³/年）

用途	区分		規制地域	観察地域	計
工	業		15.5	37.2	52.7
建	築	物	8.5	6.4	14.9
水		道	1.0	16.9	17.9
農	業	水 産 業	0.9	3.3	4.2
融		雪	21.5	13.7	35.3
そ	の	他	0.6	0.5	1.1
合		計	47.9	78.1	126.0

注 四捨五入により、合計が一致しない場合があります。

6 各分野に共通する施策の推進

表7-121 環境影響評価の実施状況

事業名	事業種類・規模	区分	手続種類	手続状況	知事意見の提出	評価書
大山カメラリア カントリークラブ	レクリエーション施設 (ゴルフ場140.2ha)	要綱	準備書	提出 平成3年6月5日 縦覧 6月6日～7月6日 説明会開催 6月15日、17日、18日	11月7日	提出 3年11月21日 縦覧11月22日～12月24日
利賀リゾート開発	レクリエーション施設 (スキー場172.3ha) (ゴルフ場198.9ha)	要綱	準備書	提出 4年7月28日 縦覧 7月29日～8月29日 説明会開催 8月10日、11日	12月28日	提出 5年3月25日 縦覧3月26日～4月26日
富山駅北地区 熱供給事業	工場又は事業場 (最大排水量12万m ³ /日)	要綱	準備書	提出 5年11月11日 縦覧11月12日～12月13日 説明会開催 11月26日、30日、12月1日	6年3月31日	提出 6年5月9日 縦覧5月10日～6月10日
富山地区広域圏 ごみ処理施設 建設工事	ごみ焼却施設 (焼却能力810 t/日)	要綱	準備書	提出 10年6月19日 縦覧 6月22日～7月21日 説明会開催 7月4日～17日(7回開催)	11月27日	提出 11年2月23日 縦覧2月26日～3月25日
高岡地区広域圏 ごみ処理施設 整備事業	ごみ焼却施設 (焼却能力270 t/日)	条例	方法書	提出 17年1月28日 縦覧 2月10日～3月9日	8月1日	提出 21年9月4日 縦覧 22年3月1日～3月31日
			準備書	提出 20年8月21日 縦覧 8月29日～9月29日 説明会開催 9月7日、14日	21年2月27日	
富山新港火力発電 所石炭1号機 リブレース計画	火力発電所 (出力42.47万kW)	法律	方法書	提出 23年7月28日 縦覧 7月29日～8月29日 説明会開催 8月10日	12月13日	提出 26年2月24日 縦覧3月18日～4月17日
			準備書	提出 25年9月10日 縦覧 9月11日～10月10日 説明会開催 9月26日	12月27日	
バイオマス・石炭混 焼火力発電所建設 計画	工場又は事業場 (燃料使用量20.9kL/時)	条例	方法書	提出 29年3月6日 縦覧 3月21日～4月20日	8月30日	-
			事業廃止	通知 30年2月28日	-	
(仮称)あさひ風力 発電事業	風力発電所 (出力 最大3万kW)	法律	配慮書	提出 令和3年9月29日 縦覧 9月30日～11月1日	11月29日	-

注 「区分」欄について、「要綱」とは「富山県環境影響評価要綱」(平成2年6月告示、同10月施行、11年12月廃止)、「条例」とは「富山県環境影響評価条例」(11年6月制定、同12月施行)、「法律」とは「環境影響評価法」(9年6月公布、11年6月施行)です。

表7-122 県が企業と締結している公害防止協定

締結企業	締結企業の業種	締結年月日
三井金属鉱業(株) 神岡鉱業(株)	鉱業 産業廃棄物処理	昭和47年3月30日 (61年6月30日承継)
JX金属三日市リサイクル(株)	産業廃棄物処理 非鉄金属	昭和48年6月23日 (60年3月25日承継) (平成8年11月1日承継) (9年4月1日承継)
北陸電力(株)	電力	昭和48年8月30日 (54年3月15日改定) (57年7月5日改定) (60年3月25日変更) (63年3月30日変更) (平成14年2月12日変更) (16年6月29日変更) (26年9月26日変更)

表7-123 環境保全に関する試験・研究

① 環境科学センター

課 題	目 的	結 果
災害時における化学物質の初期モニタリングと廃棄物対策に関する研究	災害時における化学物質の全自動同定定量データベースの構築と流出拡大防止に関する技術情報の整備を行う。	国との共同研究として、国や地方環境研究所などが分析した結果を共有し、国主導によりオンラインで利用できる自動同定定量システムを開発した。また、PRTR情報に基づき、河川ごとに届出情報を整理したうえで、河川流域ごとにGISを用いて見える化した。さらに、数値標高データを活用し、広域から詳細な範囲まで流域解析を行うことで、流出源候補の推定を可能にした。
マイクロプラスチック等の流出・漂流実態に関する調査	県内におけるマイクロプラスチックの流出・漂流の実態を把握し、県民・事業者への啓発や発生抑制策に役立てる。	マイクロプラスチックの組成や分布状況などを把握するため、県東部の26河川の表層において、春季と秋季に捕集し、個数や材質を調査したところ、春季の個数が多い傾向にあり、フラグメント状のものや肥料カプセルの殻が多かった。
長期再解析データを用いた気候変動に関する研究	過去から現在までの気候変動や、過去観測された極端気象の発生要因を把握することにより、今後の適応策の推進に貢献する。	温暖化により増加が予想される極端気象（異常高温や豪雨、急な大雪など）への適応策の検討に向けた解析を実施した。過去から現在までの気象データを整理し、県内の強風は台風や爆弾低気圧によること、また、大雪は発達した雪雲が次々に流れ込みやすくなる日本海寒帯気団収束帯（JPCZ）の発達、気圧の谷の入り込み及び地上の西高東低の気圧配置の強化によることが明らかとなった。
富山県における温暖化に伴う水質変動に関する研究	県内の河川等における水質の変動を解析し、温暖化に伴う将来の水質や水環境への影響を予測する。	河川及び海域について年平均の水温と気温の相関がみられた地点において、1981年から現在までの水質データをもとに、水温の影響を受けると考えられる指標（pH及び溶存酸素量）の変化傾向を解析した。
光化学オキシダント常時監視データの総合的解析	環境基準を達成していない光化学オキシダントについて、常時監視のデータを解析することで、環境基準の達成や高濃度事例削減に向けた知見を得ることを目指す。	常時監視データ、気象条件や越境大気汚染の影響を含め、高濃度時のオキシダントの挙動を比較・解析するとともに、オキシダント値の予測手法の開発に取り組んでいる。1993～2019年度の他地域の高濃度時のデータや本県で注意報発令基準120ppbを超過した5日間のデータを抽出し、データセットとして取りまとめた。
富山湾沿岸海域における栄養塩類の動態特性	沿岸海域の水質汚濁に関わる河川からの栄養塩流入の影響を評価し、富山湾の水質保全に役立てる。	春季から夏季にかけて起こりやすいCODの環境基準値の超過については、光合成によるプランクトンの増殖が関係していることが類推され、水質を保全するうえでは内部生産の原因となる窒素、りんなどの対策が重要と考えられること、特に、小矢部川河口海域の水質を管理するうえで小矢部川からのりんの流入負荷を低減することが重要であることが示唆された。
LC-MS/MSを用いた化学物質の一斉分析方法の開発	災害時や水質汚濁事故時の分析体制及び危機管理体制を強化し、流出物質・発生源の速やかな究明を目指す。	県内での使用実績が多い化学物質など10物質について、河川水を用いた添加回収試験を実施し、河川水中の妨害物質の影響を確認したところ、いくつかの対象物質の定量に影響はあったが、検出への影響は小さく、本分析法がスクリーニング手法として有用であることが明らかになった。

② 衛生研究所

課 題	目 的	結 果
イタイタイ病に関する調査	カドミウム汚染地域住民の健康管理	神通川流域のカドミウム汚染地域に居住している住民を対象に毎年実施している「神通川流域住民健康調査」の尿・血液検査を行った。
食品中の残留農薬及びその他の有害物質に関する調査研究	残留農薬等による食品の汚染状況の継続調査	玄米等の県内主要農産物等9種14検体について、有機リン系など約90農薬を分析したところ、すべてが基準値以下であり、食品衛生上問題となるレベルではなかった。 富山産魚介類のヒラメ、トビウオ等8魚種10検体について総水銀を、サバ、カマス等7魚種10検体についてビストリブチルスズオキシド（TBTO）をそれぞれ分析したところ、いずれも問題となる残留値ではなかった。
環境水中のウイルス調査	地域住民における腸管系ウイルス及び新型コロナウイルスの流行を包括的に把握	環境水（下水流入水）からのエンテロウイルス、パレコウイルス及び新型コロナウイルスの検出・分離等を行った。

③ 産業技術研究開発センター

課 題	目 的	結 果
セルロースナノファイバー（CNF）を配合した新規生分解性複合材料の開発	マイクロプラスチック問題を解決できる可能性を持つ生分解性樹脂であるポリブチレンサクシネート（PBS）とCNFを複合化することで、生分解性樹脂の欠点を補い一般的な使用に耐え得る新規生分解性複合樹脂の開発	生分解性樹脂であるポリブチレンサクシネート（PBS）に2種類のセルロースナノファイバー（CNF）（タイプA およびタイプB）を複合した材料を作製した。基本的強度特性について、CNFタイプA に比べて、CNFタイプBは引張強度およびシャルピー衝撃値の改善が見られた。
農産資源由来リグニンを用いた機能性材料の開発	非可食性の農産資源であるもみ殻の有効利用のための研究の一環として、もみ殻に含まれるリグニンのアルカリ試薬による分解反応の反応条件の検討	もみ殻に含まれるリグニンのテトラブチルアンモニウムヒドロキシドによるアルカリ分解反応を検討した結果、分解生成物としてバニリンやバニリン酸、シリングアルデヒドなど芳香族化合物の生成が確認できた。
高せん断非外部加熱によるセルロースナノファイバーの乾燥方法および高混練二軸押出機を用いた乾燥CNF/ポリプロピレン複合材料の開発	含水状態の材料であるため疎水性の高分子材料との複合化	セルロース混合可塑化成形装置を用いて含水状態のセルロースナノファイバーを乾燥処理した乾燥CNFとポリプロピレンの複合材料を作製し、クリープ特性およびリサイクル性を評価した。その結果、クリープによる変形を抑制できることと、作製した複合材料は強度低下を示さないことが分かった。

課 題	目 的	結 果
小水力発電一体型水電解システムの研究	小水力発電で得た電力の水素エネルギーへの効率的な変換を目指し、層状復水酸化物 (Ni-Al LDH) を表面析出させた比表面積の大きな電極材料を合成して、水電解反応に与える影響の評価	カーボン表面に主骨格の一部のカチオンをAl ³⁺ で置換したα型水酸化ニッケルを析出させたNi-Al LDH/Cを合成し、ニッケル金属板にNi-Al LDHを析出させたNi-Al LDH/Niと酸素発生電極としての挙動を比較した。酸素発生過電圧はNi-Al LDH/Niの方が小さく有利であることを確認した。
人工光合成に関する研究	光・水・二酸化炭素から工業的に有用な有機物を合成する人工光合成システムの開発	葉緑体に見立てた触媒電極を設計、試作した。ITO-Cu-C60電極で定電位電解を行ったところアセトアルデヒド様の物質を確認した。
高品位リサイクルアルミ合金の活用と厚肉アルミ構造部材の高効率加工技術の開発	インフラ用大型構造部材や各種製造装置の構造部材、輸送・貯蔵用の大型容器部材などの軽量化、またこれらのライフサイクルコスト(LCC)の低減	アルミリサイクルシステムを活用した高品位リサイクルアルミ材料の開発及び厚肉アルミ構造部材の押し出し技術や溶接・接合技術の開発を行った。トラス構造の大型構造物においてレーザーアークハイブリッド溶接を用いることにより溶接後の熱変形を抑え溶接品質を確保できた。

④ 農林水産総合技術センター 農業研究所

課 題	目 的	結 果
ハトムギ栽培における総合的病害虫管理技術の開発	ハトムギ栽培において、種子伝染する葉枯病の発生実態を明らかにし、農薬のみに頼らない耕種的な防除法を検討し、総合的な病害虫管理技術を確立する。	種子の部位別に葉枯病の孢子形成率を調査したところ、種子の内部の器官ほど低くなった。耕種的防除法として、60℃ 10分間の温湯消毒を試行したところ、孢子形成率が低下し、一定の消毒効果を確認したが、農薬なみの効果には至らなかった。
タマネギ産地形成を阻害する土壌病害等の密度低減に有効な夏季湛水技術の確立	タマネギ栽培において、土壌中の病原菌や害虫等の密度を大幅に低減する環境にやさしい防除技術として、夏季の湛水処理技術の効果を確認する。	タマネギ乾腐病菌について室内試験において湛水処理の防除効果を調べたところ、湛水開始から20日程度で大幅に菌量が低下する傾向が認められた。また、湛水処理により、雑草とネキリムシに対する被害抑制効果が認められた。
農地の土壌炭素貯留に関する基礎調査	温暖化対策の一環として、農地土壌の炭素蓄積量に関する長期的な全国調査に参加し、土壌管理と炭素蓄積量の関係を明らかにする。	高岡地区を中心に一般農地15地点の定点ほ場について、土壌炭素量と土壌管理法の調査を実施した。また、研究所内の試験で、毎冬、緑肥を栽培して、鋤き込み後に水稲、大豆を輪作している圃場では、土壌の炭素蓄積量が年次により変動するが、近年のデータで増加傾向が見え始めた。
硫黄コーティング肥料を活用した大麦用全量基肥肥料の開発	肥料殻由来のマイクロプラスチックの河川、海洋への流出量を低減するため、プラスチックを含まない肥料を活用して大麦の全量基肥肥料を開発する。	大麦用の全量基肥肥料をプラスチックフリーとするため、プラスチック膜で被覆された肥料に替えて硫黄コーティング肥料を配合した肥料を試作し、栽培試験を実施した。(大麦の生育や収量、品質に関する試験結果は取りまとめ中)

⑤ 農林水産総合技術センター 森林研究所

課 題	目 的	結 果
エネルギー作物としてのヤナギ類の生産可能性に関する研究	ヤナギ類を中心に、木質バイオマス発電所向け燃料の生産に適した樹種および系統を選抜し、その増殖や栽培、植栽に必要な技術の開発に取り組む。	県内に広く分布するオノエヤナギとタチヤナギが活着性能や初期成長に優れ、燃料生産目的としての栽培に適していることが明らかとなった。

⑥ 農林水産総合技術センター 木材研究所

課 題	目 的	結 果
スギ樹皮を用いた建設資材の開発	建設用防草資材の開発	スギ樹皮と無機材料を混合した法面吹付用防草材料を開発するとともに、実施工を行った。
マイクロファイバー化混練による高機能性WPCの開発	マイクロファイバー化混練による軽量で強度性能の高い高機能性WPCの製造技術の開発	マイクロファイバー化混練した射出成型用スギWPCの実生産技術を開発するとともに、難燃性を付与する技術を開発した。
木粉塗料の利用技術の開発	木材研究所と県産業技術総合開発センターが開発した木粉塗料について、効率的な製造方法や高機能化に関する技術の開発	湿式方法で微粉碎化してスギ木粉の一部をナノファイバー化した、木質100%の木質ナノファイバー塗料を開発し、試験施工を実施し、内装材として使用可能であることを確認した。

⑦ 農林水産総合技術センター 水産研究所

課 題	目 的	結 果
赤潮に関する調査	赤潮の発生状況の把握	3年度中に赤潮は1回確認された。
富山湾の底質及び底生生物の調査	富山湾の底質及び底生生物からみた汚濁状況の把握	富山湾沿岸の8定点で、春期及び秋期に採泥を行い、底質及び底生生物等の調査を実施した。秋期の調査で、1定点においてCODの水産用水基準を上回った。汚濁指標種は、春期の調査で、1定点においてチヨノハナガイが4個体、秋期の調査で、1定点においてチヨノハナガイが2個体、シズクガイが3個体確認された。

表7-124 主な環境月間行事（3年度）

行 事 名	実 施 概 要
環境月間ポスターの募集と展示	県内小・中学校の児童生徒から環境に関するポスターを募集し、優秀作品を表彰するとともに、ショッピングセンターなどで展示

表7-125 環境保全相談室の活動状況（3年度）

・相談業務

内 容	件 数
公益財団法人とやま環境財団の事業に関するもの	64
地球温暖化防止活動に関するもの	13
環境法令に関するもの	5
環境保全団体・NPOに関するもの	4
県、市町村の施策など行政に関するもの	3
各種補助金に関するもの	0
その他	13
計	102件

・環境に関する出前講座

環境保全、エコライフ等に関する講師を要望に応じて無料で派遣

区 分	環境保全	エコライフ	地球温暖化	水 環 境	計
利用件数	1件	2件	4件	3件	10件
利用者数	88人	48人	236人	153人	525人

表7-126 酸性雨実態調査（雨水）の概要（3年度）

調査地点	調査期間	調査項目	調査方法
射 水 市 (環境科学センター)	3年4月～ 4年3月 (一週間降雨ごと)	・ pH ・ イオン成分(SO ₄ ²⁻ 、 NO ₃ ⁻ 、Na ⁺ 、Cl ⁻ 等) 降下量等	酸性雨等調査マニュアル (環境庁大気保全局) 湿性沈着モニタリング手引 き書(第2版) (環境省地球環境局)

表7-127 雨水のpH調査結果（3年度）
（一週間降雨ごと）…………自動採取法

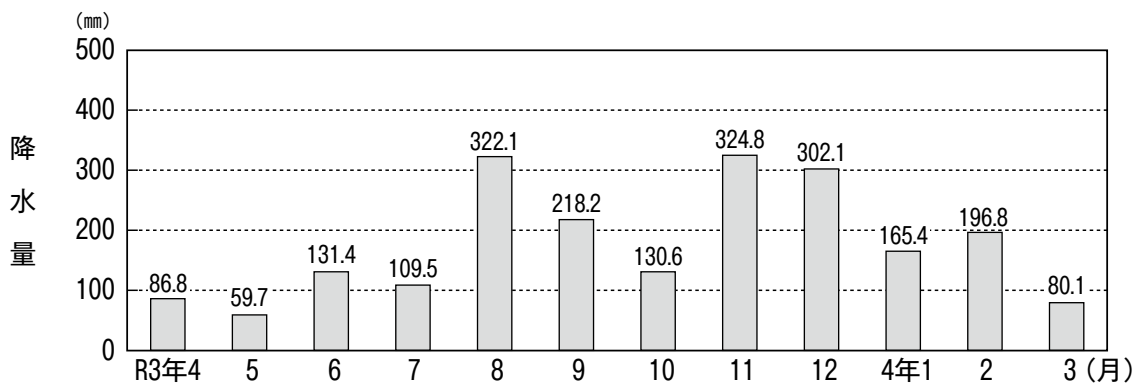
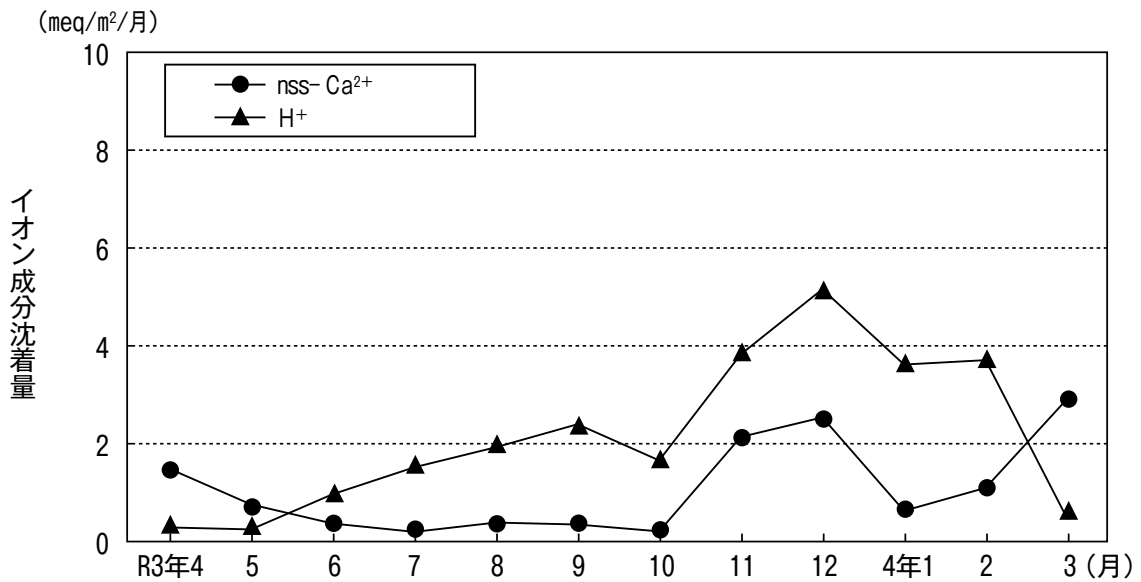
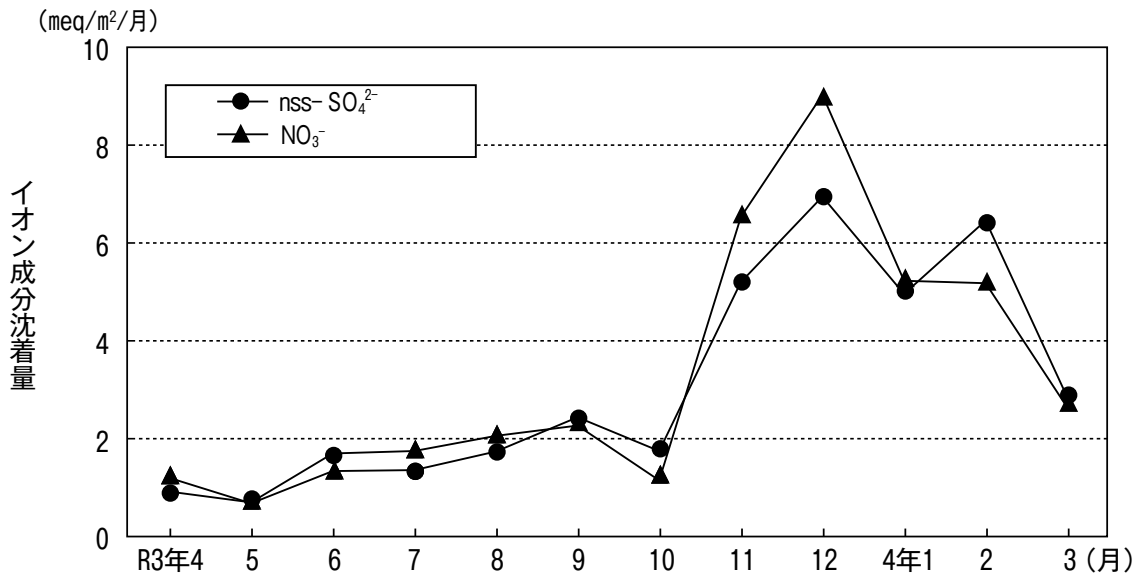
範囲	平均
4.2 ~ 6.3	5.0

表7-128 雨水のpHの年度別調査結果（一週間降雨ごと）

調査年度	調査地点		
	射水市	富山市	全国の状況
昭和61年度	4.9	—	第1次調査 (昭和58~62年度) 4.4~5.5
62年度	4.9	—	
63年度	4.7	—	第2次調査 (63~平成4年度) 4.5~5.8
平成元年度	4.6	—	
2年度	4.7	4.8	第3次調査 (5~9年度) 4.4~5.9
3年度	4.6	4.7	
4年度	4.6	4.6	第4次調査 (10~12年度) 4.47~6.15
5年度	4.8	4.8	
6年度	4.7	4.7	13~14年度 4.34~6.25
7年度	4.9	4.9	
8年度	4.8	4.9	長期モニタリング (15~19年度) 4.40~5.04
9年度	4.8	4.8	
10年度	5.0	5.1	(20~24年度) 4.48~5.37
11年度	4.9	4.8	
12年度	4.8	4.8	(25~29年度) 4.40~5.22
13年度	4.5	4.6	
14年度	4.7	4.8	(30年度) 4.63~5.17
15年度	4.6	4.7	
16年度	4.6	4.8	(令和元年度) 4.65~5.15
17年度	4.6	4.8	
18年度	4.5	4.7	(2年度) 4.68~5.24
19年度	4.5	4.7	
20年度	4.6	4.7	4.68~5.24
21年度	4.7	4.8	
22年度	4.6	4.8	
23年度	4.6	4.8	
24年度	4.5	4.8	
25年度	4.6	4.8	
26年度	4.6	4.8	
27年度	4.7	5.0	
28年度	4.7	4.9	
29年度	4.8	—	
30年度	4.9	—	
令和元年度	4.8	—	
2年度	4.9	—	
3年度	5.0	—	

注 富山市の調査地点は、2~5年度：旧大山町山野スポーツセンター傍、6~14年度：国設立山酸性雨測定所（立山町芦峯寺スキー場敷地内）、15~28年度：立山黄砂酸性雨観測局（らいちょうパレースキー場山頂駅傍）です。

図7-9 主要イオン成分沈着量、降水量の月別推移（3年度、射水市）



注 nss-SO₄²⁻、nss-Ca²⁺(nssとはnon sea saltの略) は、海洋に由来しない成分、即ち陸上由来の硫酸イオンやカルシウムイオンを表します。

図7-10 主要イオン成分沈着量の経年変化（射水市）

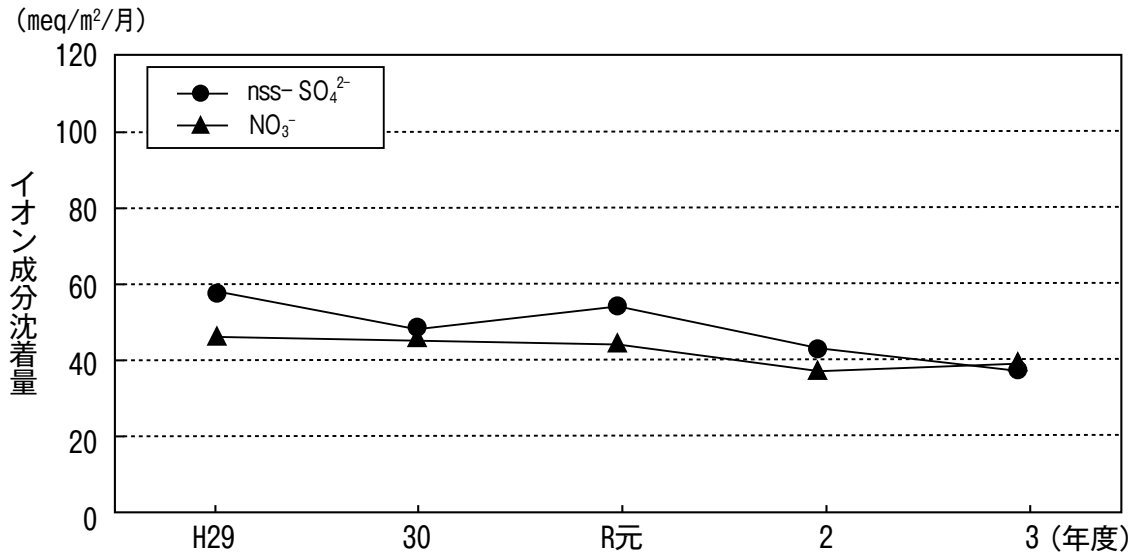
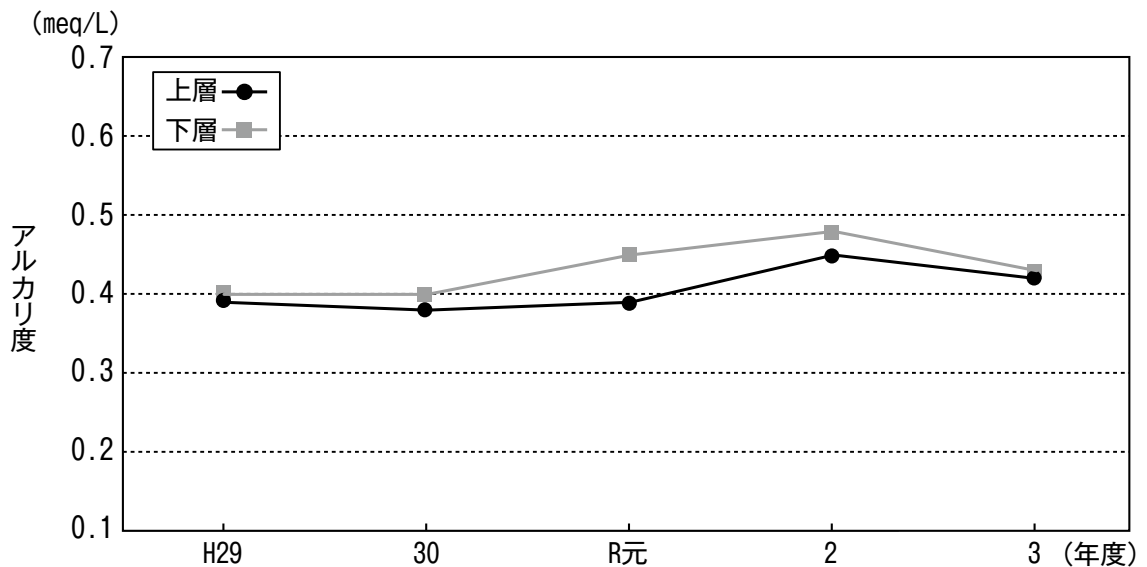
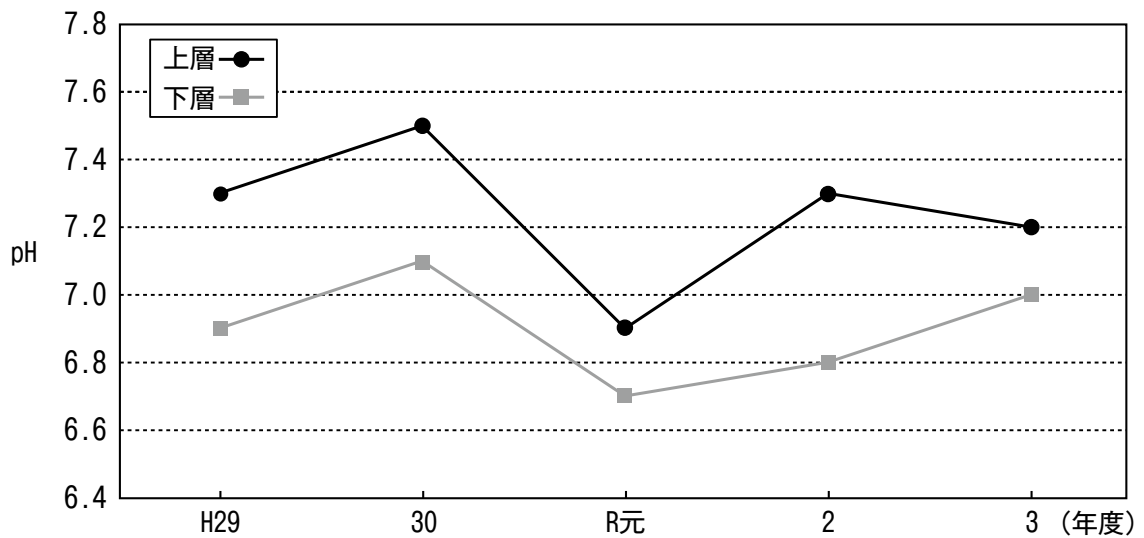


図7-11 縄ヶ池におけるpH及びアルカリ度の経年変化



注 H29年度は、停滞期みの値（循環期は、台風及び積雪の影響で測定中止）であり、H30～R3年度は、停滞期と循環期における測定値の平均です。

※ 縄ヶ池の湖沼調査は、令和3年度で終了しました。

表7-129 公益財団法人環日本海環境協力センター（NPEC）の事業概要（3年度）

事業の種類	事業名	事業概要
環境保全に関する交流推進事業	北東アジア地域自治体連合（NEAR）環境分科委員会の推進	本県がコーディネート自治体を務める「NEAR環境分科委員会」をオンラインで開催し、会員自治体間で環境に関する協力事業の検討や情報交換を行った。
	海洋環境保全パートナーシップの形成	環日本海地域の環境協力の中核拠点を目指し、日本地球惑星科学連合（JpGU）等の関係学会へ参加するとともに、関係機関等の情報収集を行った。
環境保全に関する調査研究事業	漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業	関係者による対策の連携強化を図って海岸漂着物等の発生の抑制に寄与するため、北東アジア地域の海を共有する自治体、市民等が、マイクロプラスチックを含む海岸漂着物等の調査を実施した。 また、市民の漂着物等に係る意識の向上を図るため、新聞による広報や漂着物アートの制作・展示等を通じて、海洋ごみ問題の普及啓発を行った。 さらに、北東アジア地域の自治体等で漂着物対策を担う関係者が情報交換等を行う会議をオンラインで開催した。
	富山湾リモートセンシング調査事業	生物の生息や水質の浄化などに重要な役割を果たす藻場の状況を広域的・継続的に把握するため、リモートセンシングを活用した藻場マッピングや海草アマモ類の季節的分布変動に関する調査を行った。
	中国遼寧省との大気環境共同調査研究	遼寧省でのVOC削減対策の導入促進のため、30年度から2年度までに実施した大連市の工場等周辺地域を対象とするVOC共同調査研究の取りまとめを行うとともに、VOC削減対策の普及啓発について意見交換を行った。
環境保全に関する施策支援事業	広報・普及啓発	NPECの活動状況や環境情報を提供するため、開設しているホームページの内容の充実を図った。
	北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	青少年に対して北東アジア地域における環境問題を直に体験する機会を提供することで、現状への認識を高めるとともに、国際環境協力に対する理解を深め、自ら考え行動できる人材の育成を目的としてオンラインで実施した。
	国際環境協力インターン・ボランティアプログラム	インターンシップ研修生1名の受入れを通じて、将来の国際環境協力分野における人材の育成を図るとともに、大学等の研究機関との連携の強化、北東アジア地域の海洋環境保全に関する取り組みへの理解の促進を図った。
	北東アジア地域環境ポスター展推進事業	北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀作品を韓国忠清南道で展示した。
NOWPAP推進事業	日本海等の環境影響調査	衛星リモートセンシングデータを利用した沿岸環境評価手法の開発に向けて、富山湾でのケーススタディを継続的に実施した。 また、衛星クロロフィルaを用いた広範囲にわたる海域での富栄養化予備評価を行うとともに、富山湾周辺の沿岸域において衛星リモートセンシングや機動性の高いドローン等を活用して、藻場の分布域を推定した。 さらに、富栄養化オンライン評価ツール「Global Eutrophication Watch」を開発し、公表した。

事業の種類	事業名	事業概要
NOWPAP 推進事業	環日本海海洋環境ウォッチ推進費	環境省が13年度に設置した海洋環境に関する人工衛星データを受信・解析するための「環日本海海洋環境ウォッチシステム」をクラウド上で運用し、情報を発信したほか、藻場マッピングの機能を追加し、システムの維持管理を行った。
	地域活動センター(RAC)の運営	<p>特殊モニタリング・沿岸環境評価地域活動センター(CEARAC)に指定されているNPECの地域活動センターとしての活動を推進するため、オンラインで調整・助言会合の開催や他のRACの会合に参加した。</p> <p>また、環境研究総合推進費新規課題として採択された「気候変動による富山県の水・栄養塩循環への影響評価と適応策の検討」に関し、富山大学や研究分担機関と連携し、研究を進めた。</p>

表7-130 環日本海地域との国際交流の概要（3年度）

国 際 交 流 の 概 要
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：2名 交流期間：5月4日 交流目的：MarineData4Asia会合への参加
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：2名 交流期間：5月11日～12日 交流目的：MarineData4Asiaワークショップへの参加
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：1名 交流期間：5月18日 交流目的：Third Consultative meeting on the Special Project on Key Indicator Species（海洋生物多様性に関する会合）への参加
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：1名 交流期間：7月7日～8日 交流目的：第23回NOWPAP MERRAC（海洋環境緊急準備・対応地域活動センター）フォーカルポイント会合・第15回CNA（Competent National Authorities）会合への参加
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：1名 交流期間：7月15日 交流目的：North-East Asian Marine Protected Areas Network(NEAMPAN)ワークショップ2021への参加
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：27名（高校生11名、指導者3名、スタッフ13名） 海外：23名（生徒のみ） 交流期間：8月24日～25日 交流目的：北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業の実施
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：5名 交流期間：8月24日～25日 交流目的：第18回NOWPAP CEARAC（「特殊モニタリング・沿岸環境評価地域活動センター」）フォーカルポイント会合の開催
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：1名 交流期間：9月15日～16日 交流目的：NOWPAP海洋ごみ地域活動計画（RAP MALI）フォーカルポイント会合への参加
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：4名 海外：21名 交流期間：11月17日 交流目的：北東アジア地域自治体連合（NEAR）第15回環境分科委員会の開催
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：7名 海外：13名 交流期間：11月17日 交流目的：北東アジア地域の漂着物対策関係者会議の開催
交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：5名 交流期間：11月30日～12月2日 交流目的：第5回NOWPAPリモートセンシングデータ解析研修（Webinar 1: 光学センサによる藻場マッピング）の開催

国際交流の概要

<p>交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：2名 交流期間：12月7日～8日 交流目的：第18回NOWPAP POMRAC（汚染モニタリング地域活動センター）フォーカルポイント会合への参加</p>
<p>交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：5名 交流期間：12月14日～16日 交流目的：第5回NOWPAPリモートセンシングデータ解析研修（Webinar 2：海色センサによる水質モニタリング）の開催</p>
<p>交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：11名 中国側：8名 交流期間：12月15日 交流目的：富山県と遼寧省との揮発性有機化合物（VOC）削減技術の普及のための協力事業検討会の開催</p>
<p>交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：12名 中国側：12名 交流期間：12月16日 交流目的：富山県と遼寧省との揮発性有機化合物（VOC）削減技術の普及のための協力事業総括会議の開催</p>
<p>交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：2名 交流期間：12月20日～22日 交流目的：第9回アジア/第19回日韓海色国際ワークショップへの参加</p>
<p>交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：2名 交流期間：2月11日 交流目的：CEARAC海草藻場ブルーカーボンケーススタディ専門家会合の開催</p>
<p>交流先（主たる会場） — （オンライン開催） 交流人数：2名 交流期間：2月25日 交流目的：第3回CEARAC富栄養化評価専門家会合の開催</p>

注 3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、交流がオンラインで実施されました。そのため、交流人数は、オンラインによる富山県サイドからの参加者数及び海外からの参加者数（明確に計数できるものに限る。）を示します。

